Canon



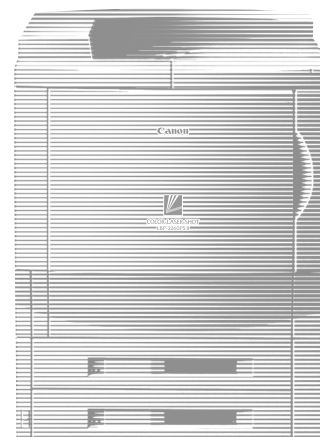
COLOR
LASER
SHOT

カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT
LBP-2260PS II



Adobe® PostScript® 3™



ユーザーズガイド

お願い：

プリンタをお使いになるまえに、本書をよくお読みください。本文中の注意事項は必ずお守りください。
本書は、必要なときにすぐに取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

マニュアルの構成について

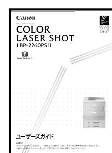
キヤノン COLOR LASER SHOT LBP-2260PSIIをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

本体添付のマニュアル

プリンタを設置したい
パソコンと接続したい
ネットワークと接続したい
→ **本体/オプション品設置ガイド&ネットワーク設定ガイド**



プリンタの基本的な使いかたを知りたい
困ったときには
→ **ユーザーズガイド**（本書）



プリンタドライバをインストールしたい
印刷したい
添付ソフトウェアの使いかたを知りたい
→ **ソフトウェアガイド**



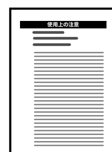
より詳しく知りたい
→ **プリンタ機能マニュアル**

操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタが持つ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。



最新情報や注意事項を知りたい
→ **使用上の注意**

本プリンタの設定や使いかたに関する最新情報や注意事項が記載されています。



その他のマニュアル

＊別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

オプション品に付属のマニュアル

オプション品に付属されております取扱い説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと合わせてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱い説明書をご覧ください。

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

ユーザーズガイドの使いかた

第1章　プリンタの使いかた　必ずお読みください　1

プリンタを使うときの操作や必要な準備、設定のしかたについて説明しています。

第2章　給紙・排紙のしかた　必ずお読みください　2

使用できる用紙や給紙のしかた、OHPフィルム／光沢フィルムへのプリントのしかた、給紙元／排紙先の選択などを説明しています。

第3章　日常のメンテナンス　必要に応じてお読みください　3

トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換プリンタのお手入れなど、日常のメンテナンスについて説明しています。

第4章　困ったときには　必要に応じてお読みください　4

紙づまりが起こったときの処理方法など、トラブルが起こったときの対処方法を説明しています。

付　録　必要に応じてお読みください　付録

オプション品の紹介や、仕様、用語集、索引をまとめています。

Canonは、本書の仕様に従って本製品を使用することが既存または将来の特許権を侵害しないと表明するものではなく、また本書の記述が同記述に基づく装置またはソフトウェアの制作、使用、販売の認可を意味すると表明するものでもありません。
本書記載のソフトウェアはCanonまたは同社の認可ライセンス会社からの書面による使用許可に基づいてのみ、所有、使用またはコピーが許可されるものとします。

Patents: 5,867,179; 5,835,788; 5,666,436; 5,553,200; 5,543,940; 5,537,516; 5,517,334; 5,506,946; 5,424,754; 5,343,311; 5,212,546; 4,941,038; 4,837,722; 4,500,919; D406,1170

商標

LASER SHOT はキヤノン(株)の登録商標です。
Canon、Canon ロゴ、Color Gear、LBP、 NetSpot はキヤノン(株)の商標です。

EFI、EFIロゴ、Fiery、Fieryロゴ、Fiery Driven、Fiery Drivenロゴ、EFICOLOR、ColorWise、Rip-While-PrintはElectronics For Imaging, Incの米国での登録商標です。AutoCal、Starr Compression、Continuous Print、Memory Mutlipier、VisualCal、NetWise はいずれも Electronics For Imaging, Inc. の商標です。

Acrobat、Acrobat Reader、Adobe、Adobe Illustrator、Adobe ロゴ、Adobe Persuasion、Adobe Photoshop、Adobe Type Manager、Aldus、Pagemaker、PostScript、PostScript3 は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。Apple、Apple LaserWriter、AppleTalk、ColorSync、Macintosh、True Type は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。Centronics は Centronics Data Computer Corporation の商標です。Century Oldstyle、Century Schoolbook、Cloister Black、Goudy Oldstyle はKingsley-ATF Type Corporationの商標です。Dutch 801、Swiss 721、Snowcap、Bitstream Cataneo は Bitstream Inc. の商標です。EPS (Encapsulated PostScript)は Altsys Corporation の商標です。Ethernet は Xerox Corporation の登録商標です。IBM は International Business Machines Corporation の商標です。ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Chancery、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の商標です。Java は Sun Microsystems, Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は Microsoft Corporation の米国およびその他の諸国における登録商標または商標です。Netscape および Netscape Navigator は Netscape Communications Corporation の商標です。NetWare と Novell は Novell Inc. の登録商標であり、Internetwork Packet Exchange (IPX)は同社の商標です。PANTONEはPantone, Inc.の登録商標です。ScrifaはFundiction Tipografica Neufville SAの登録商標です。Times と Helvetica は、Linotype-Hell AG およびその子会社、あるいはいずれかの商標です。UNIX は X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

本製品に含まれる、American Garamond、Century Oldstyle™、Dutch 801™、Goudy Oldstyle™、Bodoni、Century Schoolbook™、Clarendon、Poster Bodoni、Prima Serif、Serifa®、Prima Mono、Prima Sans、Swiss 721™、 ZapfHumanist 601、Bitstream Cooper Black、Exotic 350、Snowcap™、Bitstream Cataneo™、Commercial Script、Bitstream Roundhand、Staccato 222、Staccato 555、Ribbon 131、Cloister Black、Commercial PI、Symbol Proportional、Holiday PI、これらの書体はBitstream Inc.の1991-2000年の著作権で保護されており、同社によってキヤノン(株)に使用が許諾されています。

下記の書体名は株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントです。承認外の複製は禁止されており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。
リュウミン L-KL、中ゴシック - BBB

その他の商標および登録商標はそれらを保有する各社の所有物です。

本書記載のソフトウェアは使用許可書または非開示合意書の元に提供されています。ソフトウェアは合意条件を遵守する場合にのみ使用またはコピーすることができます。

Apple Computer, Inc（以下 Apple 社）は、Apple ソフトウェアに関して、特定の目的に関する商品性や適合性についての黙示的保証を含み、明示的、黙示的を問わず何らの保証もしません。Apple 社は、Apple ソフトウェアの使用あるいは使用結果の正確さ、精度、信頼性、最新性、その他の保証をしません。Apple ソフトウェアの結果や性能に伴うリスクはすべてお客様の負担とさせていただきます。黙示的保証の適用除外は米国の州によって認められない場合があります。お客様にはこのような適用除外条項は適用されないこともあります。

Apple 社の役員、管理職、一般社員、代理人は、Apple 社のソフトウェアを使用した結果や使用できないことによって、お客様に、結果的、付随的、あるいは間接的な損害（業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の損失、その他の損害）が引き起こされた場合、仮にそのような損害の可能性についてApple社が知らされていたとしても、それに対する責任は負いません。米国の州によっては結果的または付随的損害の責任の適用除外や制限が認められない場合があり、その場合は、上記の制限条項がお客様に適用されないこともあります。

いかなる原因であれ、実際の損害についてのお客様に対する Apple 社の責任は、行為の形態に関係なく（契約違反、不法行為（過失など）、製造物責任、その他）50 ドルを上限とします。

日本国印刷

限定権利条項（米国においてのみ適用）

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は252.227-7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c) (1)(ii)に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は52.227-19の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項(a)から(d)に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関するElectronics for Imaging, Inc. 社の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

FCC（連邦通信委員会）

ケーブル：本装置への接続はFCCの規範および基準を満たす金属製RFI/EMIコネクター付の密封ケーブルでなければなりません。

Electronics For Imaging, Inc. ソフトウェア使用許諾

本使用許諾書は、LBP-2260PSIIに内蔵されているか同梱のCDに含まれているElectronics For Imaging, Inc. または同社のサプライヤに所有権がある以下のソフトウェアおよびそのアップデート版またはアップグレード版にのみ適用されます。

<Windows95/98 ／ Windows NT4.0 ／ Windows 2000>
Windows 95/Windows 98：Adobe PostScript ドライバ
Windows NT 4.0：Adobe PostScript ドライバ
Windows 2000：Microsoft PostScript ドライバ
CMYK/PANTONE Color Reference Files：CMYK/PANTONE 色見本
Windows 95/Windows 98/Windows NT 4.0 ：インストーラ
autorun.inf
Adobe PostScript3 TrueType フォント
Adobe PostScript3 Type 1 フォント
Windows 95/98：Adobe Type Manager
ICC カラープロファイル

<Macintosh>
Adobe PostScript プリンタドライバ
CMYK/PANTONE 色見本
Adobe PostScript3 TrueType フォント
Adobe PostScript3 Type 1 フォント
和文スクリーンフォント
Adobe Type Manager
Adobe 欧文フォントダウンローダ
ColorSync ICC カラープロファイル

本書はお客様とElectronics For Imaging, Inc.（以下「Electronics For Imaging」という）とのあいだの法律上の合意です。Electronics For Imagingは、Adobe Systems Incorporatedが提供するPostScript(r)ソフトウェアなど、LBP-2260PSII（以下「プリンタ」という）に内蔵されているか同梱のCDに含まれているソフトウェア（以下「ソフトウェア」という）のサプライヤです。

CDの包装を開封する前に、必ず以下の諸条件をお読みください。この包装を開封すると、本使用許可書の諸条件の受諾を認めたことになります。本書の諸条件を受諾できないか受諾しない場合は、包装を開封せずに、プリンタの購入元に連絡し、購入元の指示に従ってください。

Electronics For Imagingはお客様に、以下の諸条件に基づいてソフトウェアを使用する非独占的使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

a.　本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに本プリンタにおいてのみ使用できます。
b.　お客様自身の日常業務のためにのみ、本プリンタに同梱の、特別なコードフォーマット（以下「コード化フォントプログラム」という）によりデジタルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム（以下「フォントプログラム」という）を使用して、文字、数字、記号のデザイン、書体、ウェイト、バージョン（以下「書体」という）を、本プリンタで使用するモニタ上に再生、表示できます。
c.　ソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、Electronic For Imaging, Inc.の商標（以下「商標」）を使用できます。
d.　本プリンタの販売または譲渡の一環である場合に限り、本プリンタの受取人に本契約に基づくお客様のすべての権利を永久に譲渡できます。ただし、その場合には、以下の条件をすべて満たす必要があります。(i)アップグレード版も含め、ソフトウェアのコピーをお客様が保持しないこと、(ii)本プリンタに同梱されているアップグレード版も含めたソフトウェア、メディア、印刷物をすべて受取人に譲渡すること、(iii)受取人が本契約の条項に同意していること。

以下の内容はお客様には認められていません。

a.　プリント解像度600dpi以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは本プリンタ以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。
b.　お買上げいただいた本プリンタの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、文書、あるいはそれらの一部のあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、プリンタコントローラーボードのROMに組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、あらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。
c.　ソフトウェア、コード化フォントプログラムを変更、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングすること。
d.　ソフトウェアをレンタル、リースすること。

財産権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書については、EFIとその供給元が持つものとし権利やその他知的財産権はEFIとその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本契約ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書に関する特許権、著作権、営業秘密、（登録、未登録を問わず）商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。EFI、あるいはその供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいはEFIやその供給元の商標権を損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。EFIから妥当と考えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとします。

守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本契約で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可は自動的に中止され、EFIに対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから90日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作することをEFIは保証します。この保証の下でEFIの責任およびお客様に対する救済を行使するため（お客様がプリンタをEFIまたはEFIの正規の代理店に返却することを前提として）EFIの選択により、異常を回復しまたは正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフトウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代価を払い戻し本使用許可を中止させます。米国の州によっては黙示的保証の期間に関する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をもEFIは設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性、適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規の代理店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本契約によって定められたいかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をもEFIは設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。EFIはソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しないこと、あるいはソフトウェアがお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

限定責任

いかなる場合にも、ソフトウェアまたはコード化フォントプログラムから生じたデータの損失、利益の損失、回復費用、その他特別な、付随的、派生的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、その根拠としてどのような責任の理論があろうとも、Electronics For Imaging, Inc.またはそのサプライヤは責任を負いません。この限定条項はElectronics for Imaging, Inc.がそのような損害の可能性を知らされていた場合にも適用されます。本プリンタの価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。ただし、米国の州や管轄区によっては派生的、あるいは付随的損害賠償の責任の除外や限定を認めないところがあるため、その場合は上記の限定は適用されません。

輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに同意するものとします。本条項に従わない場合は、本契約の実質的な違反となります。

政府による使用

合衆国政府による使用、複写、開示はDFARS 252.227.7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c) (1) (ii)、あるいはCFR52.227-19の商業用コンピュータソフトウェアー限定権利条項の補助条項(c) (1) と(2)に規定した限定内容が適用できる場合、それらに従うものとします。

第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated（以下 Adobe 社）（住所：345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704）は、本契約によって使用許可が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本契約に規定される条項の範囲で、本契約における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項はAdobe社の利益のために明示的に設定されたものであり、EFI以外にもAdobe社がこれを行使することができます。

解約

お客様が本契約の諸条件を遵守しない場合は、その他のいっさいの権利を損なうことなく、EFIは本契約を解約することができます。その場合、お客様にはアップグレード版も含め、ソフトウェアのすべてのコピーを破棄する義務があります。

一般条項

本契約はカリフォルニア州法に準拠します。

本契約はお客様と Electronics For Imaging とのあいだの完全な合意であり、本ソフトウェアおよびコード化フォントプログラムに関するその他の通知や広告に代わるものとします。

本契約の一部の条項が無効になった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有します。

本契約に関して疑問をお持ちの場合は、Licensing Dept. 気付けで Electronics For Imaging, Inc. まで書面でご連絡いただくか、Electronics For Imaging のウェブサイト、www.efi.com をご覧ください。

お客様はここに、本書がエンドユーザであるお客様と Canon Inc. ではなく、Electronics For Imaging とのあいだのソフトウェア、フォントプログラム、コード化フォントプログラム、書体、商標に関する法律上の合意であることを明示的に認めることになります。Electronics For Imagingは、上記の限定保証に関して単独かつ最終の責任を有し、キヤノン（株）、その子会社または系列会社、代理人、販売店、取扱店はいずれもソフトウェア、フォントプログラム、コード化フォントプログラム、書体、商標に関する責任を有しません。

Electronics For Imaging
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本Bitstream製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーであるBITSTREAMはライセンシーであるお客様に対し、Bitstream製品を、1台のプリンタ、あるいは1台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した1台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。

BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3. コピーの制限。Bitstream製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAMの所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長されたBITSTREAMの知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを1部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。

4. 使用の許容範囲。本Bitstream製品、ユーザーガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前にBITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前にBITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。

5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAMからお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。

6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関するBITSTREAMの全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAMの限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかをBITSTREAMが選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAMはディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か30日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream製品、ユーザーガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)(1987年5月)が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合はDOD FARの適用される規定が252.227-7013の第(a)(15)条(1988年4月)または第(a)(17)条(1988年4月)を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

包装を開封する前によくお読みください。

キヤノンソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、COLOR LASERSHOT LBP-2260PSII（以下「プリンタ」という）に同梱のＣＤに含まれている、キヤノン株式会社に所有権があるカラーマッチングソフトウェア「ColorGear」とネットワークマネジメントソフトウェア「NetSpot」（以下総称して「ソフトウェア」という）にのみ適用されます。

本契約はお客様とキヤノン株式会社（以下「キヤノン」という）とのあいだのライセンス契約です。ＣＤの包装を開封する前に、必ず本契約をお読みください。ＣＤの包装の開封をもって、お客様は本契約に同意したことになります。お客様が本契約に同意できないかまたは同意しない場合は、ＣＤの包装を開封せずに「プリンタ」の購入元に連絡し、購入元の指示に従って下さい。

１．使用許諾

(1)　キヤノンは、お客様に対して、「プリンタ」とともにのみ「ソフトウェア」を使用する非独占的ライセンスを許諾します。
(2)　「プリンタ」の販売または譲渡の一環である場合に限り、「プリンタ」の譲受人に本契約に基づくお客様のすべての権利を永久に譲渡することができます。ただしその場合には、以下の条件の全てを満たす必要があります。(i)お客様が「ソフトウェア」のコピーを保持し続けないこと、(ii)「ソフトウェア」のすべてと本契約を「プリンタ」の譲受人に譲渡すること、および(iii)「プリンタ」の譲受人が本契約の条項に同意していること。
(3)　本契約に明示的に定める場合を除き、お客様は「ソフトウェア」を第三者に譲渡、再実施許諾、販売、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡すること、または「ソフトウェア」を翻訳もしくは他のプログラミング言語に変換してはならないものとします。
(4)　「プリンタ」の使用に必要な場合を除き、お客様が「ソフトウェア」もしくはその一部分のいかなるコピーを作成すること、もしくは作成させること、またはそれらを許可してはならないものとします。
(5)　お客様は「ソフトウェア」を改変、修正、逆アセンブル、逆コンパイルまたはリバース・エンジニアリングすること、および第三者にこのような行為をさせてはならないものとします。
(6)　お客様は「ソフトウェア」に含まれているキヤノンの著作権表示を修正、移動または除去してはならないものとします。
(7)　お客様は、アメリカ合衆国または外国政府の必要な許可なしに、「ソフトウェア」を直接または間接に輸出または再輸出しないことに同意するものとします。
(8)　本契約に明示的に定める場合を除き、キヤノンのいかなる知的財産権も、明示たると黙示たるとを問わず、キヤノンによってお客様に許諾あるいは譲渡されるものではありません。

２．サポートおよびアップグレード

キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、お客様による「ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。「ソフトウェア」に対してアップグレード、バグの修正あるいはサポートがなされることはありません。

３．限定保証および補償の否認

限定保証：「ソフトウェア」は、商品性および特定目的への適合性の黙示的な保証を含め、明示たると黙示たるとを問わずいかなる保証もなしに、「AS-IS（現状のまま）」の状態で提供されるものとします。「ソフトウェア」の品質および性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。「ソフトウェア」に欠陥があることが判明した場合、お客様がすべての必要なサービスまたは修正のすべての費用を負担するものとし、キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は一切の費用を負担しないものとします。

キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、「ソフトウェア」に含まれる機能がお客様の要求に適合すること、または「ソフトウェア」の操作に中断またはエラーが発生しないことを保証するものではありません。ただしキヤノンは、領収書あるいはその他のものによって証明されるお客様の購入日から９０日の間は、通常の使用の下では「ソフトウェア」が記憶されているＣＤに物理的な欠陥が発生しないことを保証します。

顧客の救済：キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店のすべての責任およびお客様の唯一の救済は、上記の限定保証を満たしていないＣＤの交換です。お客様が本条項に基づきＣＤの交換を求める場合、キヤノンの子会社であるキヤノン販売株式会社にご連絡下さい。但し、上記の限定保証は、事故または「ソフトウェア」の誤用から生じたＣＤの不具合については適用されません。また「ソフトウェア」のオリジナルの被許諾者以外のいかなる者にも拡張されることはありません。

付随的損害に対する免責：「ソフトウェア」、その使用またはその使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の喪失、事業情報の損失、事業の中断またはその他の付随的もしくは派生的損害を含むがこれらに限定されない）について、キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店はその責任を負わないものとします。たとえキヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店が、かかる損害の可能性を知らされていた場合も同様です。

補償の否認： キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、「ソフトウェア」またはその使用が自らの知的財産権を侵害していると主張する第三者によってなされるいかなる請求または訴訟に対し、お客様を補償する義務を一切負わないものとします。

４．期間

本契約は、ＣＤの包装を開封した時点で発効し、本契約が終了するまで有効に存続します。お客様は、「ソフトウェア」およびその複製物のすべてを破棄および消去することによって、本契約を終了させることができます。また、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は終了します。その場合、キヤノンは自らが持つ法律上の権利を行使できるとともに、お客様は「ソフトウェア」およびその複製物のすべてを速やかに破棄するものとします。

５. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE: The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein. Manufacturer is Canon Inc./30-2, Shimomaruko 3-chome, Ohta-ku, Tokyo 146-8501, Japan.

６．一般条項

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

ＣＤの包装の開封をもって、お客様は本契約を読み、理解しかつ本契約の条件に同意したことを承認するものとします。お客様はさらに、本契約が「ソフトウェア」に関するお客様とキヤノンとのあいだの完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とキヤノンとのあらゆるコミュニケーションに代わるものであることに合意するものとします。本契約のいかなる修正も、キヤノンの正当に授権された代表者による署名がなければ発効しないものとします。

本契約に関してご不明の点がございましたら、キヤノン販売株式会社に書面にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

開封前に必ずお読み下さい。

弊社では、ソフトウェア製品について、ライセンス契約を設けており、お客様がライセンス契約にご同意された場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいています。お客様がお買い上げになったプリンター製品に同梱されるソフトウェア製品のパッケージを開封する前に、下記契約を十分にお読み下さい。ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとします。下記契約にご同意いただけない場合には、ソフトウェア製品のパッケージを未開封のままお買い上げいただいた販売店に速やかにご返却ください。

ソフトウェア製品ライセンス契約

本契約は、お客様とキヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）との間の契約です。キヤノンは、お客様がお買い上げになったプリンター製品（以下、「プリンター製品」といいます。）に同梱されたCD-ROMのTrueTypeディレクトリに格納されている表示用フォント（以下、「表示用フォント」といいます。）、CIDディレクトリに格納されているプリンタ内蔵用フォント（以下、「内蔵用フォント」といいます。）および「内蔵用フォント」の「プリンター製品」へのダウンロード・プログラム（以下、「ダウンローダー」といいます。）（以下、これらを併せて「許諾ソフトウェア」といいます。）について、非独占ライセンスを下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意頂くものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

１．ライセンスの許諾

(1)　お客様は、「プリンター製品」と直接またはLANを介して接続されたコンピュータ上に「表示用フォント」をインストールし、使用することができます。
(2)　お客様は、「内蔵用フォント」を「プリンター製品」にダウンロードして使用することができます。
(3)　お客様は、「内蔵用フォント」を「プリンター製品」にダウンロードする目的および「表示用フォント」を(1)のコンピュータにインストールする目的にのみ、コンピュータ上で「ダウンローダー」を使用することができます。
(4)　お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用または利用させることはできません。
(5)　お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース･エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

２．保証の否認・免責

(1)　キヤノンおよびキヤノンの販売店は、「許諾ソフトウェア」に瑕疵が無いこと、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であることまたは有用であること、もしくはその他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。
(2)　キヤノンおよびキヤノンの販売店は、「許諾ソフトウェア」の複製、使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、「許諾ソフトウェア」の複製、使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

３．輸出

お客様は、日本国政府または関係各国の政府より必要な認可等を得ることなしに、全部または一部を問わず、「許諾ソフトウェア」を直接または間接に輸出できません。

４．契約期間

(1)　本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」の格納されたCD-ROMのパッケージを開封した時点で発効し、下記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
(2)　お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
(3)　キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(4)　お客様には、本契約の終了後直ちに、「許諾ソフトウェア」およびそのすべての複製物を廃棄または消去していただきます。

５．一般条項

(1)　本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分には影響を与えないものとします。
(2)　本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

COLOR LASER SHOT LBP-2260PSIIの特長

高速A3フルカラープリント

RIPコントローラにEFI社製Fiery drivenを採用。強力なハードにより、A4モノクロ毎分24枚、A4フルカラー毎分6枚の高速プリントを実現しました。印字機構には、A3カラーレーザプリンタエンジンを搭載し、さらにデータ処理解像度を600dpi／多値処理とすることで、高速高画質フルカラープリンティングをA3サイズで実現しました。

PostScript 3 搭載カラーレーザプリンタ

クリエイティブ業界では世界標準とも言え、高品質のグラフィック＆テキスト出力で定評のあるページ記述言語PostScript。その最新バージョンであるAdobe® 純正PostScript® 3ソフトウェアを搭載しており、最新PostScriptプリンタで本格カラー出力が行えます。

オフィスのパソコンから直接カラープルーフやカンプ、プレゼン資料などを出力可能となり、まさにクリエイティブワーク・ビジネスワークに最適のカラープリンタです。

充実したフォント環境

和文2書体、欧文136書体のフォントを標準装備。さらに、付属のCD-ROMにはMacintoshからもWindowsからも使えるポストスクリプト和文フォント14書体、Bitstream社欧文フォント100書体が収録されており、ビジネスプリントでも多彩なフォントを使った豊かな表現が可能です。

また、標準装備のハードディスクは6GBの大容量タイプを搭載しており、付属のCD-ROMや市販のフォントをダウンロードして、より多くのフォントを使うことができます。

多彩なペーパーハンドリング

本体内蔵型の両面ユニットをはじめ、2000枚ペーパーデッキや2×500枚ペーパーデッキ、7ビンソータなど、充実のオプション群を用意。カラー両面プリントからビン指定排紙、ジョブセパレート排紙、ソート排紙、大容量スタック排紙など、あらゆるプリントニーズに対応可能です。

また、印字機構に中間転写方式の採用により、普通紙、OHPフィルム、厚紙、封筒、光沢フィルム、ラベル用紙など、特殊用紙へのプリントにも対応。さまざまな目的にカラープリントを活用できます。

充実のカラーキャリブレーション

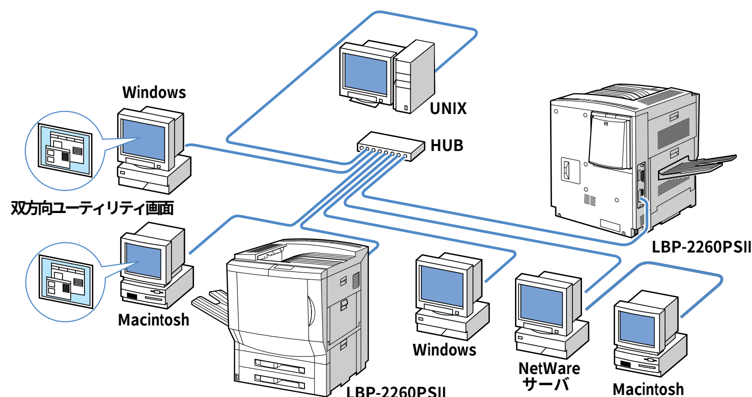
出力サンプルを見比べながらカラーを調整できるVisualCAL機能を搭載。用紙やカラーバランスを含めた仕上がり品質をとことん追求できます。
また、温度、湿度などの環境の変化に応じて最適なトナー濃度を自動的に制御する「Color Stabilizer」機能により、常に安定した画質を実現します。

イージーメンテナンス

C、M、Y、Kの4色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの5種類のカートリッジにより、トナーやドラムが手を汚すことなく簡単に交換でき、さらに取り扱いが簡単になりました。
また、大型ディスプレイによるイラスト表示で、用紙切れや紙づまりをわかりやすく表示します。

プリントサーバ標準装備

10Base/100Base対応のプリントサーバを標準装備しており、Ethernetのネットワークプリンタとしてすぐに接続可能。TCP/IP（LPD、SMB）、AppleTalk、IPX/SPX（NDS PServer、Bindery PServer）のマルチプロトコルに対応していますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare® など幅広い使用環境に対応します。
プリンタに内蔵の「Fiery WebTools」では、WWWブラウザを使ってジョブ管理や状況表示を簡単に行えます。




メモ

- 本プリンタに付属されているソフトウェアの対応OS、インストールのしかたや詳細については、付属の「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

目次

第 1 章　プリンタの使いかた

第 2 章　給紙・排紙のしかた

第 3 章　日常のメンテナンス

第 4 章　困ったときには

付 録

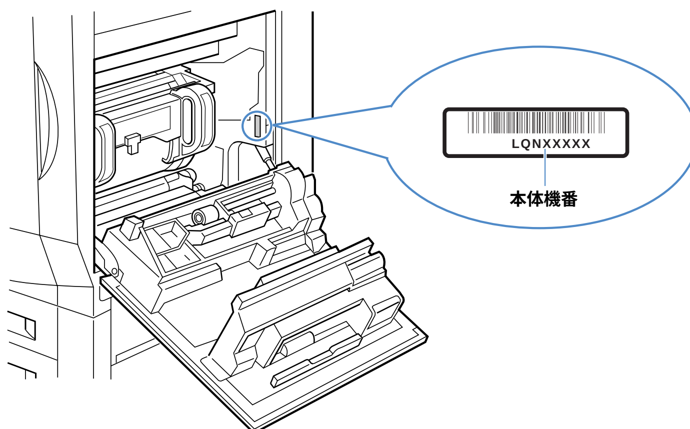
本体機番の表示位置について

本プリンタの保守やサービスをお受けになるときは、本体機番が必要になります。本プリンタの本体機番は、下図の位置に表示されています。

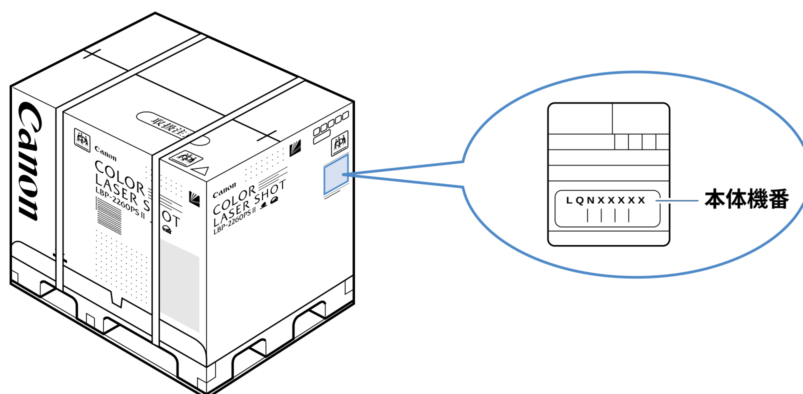

お願い

- **本体機番が書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。**

●本体右カバー内

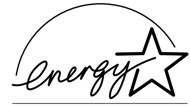


●梱包箱外側



国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判定します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書の読みかた

■マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上注意していただきたいこと、参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークを付けています。これらのマークの箇所は必ずお読みください。



警告

- **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**



注意

- **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**


お願い

- **操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。**


メモ

- **操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。**

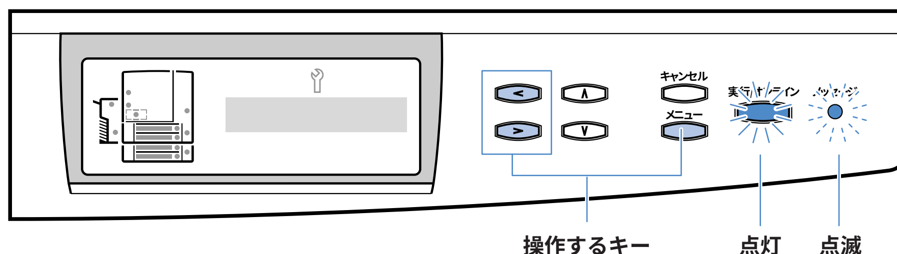
■キーの表記について

本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を ◯ の枠で囲んでいます。

例）(メニュー)：操作パネルの「メニュー」キーを表しています。

■イラスト内のキーやランプ表示について

本書の説明文中に使用している操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。



■略称について

本書では、米国マイクロソフト社の Microsoft® Windows® を Windows、Microsoft® WindowsNT® を WindowsNT、米国ノベル社の NetWare® を NetWare® と記述しています。COLOR LASER SHOT LBP-2260PSII を LBP-2260PS と記述しています。

■操作手順について

本書の説明で、手順通りに操作していただきたいところには番号を表示しています。
必ず番号順に操作をしてください。
わかりにくいイラストには、拡大図や補足説明などを付けています。

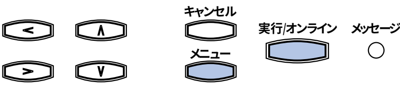


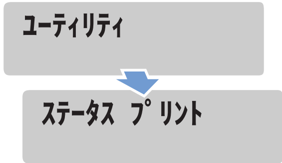
■ディスプレイの表示について

操作の説明で、ディスプレイの表示と連動するところには、ディスプレイの画面例を表示しています。

1

メニューキーを押して「ユーティリティ」メニューを選択し、実行キーを押します。

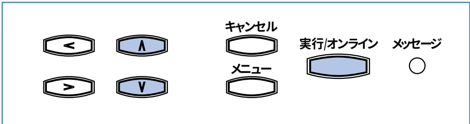


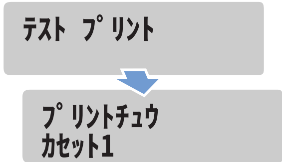


2

∧、∨キーを押して「テストプリント」選択し、実行キーを押します。

テスト　プリントがプリントされた後、プリントできる状態に戻ります。





操作ボタンのイラスト
ブルーになっているキーを使う

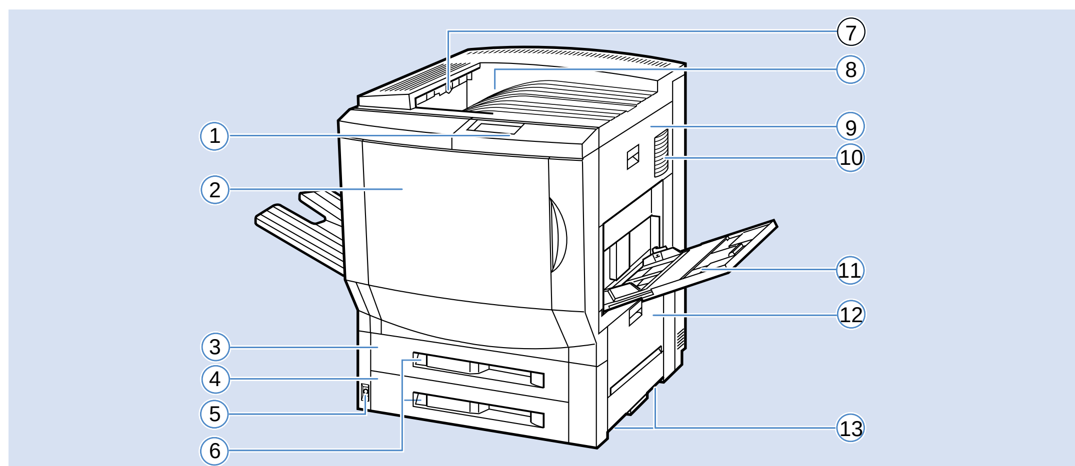
ディスプレイの画面例
（操作前と操作結果）

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

プリンタ本体

■プリンタ前面



①操作パネル
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。(P.32)

②前カバー
トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換、紙づまりを除去するときにここを開けて作業します。

③カセット 1
最大 500 枚までの A4 ～ B4 サイズの普通紙をセットできます。(P.78)

④カセット 2
最大 500 枚までの A4 ～ A3 サイズの普通紙をセットできます。(P.78)

⑤電源スイッチ
プリンタの電源をオン／オフします。(P.36)

⑥用紙サイズカードホルダ
給紙カセットの用紙サイズ表示用カードをセットします。(P.82)

⑦用紙積載センサー
排紙トレイの満載を検知します。(P.72)

⑧排紙トレイ（フェイスダウントレイ）
プリントされた用紙が下向きで排紙されます。

⑨右カバー
プリンタ内部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。(P.158, 164)

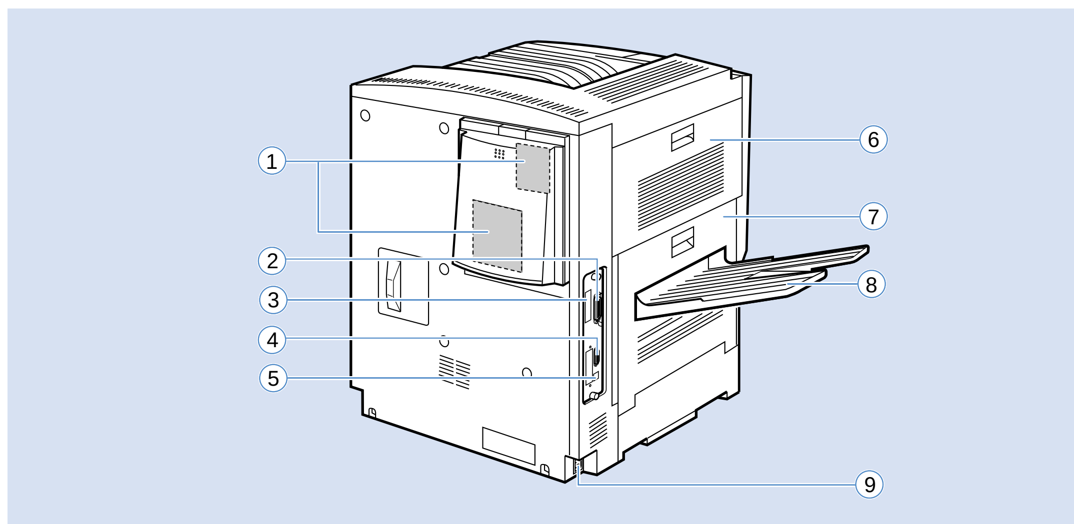
⑩排気口
プリンタ内で発生したオゾンが除去されて空気が出てくる排気口です。内部にオゾンフィルタが入っています。(P.141)

⑪給紙トレイ（開いた状態）
給紙カセットにないサイズの用紙や、OHP フィルム、光沢フィルム、封筒、ラベル用紙などをセットできます。(P.83)

⑫右下カバー
給紙部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。(P.151)

⑬運搬用取っ手
プリンタを運ぶときにここを持ちます。(P.137)

■プリンタ背面



①背面排気口
プリンタ内部冷却用の排気口です。中にエアフィルタが入っています。ときどき清掃してください。

②パラレルインターフェースコネクタ
セントロニクス準拠の8ビットパラレルインターフェース接続部です。パソコンのプリンタポート（パラレルインターフェース）とこのコネクタをプリンタケーブルなどで接続します。



●本プリンタは、デバイスIDをパソコンへ送信可能な双方向パラレルインターフェースを採用しています。

③オプションコントローラスロット
オプションコントローラの取り付け部です。オプションのソータやペーパーデッキを接続する場合は、ここにオプションコントローラを取り付けます。

④10Base-5 コネクタ（AUI コネクタ）
ネットワークケーブルの接続部です。10Base-5によるLANの場合は、ここにトランシーバケーブルを接続します。

⑤10Base-T/100Base-TX コネクタ
ネットワークケーブルの接続部です。10Base-Tまたは100Base-TXによるLANの場合は、ここにツイストペアLANケーブルを接続します。

⑥左上カバー
排紙部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。（P.160）

⑦左下カバー
排紙部や定着器部、両面ユニット部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。（P.168）

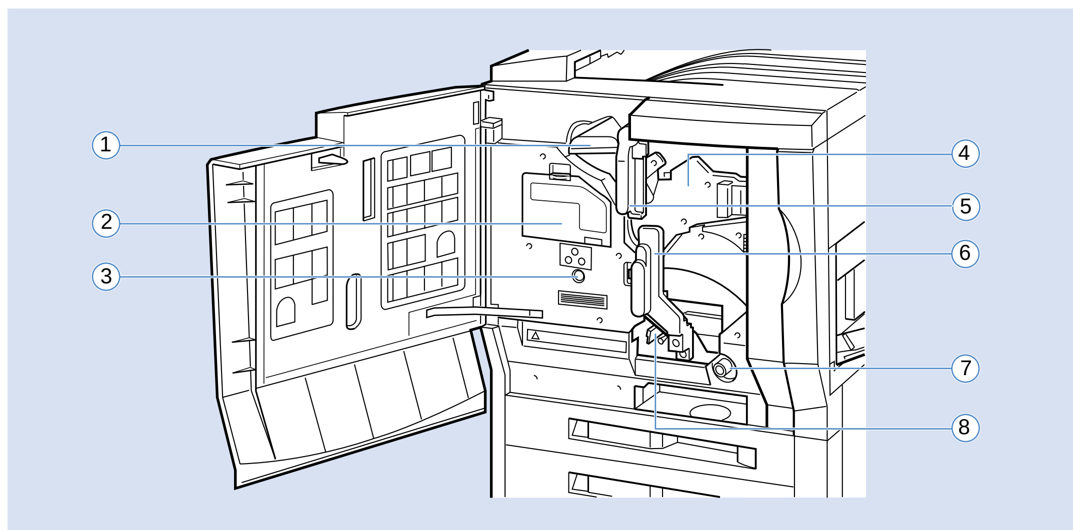
⑧サブ排紙トレイ（フェイスアップトレイ）
プリントされた用紙が上向きで排紙されます。（P.70）

⑨電源コード接続部
ここに付属の電源コードやアースコードを接続します。



● 本体の冷却用排気口や吸気口を壁や物でふさがないように注意してください。本体の冷却用排気口や吸気口がふさがれると、本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■前カバー内部



①K（ブラック）トナーカートリッジ
ここにK（ブラック）トナーカートリッジをセットします。

②カラートナー交換カバー
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジを交換するときにこのカバーを開きます。（P.111）

③タレットボタン
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジ交換時に、このボタンを押して交換するカートリッジを選択します。（P.110）

④ドラムカートリッジ
プリント時に、トナーを中間転写体ユニットに転写（一次転写）する重要な部品です。（P.116）


お願い

- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。必要なとき以外は取り出さないでください。**

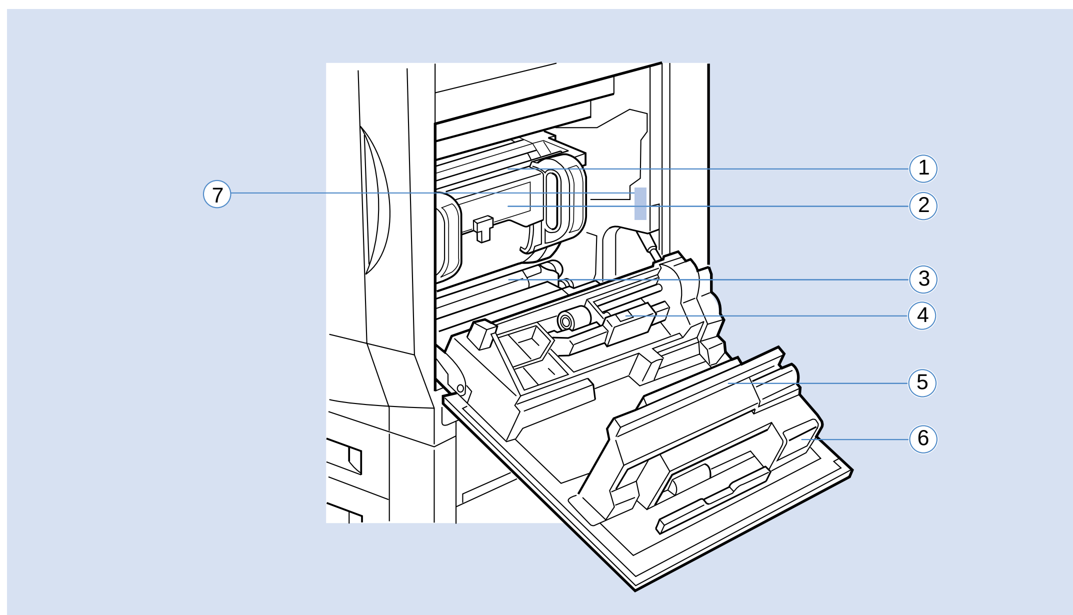
⑤リリースレバー（青）
K（ブラック）トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り出すときに右上に倒します。（P.106, 118）

⑥リリースレバー（緑）
ドラムカートリッジや中間転写体ユニットを取り出すときに、右下へ倒します。ロックボタンが付いています。（P.118）

⑦用紙送りつまみ
レジストローラ付近につまった用紙を取り除くときに、このつまみを回して奥へ送ります。（P.165）

⑧分離除電器
分離による画像の乱れを防ぐ部品です。ドラムカートリッジ交換時に清掃してください。（P.125）

■右上カバー内部



①ポスト帯電器

中間転写体ユニット上のトナーを用紙に転写(二次転写)するための重要な部品です。ドラムカートリッジの交換時に清掃してください。(P. 127)

②中間転写体ユニット

ユニット内のドラム表面上に4色のトナーを転写(一次転写)し、フルカラーイメージを形成する重要な部品です。(P. 127)



- **ドラムの表面が汚れたりキズが付くと、性能が劣化し、プリントの品質が低下します。紙づまりの除去などで取り出すときは慎重に取り扱ってください。**

③転写ガイド/レジストローラ

転写ベルトに用紙を送る重要な部品です。ここに紙粉がたまると、紙づまりの原因になります。トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時に清掃してください。(P.129)

④濃度検知センサ

カラープリントの品質を管理する重要な部品です。汚れるとプリントの品質が低下します。トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時に、付属のブラシで清掃してください。(P. 128)

⑤前露光LED

ドラムカートリッジ内の感光ドラム表面の残留電荷を除去するための重要な部品です。ドラムカートリッジの交換時に清掃してください。(P. 128)

⑥オゾンフィルタ

プリンタ内部で発生するオゾンの大気中への放出を防止するフィルタです。定期的にサービスマンによる交換が必要です。(P. 141)

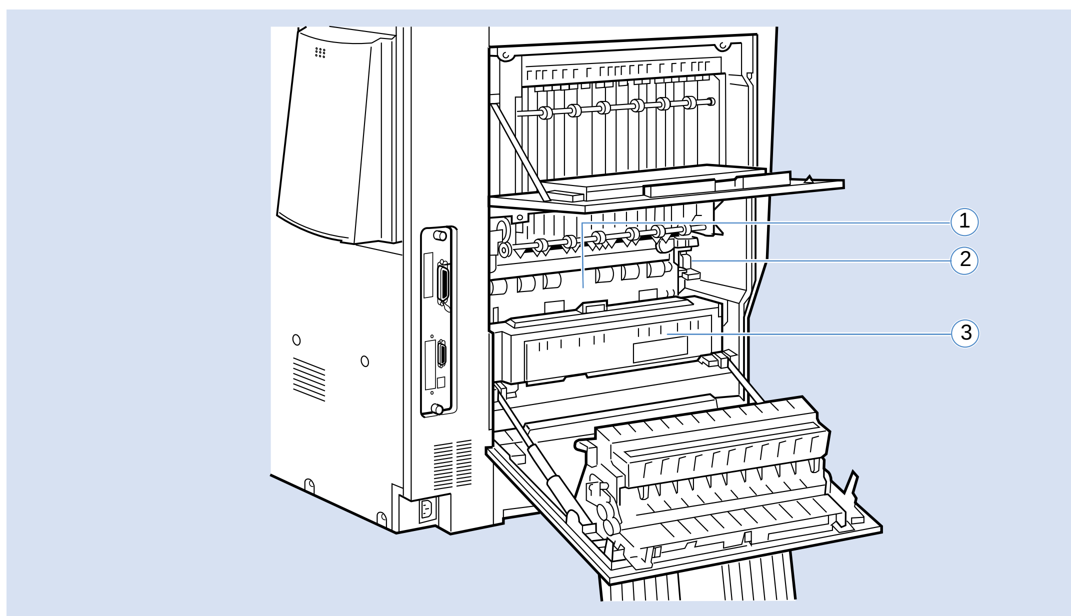


- **絶対にオゾンフィルタを取り外したままでプリンタを使用しないでください。**

⑦定格銘板(本体機番)ラベル

プリンタ識別のための番号が記載されています。サービスや修理をうけるときに必要になります。

■左カバー内部



①定着器

トナーを用紙に定着させる装置です。プリント中は非常に高温になっています。（P.170）

②加圧解除レバー

トナーを用紙に定着させるための圧力を解除するレバーです。定着器内部につまった用紙を取り出すときなど、このレバーを解除位置まで持ち上げます。（P.170）

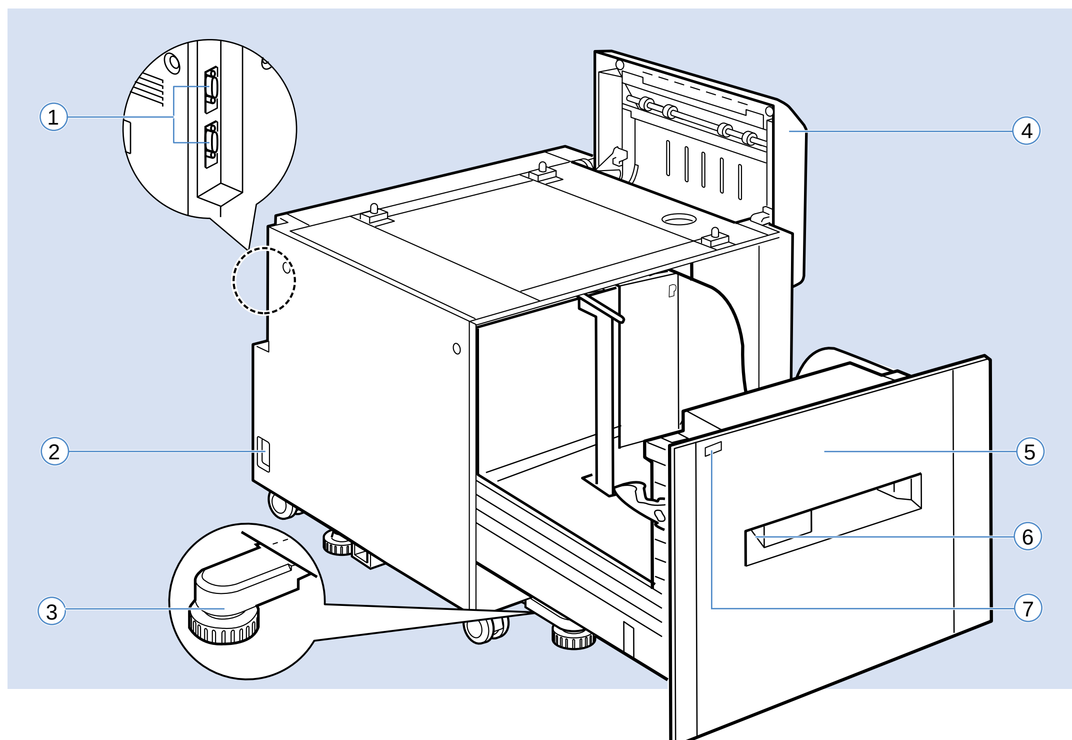
③両面ユニット（オプション）

本プリンタで両面プリントするためのオプションです。（P.171, 197）

注意

- **プリンタを使用した直後は、定着器が非常に高温になっています。本書で指示されている部分以外は手を触れないでください。万一触れると、ヤケドなどの恐れがあります。**

2000枚ペーパーデッキ



①オプションコントローラコネクタ

オプションをコントロールするためのケーブルを接続します。上側の15ピンコネクタは、本体のオプションコントローラと接続します。下側の14ピンコネクタは、他のオプションがある場合に接続します。

②電源コード接続部

付属の電源コードとアースコードをここに接続します。2000枚ペーパーデッキの電源は、本体とは別にコンセントが必要です。

③転倒防止脚

2000枚ペーパーデッキを安定させるための補助脚です。（ P.138）

④搬送路カバー

用紙を2000枚ペーパーデッキから本体へ給紙する搬送路のカバーです。2000枚ペーパーデッキで紙づまりが起こったときは、ここを開けて点検します。（ P.151）

⑤2000枚ペーパーデッキ（開いた状態）

最大2000枚までのA4～A3サイズの普通紙をセットできます。（ P.91）

⑥用紙サイズカードホルダ

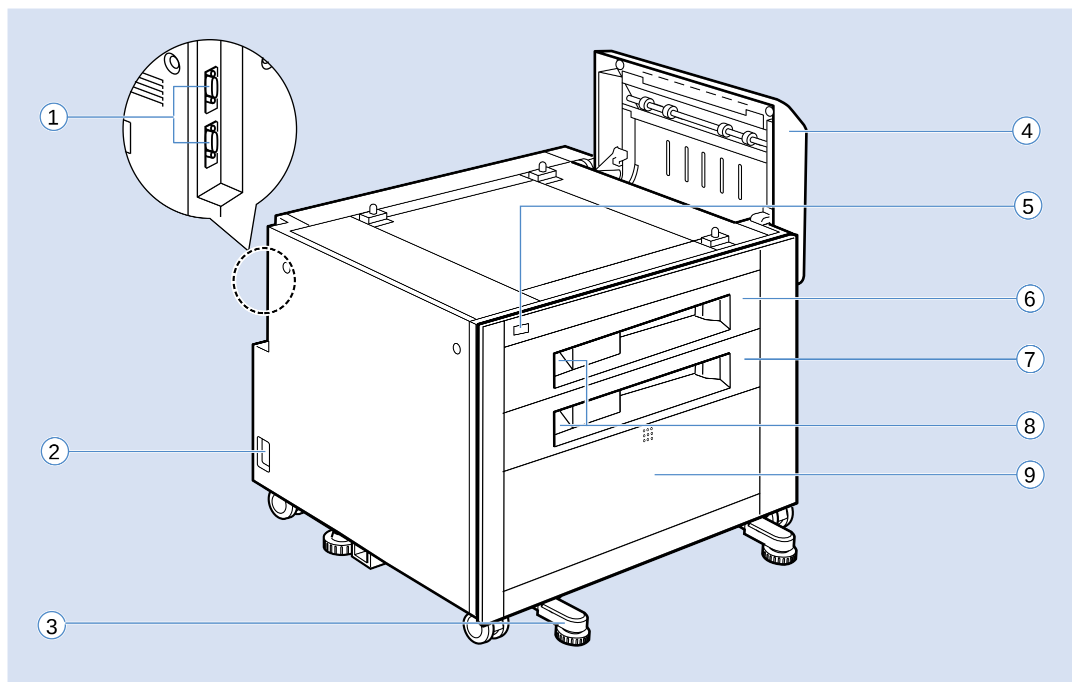
2000枚ペーパーデッキの用紙サイズ表示用カードをセットします。（ P.94）

⑦ステータスLED

2000枚ペーパーデッキの状態を表示します。

緑点灯：正常に待機中または動作中。
赤点滅：紙づまり発生中または搬送路カバーが開いている状態。
赤点灯：故障発生中。
消灯：　電源オフまたは電源コード、インタフェースケーブル接続不良の状態。

2 × 500 枚ペーパーデッキ



①オプションコントローラコネクタ
オプションをコントロールするためのケーブルを接続します。上側の15ピンコネクタは、本体のオプションコントローラと接続します。下側の14ピンコネクタは、他のオプションがある場合に接続します。

②電源コード接続部
付属の電源コードとアースコードをここに接続します。2×500枚ペーパーデッキの電源は、本体とは別にコンセントが必要です。

③転倒防止脚
2×500枚ペーパーデッキを安定させるための補助脚です。（P.138）

④搬送路カバー
用紙を2×500枚ペーパーデッキから本体へ給紙する搬送路のカバーです。2 × 500 枚ペーパーデッキで紙づまりが起こったときは、ここを開けて点検します。（P.153）

⑤ステータス LED
2 × 500 枚ペーパーデッキの状態を表示します。
緑点灯：正常に待機中または動作中。
赤点滅：紙づまり発生中または搬送路カバーが開いている状態。
赤点灯：故障発生中。
消灯：電源オフまたは電源コード、インタフェースケーブル接続不良の状態。

⑥カセット 3
最大500枚までのA4（レター）～B4（リーガル）サイズの普通紙をセットできます。（P.96）

⑦カセット 4
最大500枚までのA4（レター）～A3（11×17）サイズの普通紙をセットできます。（P.96）

⑧用紙サイズカードホルダ
カセットの用紙サイズ表示用カードをセットします。（P.100）

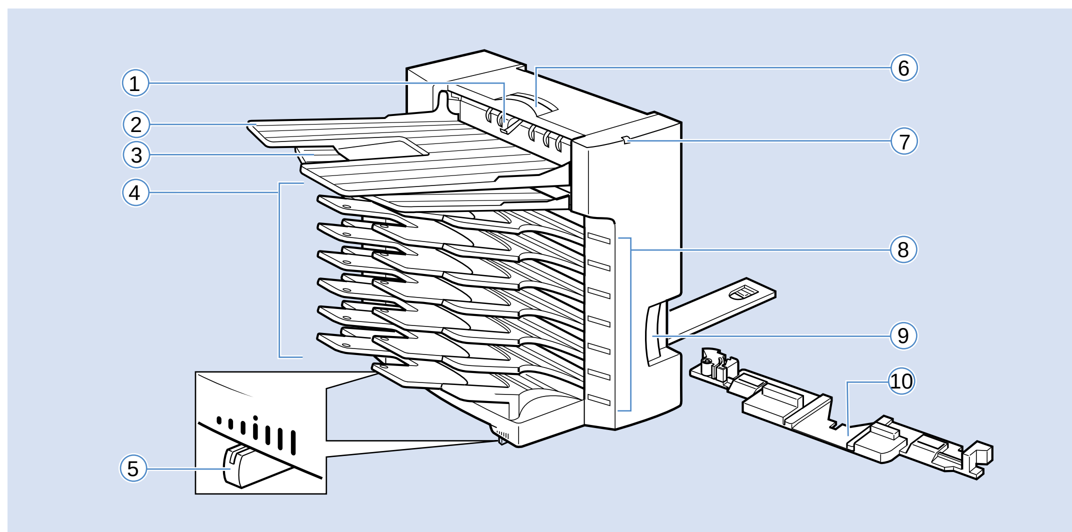
⑨収納スペース
付属品や消耗品を収納しておくことができるスペースです。ドアの上中央を押して開閉します。



- **2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L の名称も同様です。ただし、収納スペースはありません。**

7 ビンソータ

■ 7 ビンソータ前面



①用紙積載センサー
ノンソートビンの満載を検知します。

②ノンソートビン
用紙がフェースアップで排紙されます。（ P.71）

③反転トレイ
用紙の裏表を反転させるときに、一度用紙がこのトレイに排紙され、反転して他のビンに排紙されます。

④ビン
用紙を排紙するトレイで、7枚のビンが装備されています。ビンを指定して排紙したり、複数部をソートして排紙することができます。（ P.71）

⑤調整レバー
7ビンソータの傾きを調整するレバーです。プリンタと7ビンソータの間に隙間ができるときは、このレバーで調整します。

⑥7 ビンソータハンドル
7ビンソータで用紙がつまったときは、このハンドルを持って 7 ビンソータを開きます。（ P.161）

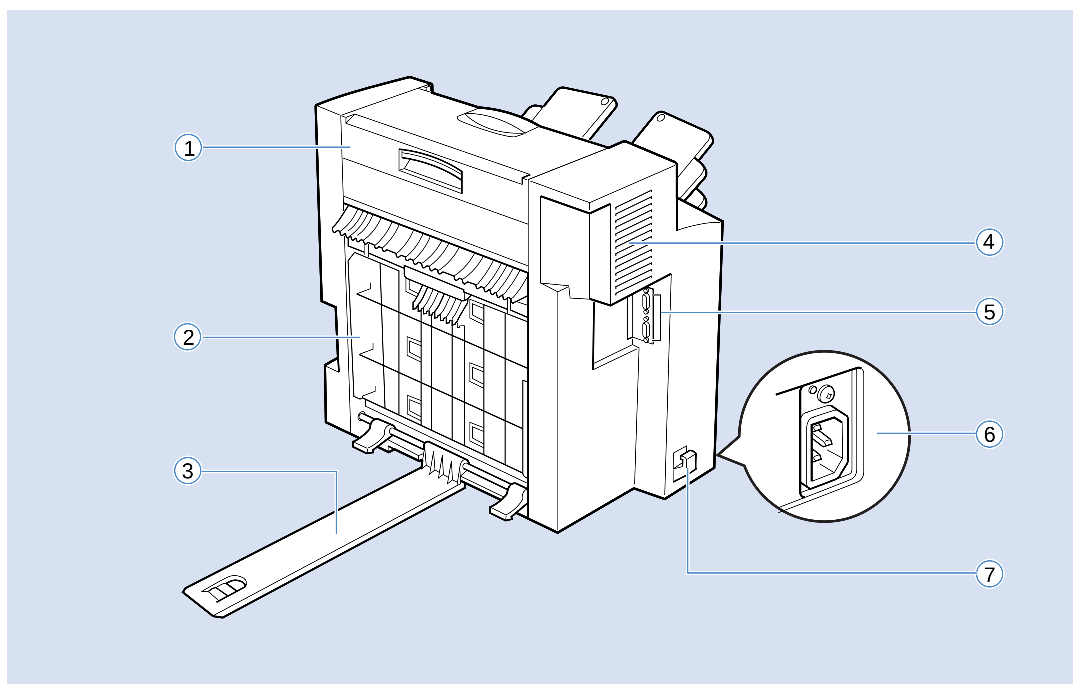
⑦ステータス LED
7 ビンソータの状態を表示します。
緑点灯：正常に待機中または動作中。
赤点滅：紙づまり発生中または搬送路カバーが開いている状態。
赤点灯：故障発生中。
消灯：電源オフまたは電源コード、インタフェースケーブル接続不良の状態。

⑧ビン番号表示 / モード表示ラベル
ビン番号が表示されています。また、ラベルにビンの排紙区分を書き込むことができます。

⑨7 ビンソータロックレバー
7ビンソータを開くときは、このレバーをつかんでロックを解除します。（ P.161）

⑩アダプタプレート
プリンタ側に取り付けるプレートです。このアダプタに7ビンソータのガイドプレートを接続します。

■7ビンソータ背面



①7ビンソータ上カバー
7ビンソータの反転部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。(P.162)

②搬送パネル
7ビンソータとプリンタの間で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。(P.163)

③ガイドプレート
7ビンソータとプリンタをまっすぐに接続するためのガイドです。

④排気口
7ビンソータ内部冷却用の排気口です。

⑤オプションコントローラコネクタ
オプションをコントロールするためのケーブルを接続します。上側の15ピンコネクタは、本体のオプションコントローラと接続します。下側の14ピンコネクタは、他のオプションがある場合に接続します。

⑥電源コード接続部
付属の電源コードとアースコードをここに接続します。7ビンソータの電源は、本体とは別にコンセントが必要です。

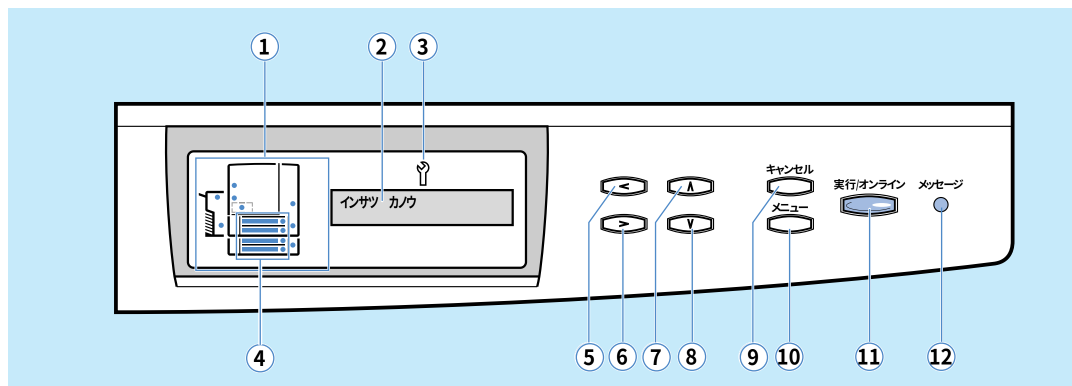
⑦コードホルダ
電源コードを通すホルダです。



- **ソータの冷却用排気口や吸気口を壁や物でふさがないように注意してください。ソータの冷却用排気口や吸気口がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。**

操作パネル

本プリンタの前面には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで状態を知ったり、各種の機能を操作することができます。

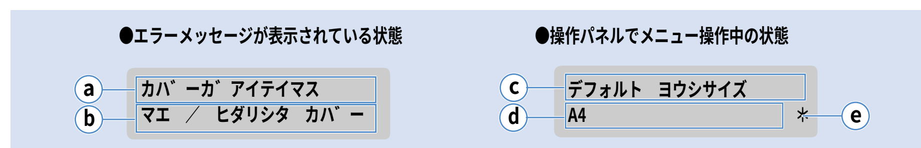


①カバー / 紙づまり位置表示

プリンタ本体およびオプション内のカバー位置や紙づまり位置を示します。（P.148）

②ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。



ⓐ プリンタの状態や処理メッセージ、エラーメッセージを表示します。
ⓑ カバーの名称や用紙サイズや用紙タイプなどを表示します。
ⓒ メニューの項目名を表示します。
ⓓ 項目の設定値や選択肢を表示します。
ⓔ 項目の設定値や選択肢が現在の設定値の場合に表示します。

③故障表示

サービスマンによる修理が必要な故障が発生していることを示します。

④用紙切れ表示

用紙がなくなった給紙元の表示が点滅します。

⑤〈 ＜ 〉キー

メニュー操作時：　何も機能しません。
数値 / 文字入力時：　桁をひとつ左へ移動します。文字入力時には削除キーの役目もします。

⑥〈 ＞ 〉キー

メニュー操作時：　何も機能しません。
数値 / 文字入力時：　桁をひとつ右へ移動します。

⑦（∧）キー

メニュー操作時：　次の項目を表示します。
数値入力時：　大きい数値を表示します。
文字入力時：　正順で次の文字を表示します。

⑧（∨）キー

メニュー操作時：　前の項目を表示します。
数値入力時：　小さい数値を表示します。
文字入力時：　逆順で次の文字を表示します。

⑨（キャンセル）キー

メニュー操作時：　メニュー操作をキャンセルし、オンラインに戻ります。
プリント中：　処理中のジョブをキャンセルし、次のジョブを開始します。


メモ

- **キャンセルキーを押すまでに実行した操作によっては、プリンタが再起動します。**

⑩（メニュー）キー

オンライン時：　メインメニューを表示します。
メニュー操作時：　押すたびにメインメニューの次の項目を表示します。

⑪（実行）キー／オンラインランプ

オンライン時：　オフラインに切り替わります。プリント処理中はオフライン待ちになり、プリント処理が終わりしだいオフラインに切り替わります。
オフライン時：　オンラインに切り替わります。
メニュー操作時：　メニューを選択し、下の階層へ進みます。
設定値選択時：　設定値を決定し、次の項目へ進みます。

また、キー内部にオンラインランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：初期化中。オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）。
点滅：ジョブ処理中または待機中ジョブがある状態、または WebTools で接続中。
消灯：プリンタチェック中。オフライン状態（電源オフ）。


メモ

- **プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプのみ点灯し、他のランプやディスプレイは消灯します。プリントデータを受信したり、操作パネルに操作すると、自動的に通常のオンライン状態に戻ります。**

⑫メッセージランプ

点灯：サービスマンによるサービスが必要な場合。
点滅：プリンタに何かトラブルが起こってプリントできない状態。
消灯：プリンタが正常な状態。

第 1 章

プリンタの使いかた

電源のオン、オフ

本プリンタは、電源をオンすると、本体やオプションの状態をチェックしたり、キャリブレーションを行ったりとさまざまな自動処理を行っています。また、不用意に電源をオフにすると誤ってプリント中のデータを消してしまったり、故障の原因なったりします。必ず正しい電源の入れかたと切りかたを覚えてください。

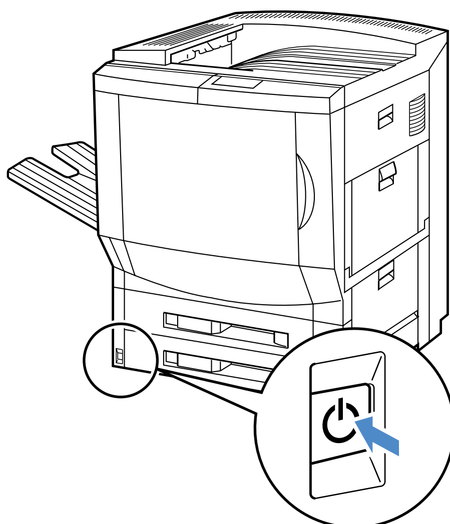
電源をオンにする

本プリンタは次の手順で、プリンタの電源をオンにします。

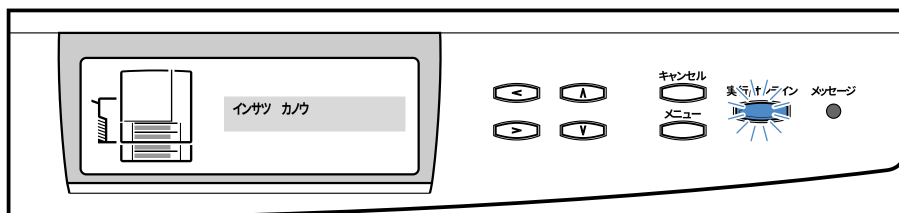
1

本体の電源スイッチを押し込みます。

電源スイッチが押込まれた状態になります。
操作パネルのランプやディスプレイが何回か点灯し、本体やオプションの状態を自己診断します。



自己診断の結果異常がなければ、キャリブレーションやプリンタの準備処理が行われた後、ディスプレイに「インサツ　カノウ」と表示されてプリント可能な状態になります。





● **正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、第4章「メッセージが表示されたときは」（P.173）をご覧ください。**

電源をオフにする

電源をオフにするときは、必ずプリント中や処理中でないことを確認してください。特にネットワーク接続の場合は、プリントしている人がそばにいるとは限らないので、ディスプレイやジョブ管理ユーティリティソフトなどで、プリンタの稼動状況を確認してからオフにしてください。



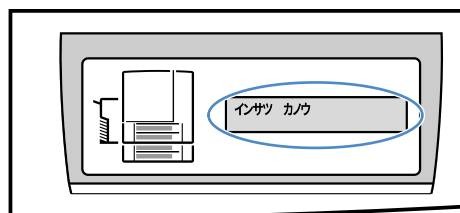
- **ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。**
- **直接プリント（ダイレクトキューによるプリント）のジョブは、プリント処理中に電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータが消去されるので、プリントが終わってから電源をオフにしてください。**
- **プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中や自動キャリブレーション実行中やプリント中には、電源をオフにしないでください。**

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

1

ディスプレイを見てプリント処理中やプリンタ準備中ではないことを確認します。

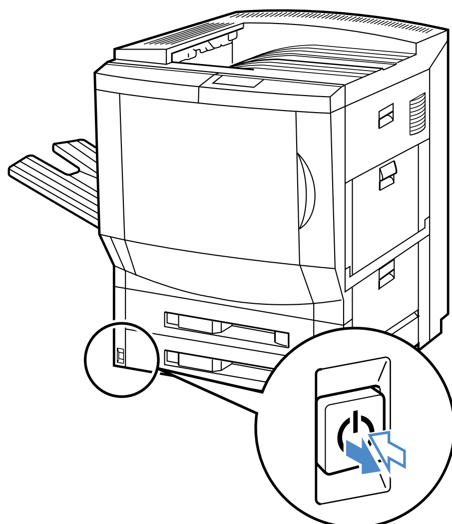
何もプリントしていないときは、「インサツ　カノウ」が表示されるか、スリープモードになっています。



2

本体の電源スイッチを押し込みます。

電源スイッチが飛び出した状態になります。
電源をオフにしてもしばらくの間、ファンが回り続けます。内部が十分冷却されると、電源がオフになります。





- **内部が十分に冷却されるには、約30分かかります。もし、電源ケーブルを抜き取るような場合は、冷却用ファンが完全に停止するまでお待ちください。**

消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタは、何も操作せず、コンピュータからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するスリープモードに移行します。スリープモードに移行しているときには、ディスプレイに「スリープモード」が表示されます。

コンピュータからデータが送られてきたり、操作パネルのキーが操作されるとスリープモードは自動的に解除されます。



お願い

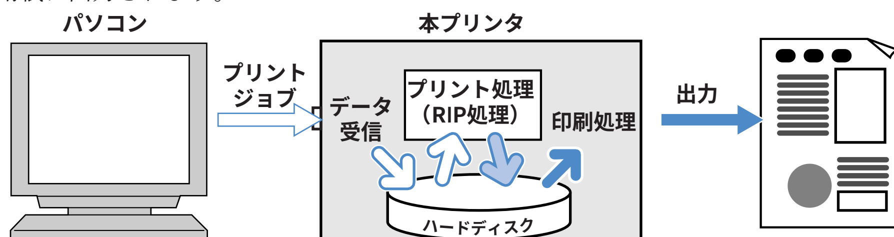
- **長時間スリープモードになっていた場合、ウオームアップ時間（定着器の温度が上昇するまでの時間）が長くなります（最大で約5分）。**
- **スリープモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「30 分」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「30 分」、「60 分」、「120 分」、「180 分」に設定できます。詳細については、プリンタ機能マニュアルをご覧ください。**

オンラインとオフライン

本プリンタでは、パソコンから受信したプリントジョブを何段階かに分けて処理しています。ジョブデータの状態により、プリント処理中のジョブデータを保留できたり、プリント済みのジョブデータをプリントし直したりすることができます。本プリンタでは、プリント処理ができる状態もしくはプリント処理中の状態を「オンライン」、プリント処理を中断している状態を「オフライン」といいます。

プリントジョブの流れ

本プリンタでは、パソコンから送られたプリントジョブが次のような流れで処理され、用紙に出力されます。



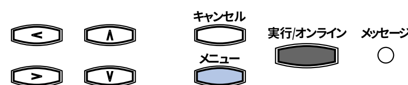
通常のプリント設定（プリントキューや待機キューなど）でプリントした場合、ジョブデータはハードディスクに一旦スプールされます。また、プリント終了後も最新の10ジョブまではハードディスクの印刷済みキューに保存されますので、後から再度プリントすることができます（印刷済みキューには設定変更により99ジョブまで保存が可能です）。いらなくなったジョブデータは、「WebTools」で消去できます。
直接プリント（ダイレクトキュー）でプリントしたジョブは、ハードディスクのスプールを介さず直接処理されます。

オフラインにする

通常は、オンラインのままでメニュー操作や各種設定が行えるので、オフラインにする必要はありません。プリント処理を一時中断したいときは、オフラインにするとジョブの切れ目でプリント処理を中断できます。通常のプリント設定でプリントした受信中のジョブやプリント処理待ちのジョブはそのままハードディスクに残ります。

1

（実行/オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯させます。





オフラインになります。

オフライン


お願い

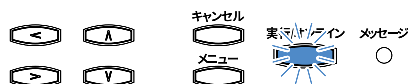
- **プリント処理中のジョブがある場合には、その処理が終わるまでディスプレイに「オフラインマチ」が表示されます。しばらくお待ちください。**

オンラインにする

電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。また、パネル操作や紙づまりを処理などの作業した後は、自動的にプリンタがオンラインになります。
手動でオフラインにした後は、自動的にはオンラインにならないので、次の手順でオンラインに戻してください。

1

実行/オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯させます。





インサツ カノウ

プリントできる状態になります。



- **プリンタがエラー状態のとき（メッセージランプが点灯状態）は、オンラインであってもプリント処理が中断されます。エラー状態のときは、エラーの原因を取り除いてください。正常な状態に戻ると、プリント処理が再実行されます。**
- **プリント中は、絶対に本体のカバーやカセット、ペーパーデッキを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**



- **本プリンタは、常に安定したトナー濃度のカラープリントができるように、本体各部の状態をチェックして運転を制御しています。このため、多量のデータを連続してプリントすると、プリンタを安定した状態に保つために、ある一定枚数毎に「キャリブレーションチュウ」とメッセージを表示し、一時的にプリントを中断します。プリンタが安定した状態に戻ると、自動的にプリントを再開します。**

プリントに必要なソフトウェア

本プリンタでプリントするためには、お使いのパソコンに合ったソフトウェアをインストールする必要があります。本プリンタに付属のCD-ROMには、下記のソフトウェアが収録されていますので、必要に応じてインストールを行ってから、お使いください。インストールの方法やソフトウェアの使いかたについては、ソフトウェアガイドをご覧ください。


メモ

● 本プリンタに付属のプリンタドライバ、ユーティリティソフトの対応OSについては、ソフトウェアガイドをご覧ください。

Windows の場合

本プリンタをWindowsパソコンから使うためのソフトウェアは、次のものがあります。

●ポストスクリプトプリンタドライバ

Windowsからプリントするためにソフトウェアです。付属のUser Software CD-ROMに収録されていますので、必ずインストールしてください。

●ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタの各種設定をネットワークから操作したり、プリンタの状態をモニタできるユーティリティです。NetSpotは、付属のNetSpot CD-ROMに収録されています。必要に応じてインストールしてください。

●プリンタ内蔵フォント用スクリーンフォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォント136書体に対応したType1およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。このスクリーンフォントをWindowsシステムにインストールすることで、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォントを画面上に正しく表示させることができます。

●追加フォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵のPostScriptフォント以外に、追加フォントとして和文PostScriptフォント14書体とBitstream社欧文TrueTypeフォント100書体、およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。必要に応じて使いたいフォントをダウンロード（インストール）してください。

●フォントダウンローダ「Canon Font Downloader」

追加の和文PostScritフォントを本プリンタのハードディスクへダウンロードするためのユーティリティソフトウェアです。また同時にWindowsシステムへTrueTypeスクリーンフォントをインストールすることもできます。付属のUser Software CD-ROMに収録されています。

●各種設定ファイル

アプリケーションソフトやカラーマネジメントソフト用の本プリンタ用設定ファイルです。使用するソフトウェアの説明書を読み、付属のUser Software CD-ROMから指定のフォルダへインストールしてください。


お願い

● パラレルインタフェースで接続した場合は、NetSpotは利用できません。


メモ

● NetSpotのインストール方法や使いかたについては、NetSpot CD-ROMに収録されている「NetSpot設定ユーティリティガイド」をご覧ください。また表示方法などについては、NetSpot CD-ROMの［Manual］フォルダにある「Readme.txt」ファイルをご覧ください。
● 追加フォント、Canon Font Downloaderについては、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

Macintoshの場合

本プリンタをMacintoshパソコンから使うためのソフトウェアは、次のものがあります。

●ポストスクリプトプリンタドライバ

Macintoshからプリントするためにソフトウェアです。付属のUser Software CD-ROMに収録されていますので、必ずインストールしてください。

● PPDファイル

プリンタドライバで使用する本プリンタ用の設定ファイルです。プリンタドライバをインストールすると、同時に指定のフォルダへインストールされます。

●ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタの各種設定をネットワークから操作したり、プリンタの状態をモニタできるユーティリティです。NetSpotは、付属のNetSpot CD-ROMに収録されています。必要に応じてインストールしてください。

●プリンタ内蔵フォント用スクリーンフォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォント136書体に対応したType1およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。このスクリーンフォントをシステムフォルダにインストールすることで、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォントを画面上に正しく表示させることができます。

●追加フォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵のPostScriptフォント以外に、追加フォントとして和文PostScriptフォント14書体とBitstream社欧文TrueTypeフォント100書体、およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。必要に応じて使いたいフォントをダウンロード（インストール）してください。

●フォントダウンローダ「Canon Font Downloader」

追加の和文PostScritフォントを本プリンタのハードディスクへダウンロードするためのユーティリティソフトウェアです。また同時にシステムフォルダへTrueTypeスクリーンフォントをインストールすることもできます。付属のUser Software CD-ROMに収録されています。

● Adobe Type Manager

付属のUser Software CD-ROMには、Adobe Type Manager（ATM）が収録されており、インストールして使うことができます。

●各種設定ファイル

ICCプロファイルやColorSync用のプロファイルなど、アプリケーションソフトやカラーマネジメントソフト用の本プリンタ用設定ファイルです。使用するソフトウェアの説明書を読み、指定のフォルダへインストールしてください。



- **NetSpotのインストール方法や使いかたについては、NetSpot CD-ROMに収録されている「NetSpot設定ユーティリティガイド」をご覧ください。また表示方法などについては、NetSpot CD-ROMの［Manual］フォルダにある「お読みください」ファイルをご覧ください。**
- **追加フォント、Canon Font Downloaderについては、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。**

UNIXの場合

UNIXコンピュータから本プリンタを利用する場合は、サーバに本プリンタを登録し、各クライアントからは、lpコマンドなどシステムに付属のプリントコマンドを利用します。詳しくは、システム管理者にご相談ください。

ネットウェアの場合

ネットウェアで本プリンタを利用するためには、ネットウェアサーバに本プリンタを登録し、各パソコンやコンピュータには、クライアント用のソフトウェアのインストールと設定が必要になります。サーバへの登録やプリンタのネットウェア設定については、本体/オプション品設置ガイド＆ネットワーク設定ガイド　第3章「ネットウェアの設定」をご覧ください。また、クライアントに必要なソフトウェアのインストールについては、ネットワーク管理者にご相談ください。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタの機能を設定するには、プリンタドライバ、プリンタの操作パネル、NetSpotの3つの方法があります。それぞれの方法によって設定できる項目がことなります。

設定方法の種類

●プリンタの操作パネル
操作パネルからメニュー操作を行うことにより、プリンタ情報、ネットワーク情報、プリントジョブ管理、リセットなどの設定が行えます、パネルからの操作については、プリンタ機能マニュアルをご覧ください。

●プリンタドライバ
プリンタドライバでは、給紙先の選択や排紙先の選択、両面プリント、部数の設定など、プリントに関する設定がすべて行えます。プリンタドライバの操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。

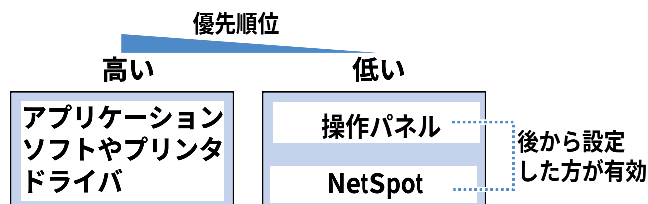
● NetSpot
ネットワークのパソコンからプリンタのネットワーク情報やプリンタ機能の設定が行えます。NetSpotの操作については、NetSpot設定ユーティリティガイドをご覧ください。



● パラレルインタフェースで接続した場合は、NetSpotは利用できません。

設定の優先順位

設定した項目は、設定と同時に有効になりますが、プリンタドライバやアプリケーションソフトと、プリンタのメニュー項目やユーティリティソフト「NetSpot」に同じ機能がある場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。



カラープリントの基礎知識

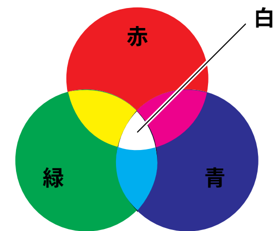
カラープリンタを使ってさまざまなプリントをする上で、知っておくべき基礎的な知識について説明します。

カラーの原理

カラーを表現する場合、光の3原色と絵の具のような色の3原色の2種類に分けられます。それぞれには、次のような特徴があります。

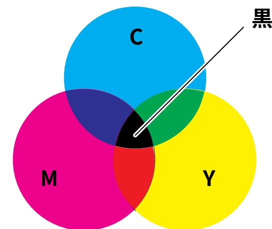
■光の 3 原色

光の3原色では、赤、緑、青の3色で表現します。光の3原色では、赤と緑と青の強弱でさまざまなカラーを表現し、3色すべてを最大（100%）にすると白、3色をすべて最小（0%)にすると黒になります。これを加法混色といいます。
パソコンのディスプレイやスキャナ、デジタルカメラ、テレビなどは、この光の3原色を利用しています。



■色の 3 原色

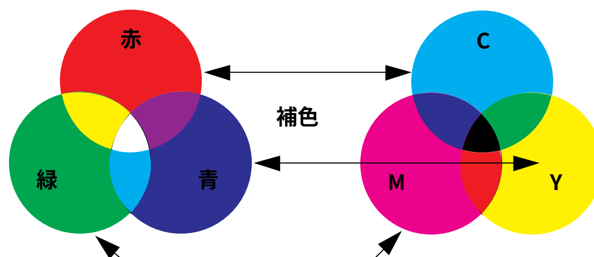
色の3原色は、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の3色で表現します。シアン、マゼンタ、イエローの3色をさまざまな割合で混ぜあわせることによりカラーを表現し、何もまぜないと白、3色をすべて混合すると黒になります。これを減法混色といいます。
カラープリンタや一般の印刷物は、この色の3原色を利用しています。



しかし、色の3原色では光の3原色よりも表現できるカラーの範囲が狭いため、ディスプレイで見える色でもカラープリントでは再現できない色があります。

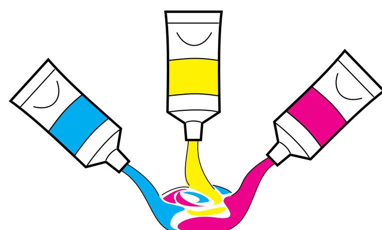
■補色とは

赤とシアン、青とイエロー、緑とマゼンタを補色といいます。赤に対してシアンは青と緑を足した色、マゼンタに対して緑はシアンとイエローを足した色というように3原色の1つの色と他2つを足した色という関係になっています。
補色の関係は、カラープリンタの 色調整する上で、重要な考えかたになりますので、覚えておいてください。

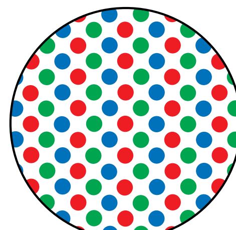


カラーを表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせ、その都度特別な絵の具を作ります。しかし、ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように特別な色を用意できませんので、3原色を利用した点の集まりで色を表現します。

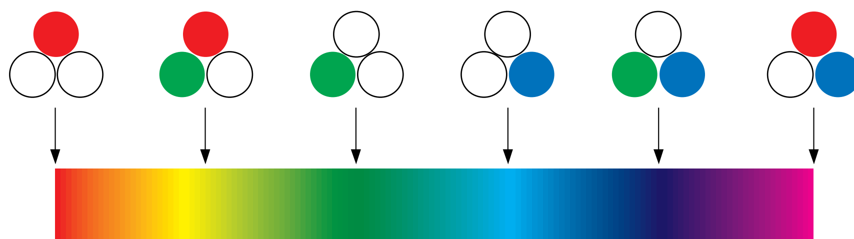


絵の具



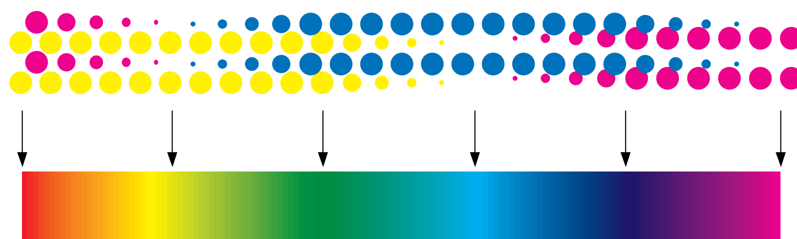
ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合は、ひとつの点（ドット）に対してR、G、Bの組み合わせとそれぞれの光の強弱でいろいろな色を表現します。



カラーバー

プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点をいくつかまとめて使い、ひとつの点の大きさを変えることにより、色の強弱を表現しています。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。

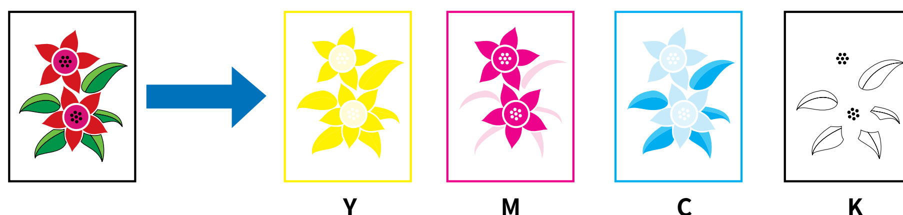


カラーバー

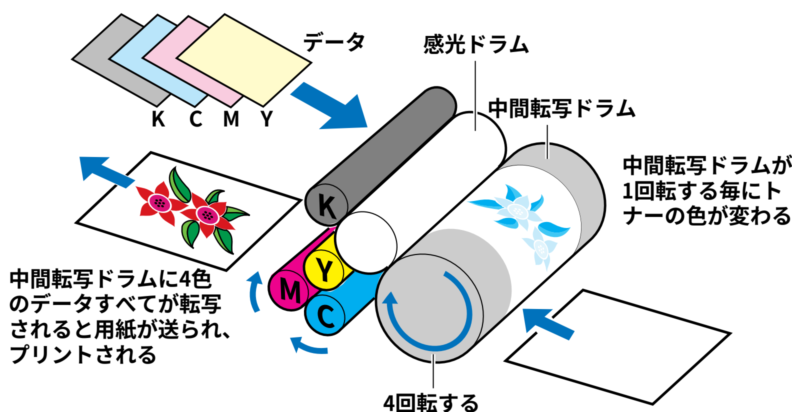
実際のカラープリンタでは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）だけでプリントするものと、K（ブラック）を加えた4色の組み合わせでプリントするものがあります。黒を加えることにより、黒い部分にメリハリがつき、より美しくカラーを表現できます。本プリンタでは、CMY Kの4色を使ってプリントしています。

カラープリントのしくみ

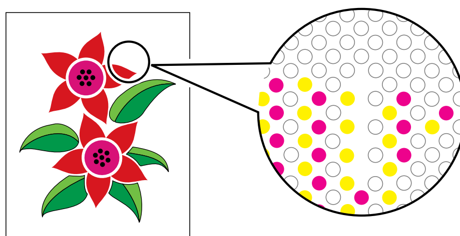
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、Kの4色に分解されます。



これらのデータを1色ずつトナーを変えながら感光ドラムに現像され、中間転写ドラムに転写されます。4色すべてのデータが転写されると、用紙にプリントされて定着器を通り、排紙されます。



プリントされた画像は、さまざまな色に見えますが、ルーペなどで拡大すると、すべて4色の点の集まりであることを見ることができます。ほとんどのカラー印刷物は、このようなしくみで印刷されています。

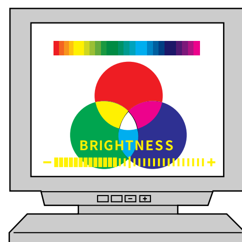


カラーの管理

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、実際のカラープリントでは、さまざまな要素が色再現性に影響します。思いどおりのカラープリントが欲しい場合は、色や機器の管理がかかせません。そこで、カラープリントのためのカラー管理のコツを紹介しますので、これらを参考にプリンタの能力を100%活用してください。

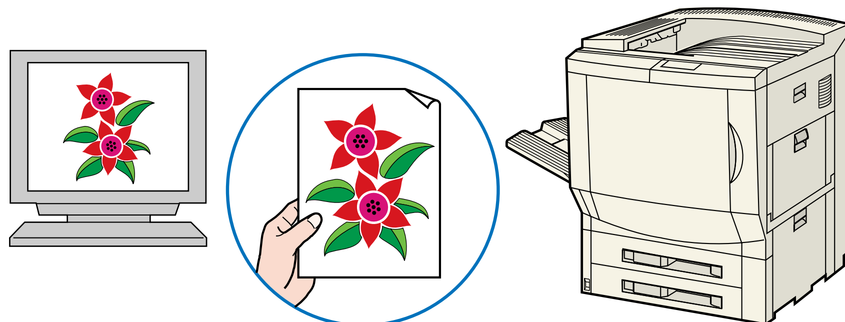
■ディスプレイの色補正をする

今、ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイの表示色が狂っていては、いくらカラーデータを調整しても、正しい色は得られません。
アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、色のデータとディスプレイの表示色が同じになるように、ディスプレイの色や明るさを補正しましょう。正確なディスプレイの調整をしたいときは、専用の測定器を利用するとよいでしょう。



■プリンタの色補正をする

本プリンタには、自動キャリブレーション機能が搭載されていますが、カラープリントの色はプリンタの個体差だけでなく、室内の温度や湿度、用紙の種類、用紙の管理状態などでも変わってしまいます。カラープリンタを調整したからといっても、毎日同じ色が得られるわけではありません。
そこで、カラーの再現性が必要な場合には、少なくとも1日一度のキャリブレーション（カラー調整）を行うことをおすすめします。しかも朝一番ではなく、プリンタの電源を入れてからしばらく待ち、部屋の温度やプリンタの温度が十分安定してからのほうが効果的です。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジを変えた後やプリンタを修理した後なども、各部のコンディションが変わりますので、キャリブレーションが必要です。

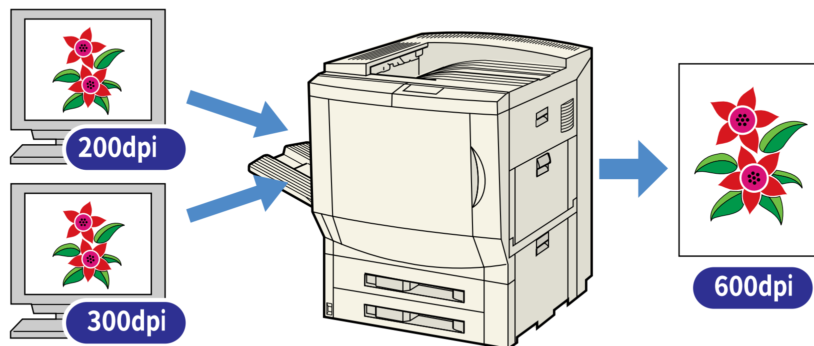


■カラーデータを補正する

ディスプレイやプリンタの管理ができていても、スキャナーやデジタルカメラなどの入力機器が狂っていては、思ったカラーは得られません。入力機器には、それぞれくせがありますので、サンプル画像などを使ってそれぞれの入力ソフトやアプリケーションで欲しいカラーになるように補正値を把握しておきましょう。

■最適なカラーデータを作成する

プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。本プリンタの解像度は600DPIありますが、十分に滑らかな色再現をするためにはいくつかのドットをまとめて使うので、600DPIのデータは必要ありません。実際に必要な解像度は、プリントするサイズで150DPIもあれば十分です。サイズ変更などの余裕を見ても200DPI～300DPI程度のデータを作成しておけばよいでしょう。
データの解像度が低すぎると十分な画質が得られませんが、逆にデータの解像度が高すぎると、データの容量も大きくなるばかりでなく、データ加工やプリント処理をするたびに時間がかかってしまいます。高解像度データで時間をかけるよりは、最適な解像度のデータを何度かプリントして調整するほうが、きれいな結果が得られるでしょう。
データの解像度は、画像処理のアプリケーションソフトなどで修正できます。



■用紙を管理する

カラープリントの色は光の反射を見ているわけですから、用紙の色味や表面処理の種類によっても、カラープリントの見えかたは変わってきます。しかし、あらゆる用紙に合わせてキャリブレーションを行うのも現実的ではないでしょう。
そこで、よく使うカラープリント用の用紙を決めて、その用紙でカラーの調整を行うようにしましょう。また、カラーの再現性は用紙の種類や湿り具合も影響することがあるので、カラープリント用の用紙は正しい保管を行いましょう。

このように、素材から入力、表示、出力までのすべてに気を付けることで、最良のプリント結果が得られるはずです。

カラーを維持するには

カラープリントのカラーを維持するためには、日常のカラー調整がかかせません。本プリンタには、最良のカラープリントを得るためのキャリブレーション機能が搭載されています。

キャリブレーションについて

本プリンタには、自動キャリブレーション、VisualCal、カラー調整機能の3つのキャリブレーション機能があります。

●自動キャリブレーション機能

自動キャリブレーションは、プリンタのカラー設定を維持するためのキャリブレーション機能です。本プリンタの電源をオンにした後やトナーカートリッジを交換した後、大量プリント中など、必要に応じて自動的に行われるので、特別な操作は必要ありません。自動キャリブレーションを行っている間は、ディスプレイに「キャリブレーション チュウ」のメッセージが表示されるので、少しお待ちください。

● VisualCal機能

VisualCalは、本プリンタのカラー調整値を精密に調整できるキャリブレーション機能です。カラーパターンの比較によって視覚的に調整でき、本プリンタのカラー設定値を納得のいくまで微調整することができます。

●カラー調整機能

本プリンタのカラーバランスや明るさを調整する機能です。明るさやC、M、Y、R、G、Bの項目ごとに強調したり、抑えたりといった調整が可能です。この調整結果は、カラープリントすべてに影響するので、使用時や使用後には注意が必要です。

カラー管理について

本プリンタのキャリブレーションは、次のような順に実施することをおすすめします。各キャリブレーション機能を使い分けることで、本プリンタの性能を有効にお使いいただけます。

①プリンタの電源をオンにした直後は、自動キャリブレーションが終わり「インサツカノウ」が表示されるまで待ちます。自動キャリブレーションが行われる前にその他のカラー調整を行っても正しいカラーは得られません。

②VisualCalメニューでキャリブレーションを行い、欲しいカラーがプリントされるように調整します。通常は、それほど頻繁に行う必要はありませんが、いつも思いどおりのカラーを得たい場合には、1日一回以上の実施をおすすめします。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品を交換した後は、設定値がリセットされるので、再調整が必要です。

③通常は、VisualCal補正結果の設定値に合わせて自動キャリブレーション機能が働きますので、調整は不要です。

④調整したカラープリントに対して、「赤を強調したい」「青みを抑えたい」「明るくしたい」など少しくせを付けたプリントがほしいときは、カラー調整メニューで調整を行います。目的のプリントが終わったあとは、必ずカラー調整値を元に戻しておいてください。

VisualCalの操作

VisualCalメニューを使ったキャリブレーションでは、CMYK各トナーのスタート（0%濃度）調整とエンド（100%濃度）調整、およびCMYトナーとKトナーの総合的なバランスを調整することができます。調整は、微妙に濃度の違う図形の色と背景の色を視覚的に比べることによって行います。VisualCalによる調整は、十分な結果が得られるまで何度でも繰り返し行うことができます。
VisualCalは、次の手順で行います。



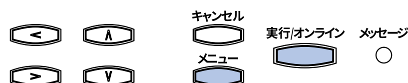
- VisualCalによるキャリブレーションを行うときは、あらかじめカラー調整値を0に戻してください。カラー調整の操作についてはプリンタ機能マニュアルをご覧ください。
- VisualCalは、A4サイズ用に設定されています。A4サイズの用紙をいずれかの給紙元にセットしてください。（操作パネルでプリンタ設定のデフォルト用紙サイズを"レター"に設定している場合は、レターサイズ用紙をセットしてください。）



- VisualCalによるキャリブレーションは、プリンタの温度が十分安定してから行うことをおすすめします。

1

（メニュー）キーを押して「VISUALCAL」メニューを選択し、（実行）キーを押します。

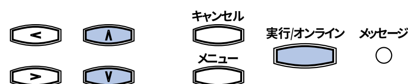


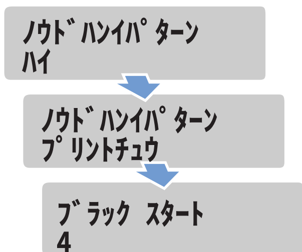


2

（∧）、（∨）キーを押して「ハイ」を選択し、（実行）キーを押します。

濃度範囲パターンがプリントされます。





3

ブラックスタート～イエローエンドまでの 8 行は、背景と識別できる円のうち、最も左のものを選びます。

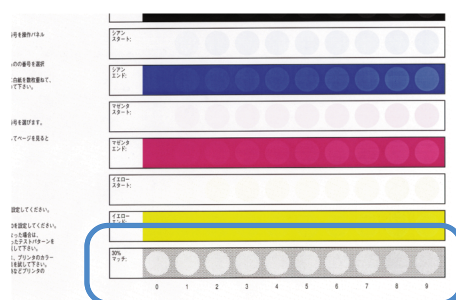
色を比較するときは、腕の長さ程度離して置き、見比べてください。



4

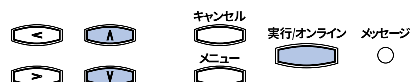
30%マッチの行は、背景と一番馴染んでいる円を選びます。

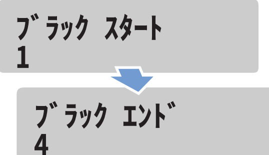
色を比較するときは、腕の長さかそれ以上離して、見比べてください。



5

∧、∨キーを押して「ブラックスタート」行の数値を入力し、実行キーを押します。





6

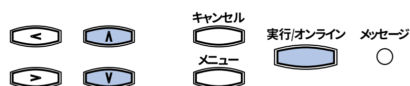
∧、∨キーを押して「ブラックエンド」行の数値を入力し、実行キーを押します。





7

∧、∨キーを押して「シアンスタート」行の数値を入力し、実行キーを押します。

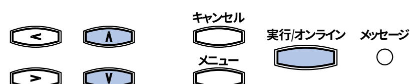


ｼｱﾝ ｽﾀｰﾄ
1

ｼｱﾝ ｴﾝﾄﾞ
4

8

∧、∨キーを押して「シアンエンド」行の数値を入力し、実行キーを押します。

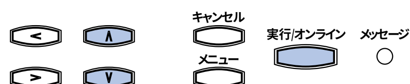


ｼｱﾝ ｴﾝﾄﾞ
2

ﾏｾﾞﾝﾀ ｽﾀｰﾄ
4

9

∧、∨キーを押して「マゼンタスタート」行の数値を入力し、実行キーを押します。

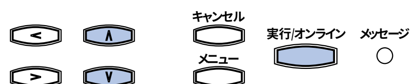


ﾏｾﾞﾝﾀ ｽﾀｰﾄ
1

ﾏｾﾞﾝﾀ ｴﾝﾄﾞ
4

10

∧、∨キーを押して「マゼンタエンド」行の数値を入力し、実行キーを押します。

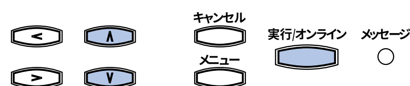


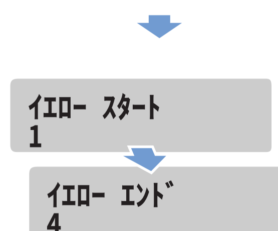
ﾏｾﾞﾝﾀ ｴﾝﾄﾞ
2

ｲｴﾛｰ ｽﾀｰﾄ
4

11

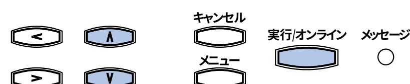
（∧）、（∨）キーを押して「イエロースタート」行の数値を入力し、（実行）キーを押します。

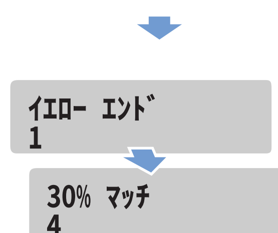




12

（∧）、（∨）キーを押して「イエローエンド」行の数値を入力し、（実行）キーを押します。

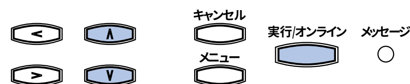


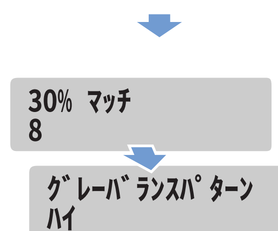


13

（∧）、（∨）キーを押して「３０％マッチ」選択し、（実行）キーを押します。

いずれかの行で範囲指定外（0または9）を入力すると、プリンタに合った濃度範囲を再生成し、もう一度プリントされます。その場合は、手順***3***～***13***を繰り返してください。





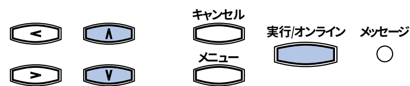

お願い

- **繰り返し範囲指定外になる場合は、プリンタのカラー設定を初期値にリセットし、上記の作業をやり直してください。再び範囲指定外になる場合は、消耗品の交換などプリンタのメンテナンスが必要です。**

14

(∧)、(∨)キーを押して「ハイ」を選択し、(実行)キーを押します。

グレーバランスパターンがプリントされます。



ｸﾞﾚｰﾊﾞﾗﾝｽﾊﾟﾀｰﾝ
ﾊｲ

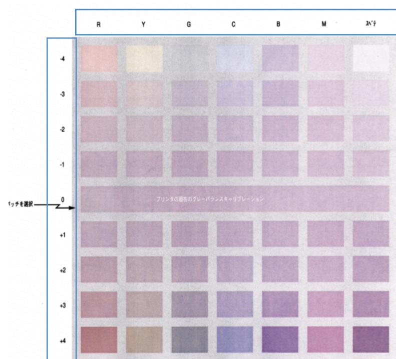
ｸﾞﾚｰﾊﾞﾗﾝｽﾊﾟﾀｰﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

ｻｲﾃｷﾊﾟｯﾁ ﾖｺﾚﾂ
0

15

パッチ（長方形）の中から背景と一番馴染んでいるパッチを選び、その横の数字と縦の記号をチェックします。

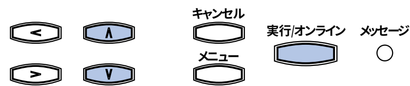
色を比較するときは、腕の長さかそれ以上離して、見比べてください。



16

(∧)、(∨)キーを押して選んだパッチの行の数値を入力し、(実行)キーを押します。

0の場合は補正が完了です。手順***18***へ進んでください。

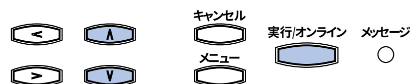


ｻｲﾃｷﾊﾟｯﾁ ﾖｺﾚﾂ
-3

ｻｲﾃｷﾊﾟｯﾁ ﾀﾃﾚﾂ
R

17

∧、∨キーを押して選んだパッチの列の記号を入力し、実行キーを押します。





ｻｲﾃｷﾊﾟｯﾁ ﾀﾃﾚﾂ
M

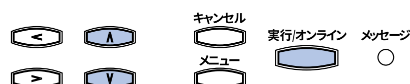


ｸﾞﾚｰﾊﾞﾗﾝｽﾊﾟﾀｰﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

色合いが変わったグレーバランスパターンがプリントされます。
0の長いパッチが一番馴染むまで手順***15***～***17***を繰り返します。

18

∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。





ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾊｲ



ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾁｮｳｾｲﾏｴ

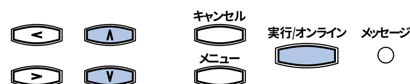


ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ﾁｮｳｾｲｺﾞ

補正前のテストページと補正後のテストページがプリントされます。

19

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。





ﾁｮｳｾｲﾁ ﾃｷﾖｳ
ﾊｲ

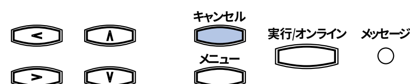


ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ

2枚のテストページの結果を見比べ、補正後のほうがよい場合は「ハイ」を選択します。カラー補正値が適用されます。
補正前のほうがよい場合は「イイエ」を選択します。

20

キャンセルキーを押します。





ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ



ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ

プリントできる状態に戻ります。

グレーバランスパターンの見かたについて

グレーバランスパターンによる濃度調整では、C、M、Y トナーの濃度バランスおよびK トナーと、カラートナー（CMY）との濃度バランスを同時に調整することができます。
グレーバランスパターンの中央にある横長のパッチ（0）が現在の濃度設定値です。このパッチはカラートナー（CMY トナー）だけでグレー色がプリントされています。パッチ周囲の色（パッチとパッチの間の色）はKトナーのみでグレー色がプリントされているので、横長のパッチがはっきり識別できるときは、K トナーとカラートナー（CMY）と濃度バランスもしくは、C、M、Y トナーの濃度バランスが合っていないことになります。
周りに並んでいる小さいパッチは、現在の設定値に対して各色のトナー濃度を変えたパッチです。中央より上側のパッチは、各トナー濃度を少しずつ薄くした組み合わせのサンプル、下側のパッチは各トナー濃度を少しずつ濃くした組み合わせのサンプルです。全パッチの中からパッチの形が見分けにくいもの（一番パッチ間のグレー色に近いもの）を選ぶことにより、最適な各トナーの濃度バランスを選ぶことができます。
パッチを選んだら、その列の記号（R,Y,G,C,B,M, スベテ）とその行の数値（-4～+4）を入力します。0以外を入力すると、再びグレーバランスパターンがプリントされます。2枚目のグレーバランスパターンでは、1枚目で選択したパッチの色が中央の横長パッチとなり、その色に対して各トナー濃度を微妙に変えた小さいパッチが並びます。小さいパッチの中に横長のパッチよりも周囲のグレーに近いものがあれば、その記号と数値を再び入力します。
これを繰り返すことにより、微妙なトナー濃度調整を行うことができます。最終的に横長パッチが一番形の見分けづらいパッチとなったら（横長パッチが一番近い色に見えたら）、調整完了となります。

プリントを中止する

プリントを途中で止めたいときは、キャンセルキーで処理中のジョブをキャンセルします。プリントが中止され、次のプリントジョブが処理できる状態になります。

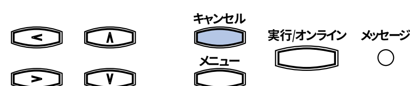


メモ

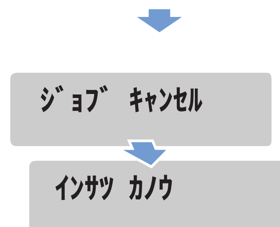
● **スプール済みのプリントジョブをキャンセルしたい場合は、WebToolsから操作します。プリントジョブを指定してキャンセルすることができます。詳しい操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。**

1

プリント処理中に キャンセル キーを押します。



処理中のジョブがキャンセルされます。



第 2 章

給紙・排紙のしかた

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと、印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

■標準状態

給紙元	用紙の種類	サイズ	重さ(g/m^2)	最大セット枚数	プリンタドライバの設定値 用紙の種類
カセット1	普通紙	A4, B4, レター, リーガル	64～105未満	約500枚(64g/m^2)	普通紙
			105		厚紙1
カセット2	普通紙	A4, B4, A3, レター, リーガル, 11x17	64～105未満	約500枚(64g/m^2)	普通紙
			105		厚紙1
給紙トレイ	普通紙	幅：98.4～304.8mm 長さ：190～469.9mm	64～105未満	約100枚(64g/m^2)	普通紙
	厚紙	幅：98.4～304.8mm 長さ：190～469.9mm	105	約50枚	厚紙1
			106～135		厚紙2
	光沢ﾌｨﾙﾑ	A4(ｷﾔﾉﾝ ｶﾗｰﾚｰｻﾞ 光沢ﾌｨﾙﾑ GF-1 A4)	–	約50枚	光沢フィルム
	OHPﾌｨﾙﾑ	A4(ｷﾔﾉﾝ ｶﾗｰﾚｰｻﾞ OHP用紙 TR-2 A4)	–	約50枚	OHP
	ラベル用紙	A4(キヤノン国内ラベル用紙：7.8g)	–	約40枚	厚紙2
	封筒	洋形4号, 角形2号, ISO B5, COM10, MONARCH, C5, DL カスタム 幅：98.4～190.5mm 長さ：190.5～250mm	–	約10枚	–


お願い

- 本プリンタでは、レジャーサイズの用紙を11x17サイズと表示しています。
- A3、11x17サイズ用紙の場合、75g/m^2以上の用紙をお使いになることをおすすめします。
- 給紙カセットにB5サイズの用紙をセットするときは、オプションの500枚カセット CS-82（B5R）が必要です。（P.196）
- 給紙カセットにA5サイズの用紙をセットするときは、オプションの500枚カセット CS-82（A5R）が必要です。（P.196）
- 給紙トレイにB5、A5サイズの用紙およびラベル用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットしてお使いください。（P.86）B5、A5サイズの用紙およびラベル用紙を横送りでプリントすることはできません。
- 用紙を封筒サイズに設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます。（P.88）
- 両面にプリントする場合は、必ずオプションの両面ユニット（P.101）を使用してください。給紙トレイから手動で両面プリントを行うと、印字品質低下の原因になります。

■オプション装着時

給紙元	用紙の種類	サイズ	重さ(g/m²)	最大セット枚数	用紙の種類
500枚ｶｾｯﾄ1 (CS-82 B5R)	普通紙	B5R	64～105未満	約500枚(64g/m²)	普通紙
			105		厚紙1
500枚ｶｾｯﾄ2 (CS-82 A5R)	普通紙	A5R	64～105未満	約500枚(64g/m²)	普通紙
			105		厚紙1
2000枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ-N1	普通紙	A4、B4、A3、レター、リーガル、11x17	64～105未満	約2000枚 (64g/m²)	普通紙
			105		厚紙1
2×500枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ ｶｾｯﾄ3	普通紙	A4,B4, レター ,リーガル	64～105未満	約500枚(64g/m²)	普通紙
			105		厚紙1
2×500枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ ｶｾｯﾄ4	普通紙	A4、B4、A3、レター、リーガル、11x17	64～105未満	約500枚(64g/m²)	普通紙
			105		厚紙1



- **本プリンタでは、レジャーサイズの用紙を11x17サイズと表示しています。**
- **A3、11x17サイズの用紙をセットする場合、75g/m² 以上の用紙をお使いになることをおすすめします。**

■普通紙

本プリンタでは、A5/B5/A4/B4/A3/エグゼクティブ/レター/リーガル/11x17サイズを含む、幅98.4～304.8mm、長さ190～469.9mm、重さ64～105g/m² 未満の普通紙を使用できます。定形サイズの普通紙は、給紙カセットや2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキで給紙できます。その他のサイズは給紙トレイで給紙します。また、エグゼクティブサイズ以外の普通紙は、オプションの両面ユニットを取り付けることにより、自動両面プリントが可能になります。

■厚紙

本プリンタでは、A4/B4/A3/レター/リーガル/11x17サイズ、重さ105～135g/m² の厚紙を使用できます。

■光沢フィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノン カラーレーザ 光沢フィルム GF-1 A4（A4サイズ）」を使用してください。



- **光沢フィルム GF-1 A4 は、カラーレーザビームプリンタ LBP-2160/2200/2260/2260PS専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。**

■ OHP フィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノン カラーレーザ OHP 用紙 TR-2 A4（A4 サイズ）」を使用してください。


お願い

- OHP 用紙 TR-2 A4 は、カラーレーザビームプリンタ LBP-2040/2160/2200/2260/2260PS 専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。
- キヤノン LASERSHOT LBP-2030 用 OHP 用紙（キヤノン カラー LBP OHP 用紙 T-H1 A4、T-H1 LTR）や CLC 用 OHP、モノクロプリンタ用 OHP（キヤノン国内 LBP 用トランスペアレンシー）など、指定以外の OHP フィルムは、本プリンタでは使用できません。万一使用すると、プリンタ内部の定着器の故障や画質低下の恐れがあります。

■ラベル用紙

本プリンタでは、A4 サイズのラベル用紙を使用できます。


お願い

- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれかけていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙を横送りでプリントすることはできません。ラベル用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットしてお使いください。（P.86）

■封筒

本プリンタでは、洋形 4 号、角形 2 号、ISO B5、COM10、MONARCH、C5、DL の標準サイズを含む幅 98.4 ～ 190.5mm、長さ 190.5 ～ 250mm の封筒を使用できます。


お願い

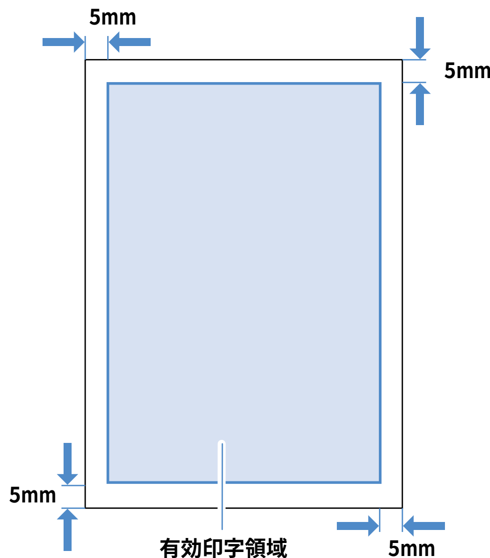
- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面にはプリントしないでください。

プリントできる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

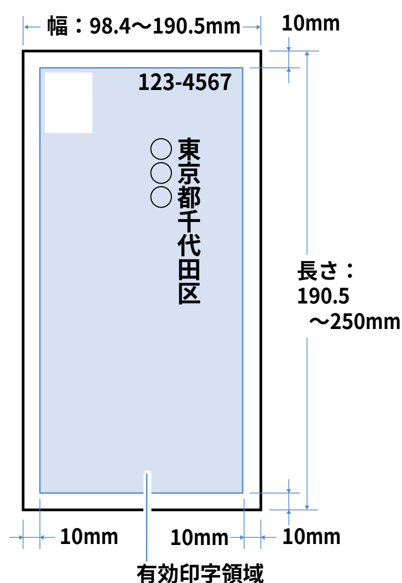
■普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / 光沢フィルム / ラベル用紙

普通紙/厚紙/OHP フィルム/光沢フィルム/ラベル用紙は、用紙の周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。



■封筒

封筒は、封筒の周囲 10mm より内側の範囲にプリントできます。
お使いのアプリケーションによっては、印字位置をずらしてお使いください。



使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。本プリンタでは、はがきにプリントすることはできません。


お願い

- ● 紙づまりを起こしやすい用紙
  - 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - 不規則な形の用紙
  - 湿っている用紙、濡れている用紙
  - 破れている用紙
  - 表紙が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - カールした用紙や折り目のある用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙
  - 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- ● 高温によって変質する用紙
  - 定着器の熱（約180℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - 感熱用紙
  - 表面加工したカラー用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙
  - 糊などがついた用紙
- ● プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - カーボン紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ● トナーが定着しにくい用紙
  - ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙、繊維の粗い用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも､保管が悪いと変質してしまうことがあります｡変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに注意してください。


お願い

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

給紙元を選択する

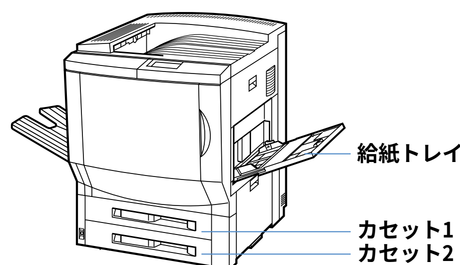
本プリンタは、標準状態で給紙カセットと給紙トレイ合計3つの給紙元があります。また、オプションの2000枚ペーパーデッキや2×500枚ペーパーデッキを装着することにより、最大5つの給紙元を使用することが可能です。

給紙元の種類

本プリンタには、次の給紙元があります。

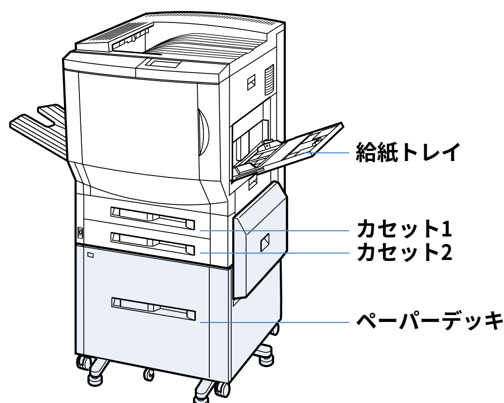
●標準状態

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット1
給紙カセット2
給紙枚数：最大1100枚（64g/m²）



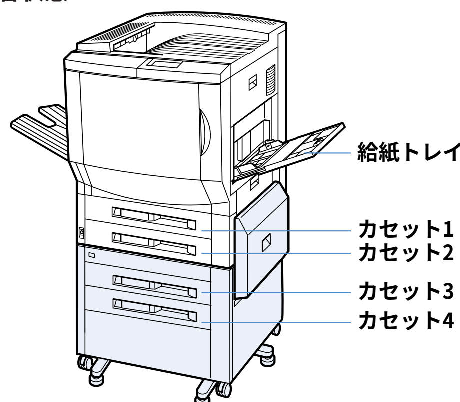
● 2000枚ペーパーデッキ-N1装着状態

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット1
給紙カセット2
ペーパーデッキ
給紙枚数：最大3100枚（64g/m²）



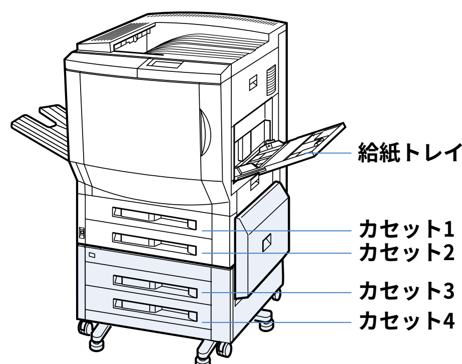
● 2×500枚ペーパーデッキ-C1装着状態

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット1
給紙カセット2
給紙カセット3
給紙カセット4
給紙枚数：最大2100枚（64g/m²）



● **2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L 装着状態**

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット 1
給紙カセット 2
給紙カセット 3
給紙カセット 4
給紙枚数：最大 2100 枚（64g/m²）



給紙元の選択

給紙元の選択はプリンタドライバで設定します。工場出荷状態で給紙選択が「自動選択トレイ」に設定してあり、アプリケーションソフトで設定されたサイズの用紙を自動的に探して給紙します。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替え給紙します。また、給紙トレイなど給紙元を指定してプリントすることも可能です。
給紙選択の操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。

排紙先を選択する

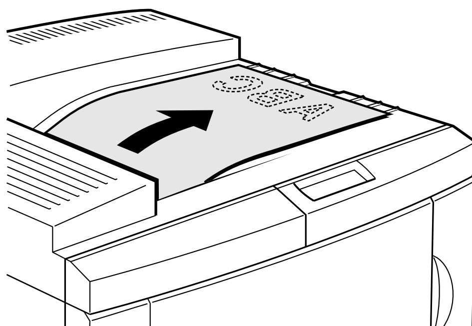
本プリンタは、プリンタ上面の排紙トレイとプリンタ左側面のサブ排紙トレイの排紙先があります。また、オプションの7ビンソータを装着すると、7つのビンを排紙先として追加することができ、排紙トレイ、ノンソートビンと合わせて、9つの排紙先を目的に応じて使いわけることが可能です。

排紙先の種類

本プリンタには、次の排紙先があります.

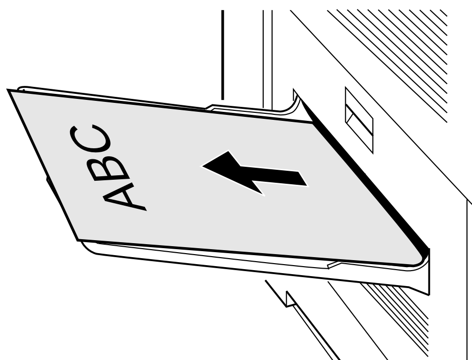
■排紙トレイ

プリンタ上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェイスダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。



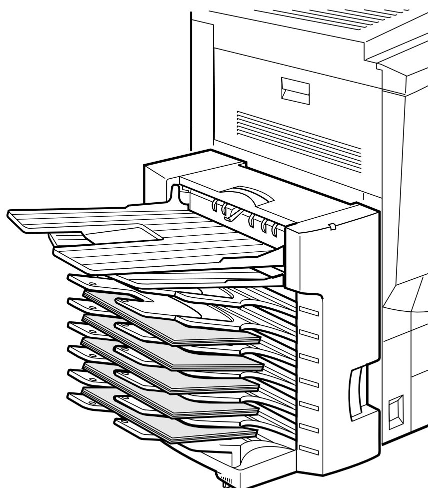
■サブ排紙トレイ

印字した面が上向き（フェイスアップ）で排紙され、用紙はページ順とは逆に積み重なります。フェイスアップ排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHP フィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、封筒などに印字するときに使います。



■ソータ排紙ビン

オプションの7ビンソータを装着することにより、7つのビンを排紙先として使用できます。ソータモードとプリンタドライバの設定により、ソート排紙やビン指定排紙などさまざまな使いかたが可能です。7ビンソータの利用例については、73ページをご覧ください。

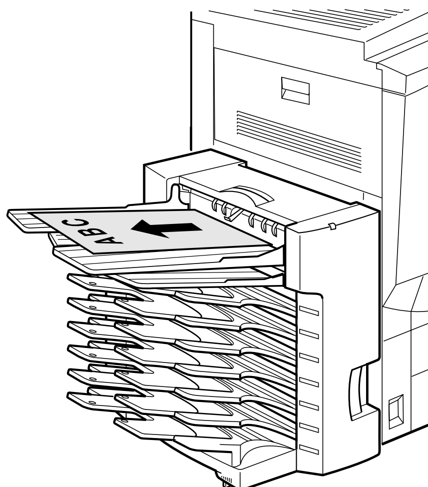



お願い

- **ノンソートビンに排紙した時、用紙の種類によって排紙された用紙がカールし、積載性が損なわれることがあります。その場合は、用紙の面を裏表逆にセットして、プリントしてください。**

■ノンソートビン

7ビンソータの一番上に印字した面が上向き（フェイスアップ）で排紙され、用紙はページ順とは逆に積み重なります。7ビンソータ装着時のサブ排紙トレイとなり、用紙がまっすぐに排紙可能なので、カールしやすいOHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、封筒などに印字するときに使います。

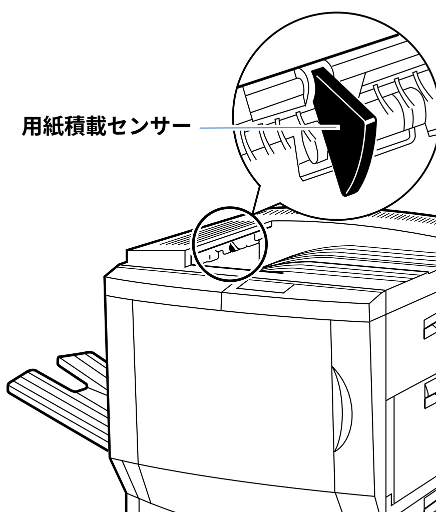


排紙先の選択

排紙先は、プリンタドライバで設定します。ソータのソートモードとプリンタドライバの排紙先や電子ソートの組み合わせにより、さまざまな排紙が指定できます。排紙先選択の操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。



● 排紙トレイは、普通紙（64g/m²）で約300枚まで積載することができます。排紙トレイには用紙積載センサーがあり、満載になると「ハイシトレイフル」のメッセージが表示されてプリントが停止されます。排紙トレイが満載になったときは、排紙トレイから用紙を取り除いてください。プリントが再実行されます。



7 ビンソータの活用例

本プリンタにオプションの7ビンソータを装着すると、排紙先をさまざまに使い分けることができます。ここでは、代表的な例と設定方法を紹介します。（ビン指定排紙、ソート排紙についての詳細はソフトウェアガイドをご覧ください。）

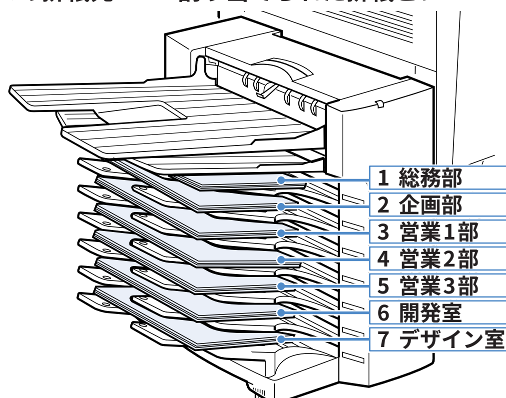
■ビン指定排紙（メールボックス排紙）

本プリンタを複数の部署やグループで共有する場合には、排紙ビンを指定して排紙すると便利です。グループごとに排紙ビン番号を割り当てて、各自のパソコンではプリンタドライバの排紙先として割り当てられた排紙ビンを設定します。それぞれのグループで、排紙ビンの指定を変えておけば、自分のプリントがメールボックスのように決まったビンに排紙されます。

【必要な設定】

操作パネルの「ソータモード」：ジョブセパレート（工場出荷時の設定）

プリンタドライバの排紙先：　割り当てられた排紙ビン



■ジョブセパレート

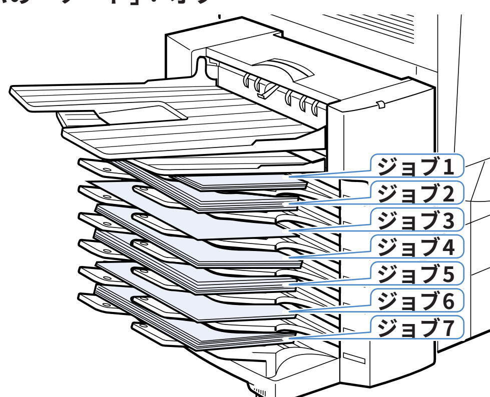
多ページプリントのジョブが多い場合には、ジョブセパレートが便利です。ジョブごとに排紙ビンを切り替えられるので、自分のプリントがすぐに見つかり、カバーページをプリントする必要もありません。

【必要な設定】

操作パネルの「ソータモード」：ジョブセパレート（工場出荷時の設定）

プリンタドライバの「排紙先」：ソータビン

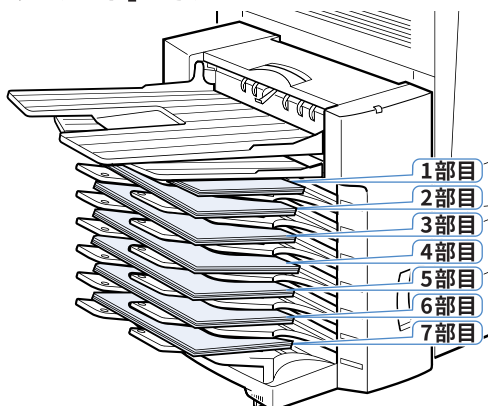
プリンタドライバの「ソート」：オフ



■ソート排紙

多部数プリントのジョブが多い場合には、ソート排紙が便利です。7つのビンにソート済みのプリントが排紙されます。また、7部以上のプリントでも電子ソート機能でソート済みのプリントが本体の排紙トレイに排紙されます。

【必要な設定】
操作パネルの「ソータモード」：ジョブセパレート（工場出荷時の設定）
プリンタドライバの「排紙先」：ソータビン
プリンタドライバの「ソート」：オン



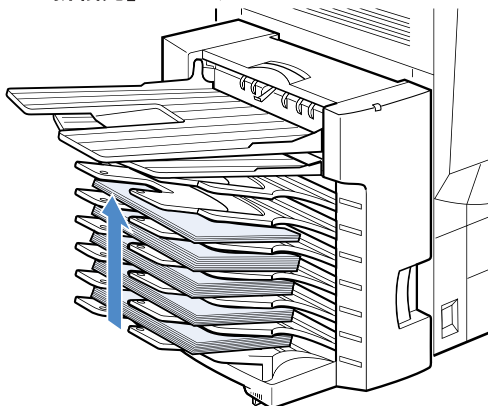


● **封筒、OHPフィルム、ラベル用紙、厚紙2（106～135g/m²）、カスタムは、ソート排紙できません。これらの用紙を選択した場合は、ノンソートビンに排紙されます。**

■大容量スタック排紙

連続ページプリントが多い場合には、スタック排紙が便利です。スタック排紙では、ジョブに関係なく一番下のビンから排紙され、満載になると次々に排紙ビンが切り替わっていきます。排紙ビン、本体の排紙トレイを合わせて約1140枚の連続排紙が可能です。

【必要な設定】
操作パネルの「ソータモード」：スタック
プリンタドライバの「排紙先」：ソータビン



ソータモードを選択する

ソータモードは、操作パネルで設定します。ジョブごとに排紙ビンを指定できる「ジョブセパレート」モードと、一番下の排紙ビンから順に排紙される「スタック」モードを選択できます。

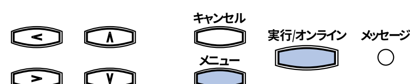


● プリンタの設定とプリンタドライバの設定を合わせてお使いください。

ソータモードは、次の手順で設定します。

1

（メニュー）キーを押して「プリンタ セッテイ」メニューを選択し、（実行）キーを押します。

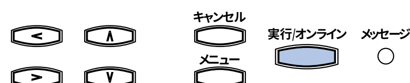






2

（実行）キーを押して、「ソータモード」を表示します。



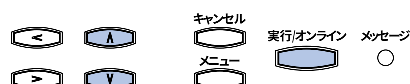




3

（∧）、（∨）キーを押して「ジョブセパレート」または「スタック」を選択し、（実行）キーを押します。

ソータの目的に合わせてモードを選択してください。



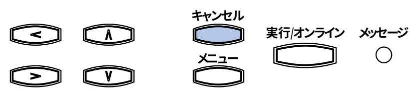




4

（キャンセル）キーを押します。

プリントできる状態に戻ります。





トナー ケイコク ショリ
ケイゾ゛ク ＊

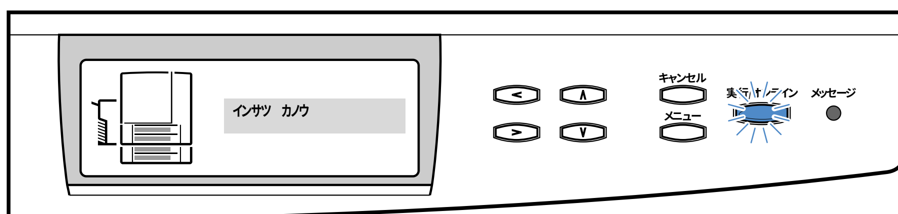


インサツ カノウ

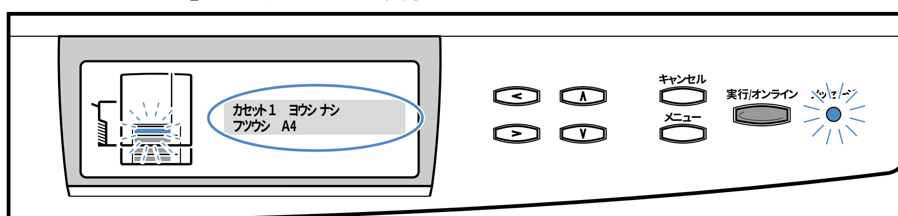
用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。オンラインランプが点滅しているときはプリント処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

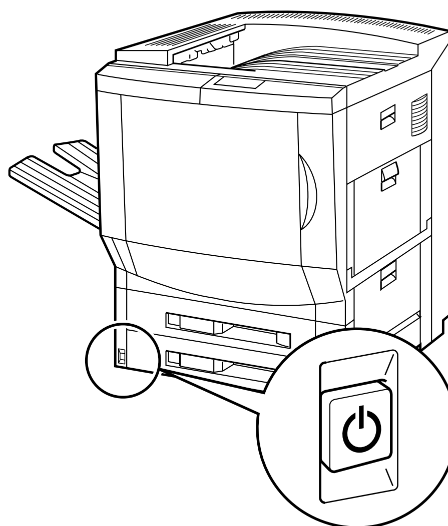
■オンラインランプが点灯しているとき



■「ヨウシ　ナシ」のメッセージが表示されているとき



■本プリンタの電源がオフのとき




お願い

● プリント中は、絶対に本体のカバーやカセット、2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキなどのカセットを開かないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

給紙カセットからプリントする

給紙カセットには、定形サイズの普通紙を約500枚(64g/m²)までセットすることができます。カセット1(上段)とカセット2(下段)には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。
カセット1、カセット2、オプションの500枚カセット、500枚ユニバーサルカセットともに用紙のセット方法は同じです。次の手順で正しく用紙をセットしてください。

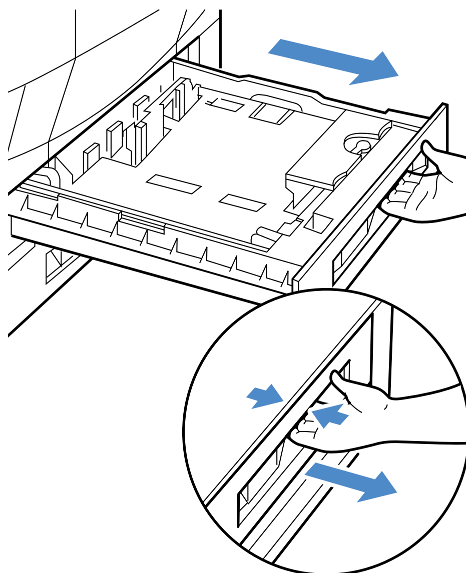


紙づまりの原因になることがありますので、次の注意を守ってください。

- **OHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、封筒など定形サイズの普通紙以外の用紙はセットできません。セットできる用紙については「用紙について」(P.62)をご覧ください。**
- **しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。**
- **給紙カセットの黒いゴムパットには、手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。**

1

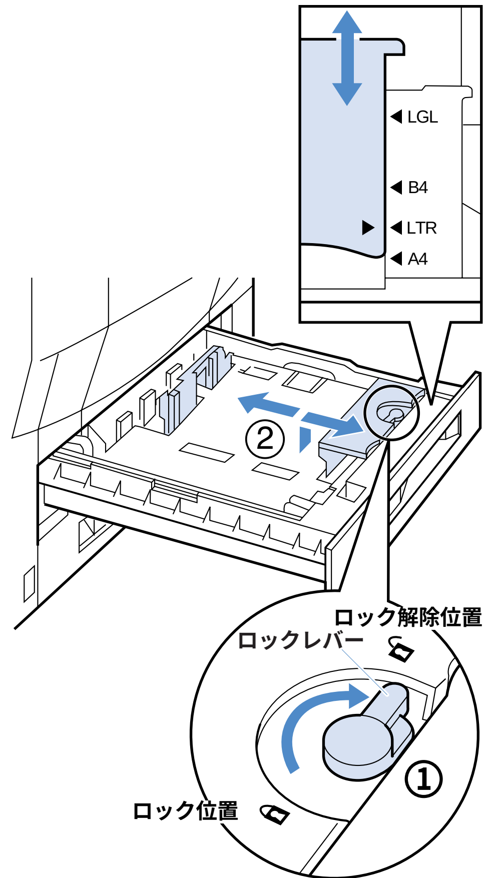
オンラインランプが点滅していないことを確認し、セットする給紙カセットのハンドルを引いて給紙カセットを完全に引き出します。



2

右手前側の用紙ガイドのロックレバーをロック解除側に回して外し①、用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせて移動します②。

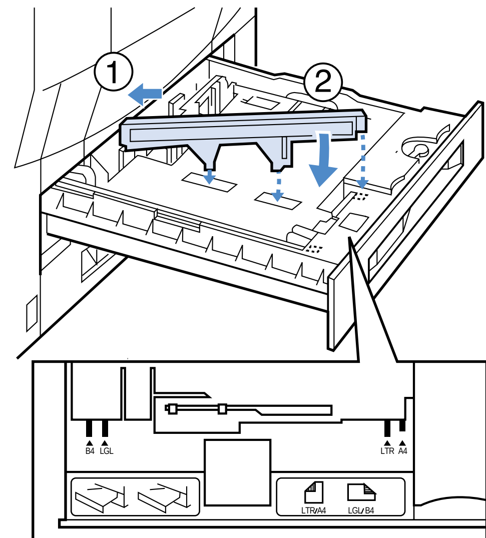
用紙ガイドの位置を合わせたら、ロックレバーをロック側に回してロックします。



3

左端の用紙ガイドを、手前を上に持ち上げて外し、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。

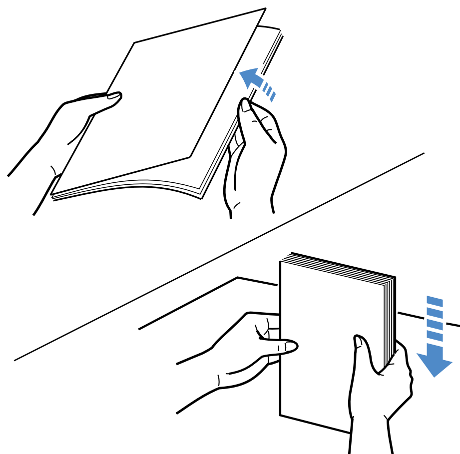
用紙ガイドは、奥を先に差し込んでから①、下側の穴にセットします②。



3

用紙の束をさばいてから、縁を揃えます。

用紙は平らな場所で揃えてください。





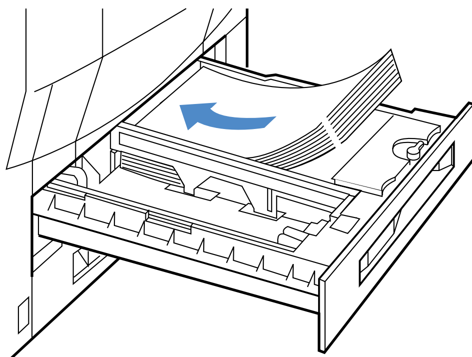
お願い

● **用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。**

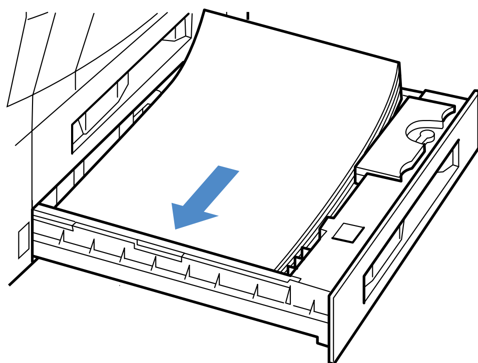
4

用紙を、左側と奥の用紙ガイドに沿わせてセットします。

A4、レターサイズの用紙の場合は矢印の方向（横送り）にセットします。



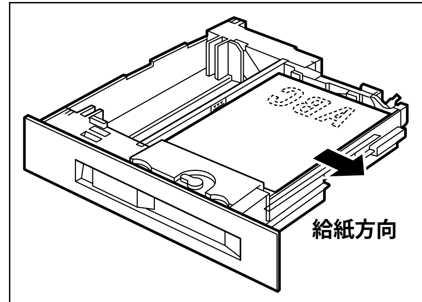
B4、A3、リガール、11x17サイズの用紙の場合は矢印の方向（縦送り）にセットします。



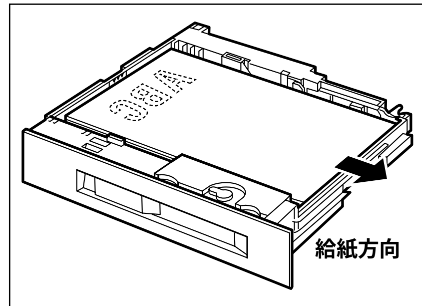


レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

● A4、レターサイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側を奥に向けてセットします。

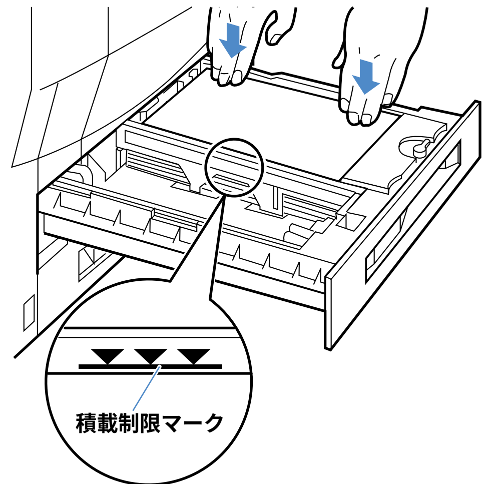


● B4、A3、リーガル、11x17 サイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側が左になるようにセットします。



5

用紙の右側を下へ押さえ、用紙ガイドの積載制限マークを越えていないかどうか確認してください。

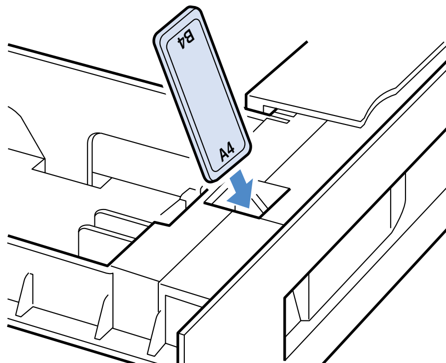




● 用紙は、絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを越えない範囲でセットしてください。積載制限マークを越す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となることがあります。

6

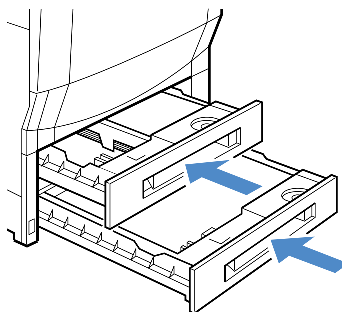
用紙サイズ表示カードにセットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示位置に差し込みます。



7

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と合うまで、しっかりと奥まで押し込んでください。




メモ

- **オプションの500枚カセットを使用すると、B5、A5サイズの用紙を縦送りにセットできます。オプション品については、販売店にお問い合わせください。**

給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が98.4～305mm、長さが190～469.9mmの範囲の用紙を約100枚(64g/m²)までセットできます。OHPフィルム、光沢フィルム、ラベル用紙、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。

給紙トレイを開く

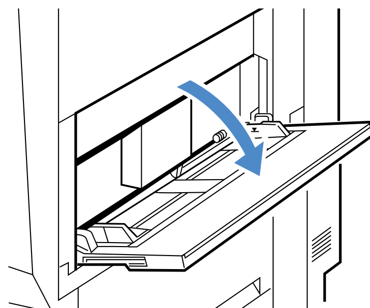
給紙トレイを開くと、補助トレイがあります。用紙のサイズに合わせて引き出します。


お願い

● 給紙トレイや補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

1

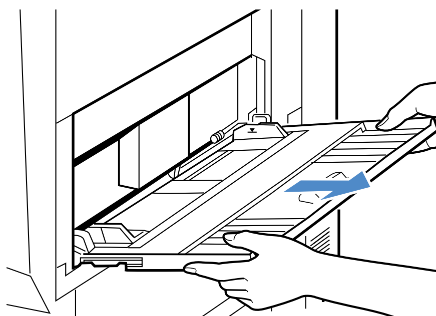
プリンタ右側面の給紙トレイを開きます。



2

給紙トレイのグリップを持ち、補助トレイを引き出します。

小さな用紙をセットするときは補助トレイを引き出す必要はありません。



給紙トレイを閉じる

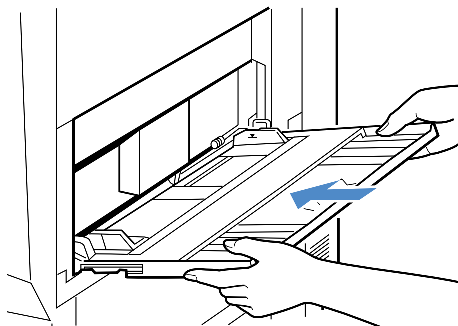
給紙トレイを閉じるときは、開くときと逆の手順になります。給紙トレイを使わないときは、閉じておいてください。

1

給紙トレイの残った用紙を取り除きます。

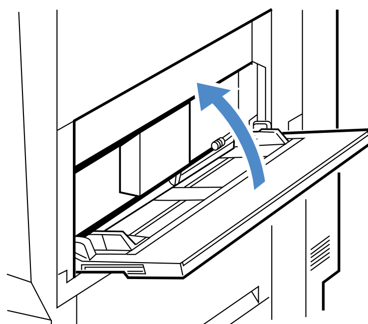
2

補助トレイを奥に当たるまで押し込みます。



3

給紙トレイを閉じます。




お願い

- **補助トレイは奥まで確実に収納してください。飛び出したまま給紙トレイを閉じると、トレイ破損の原因になります。**

用紙を給紙トレイにセットする

給紙トレイに普通紙や厚紙、OHPフィルム、光沢フィルム、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順でセットします。
給紙トレイからプリントするときは、プリンタドライバの「用紙の種類」をセットした用紙に合わせて設定してからプリントします。プリンタドライバの操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。

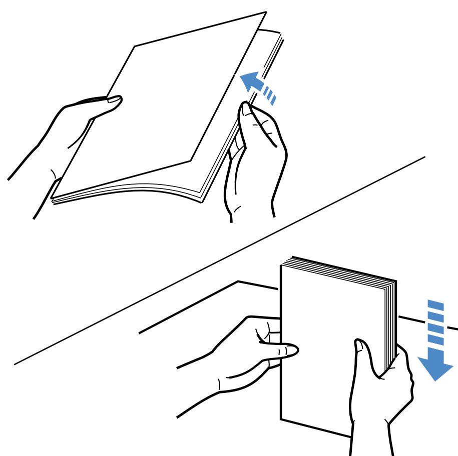

お願い

- **両面にプリントする場合は、必ずオプションの両面ユニット（P.101）をお使いください。給紙トレイから手動で両面プリントを行うと、印字品質低下の原因になります。**

1

用紙の束をよくさばいてから、縁を揃えます。

用紙は、平らな場所で揃えてください。



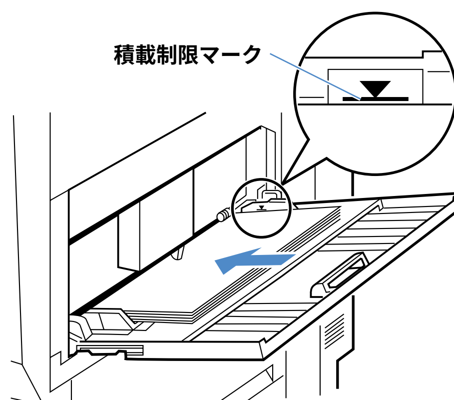

お願い

- **OHPフィルムや光沢フィルムは、1枚ずつよくさばいてからセットしてください。**
- **用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になります。**
- **用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。**

2

用紙のプリント面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

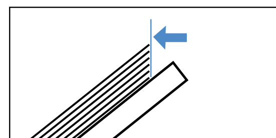
A5、B5サイズの用紙およびラベル用紙は、縦送りでセットします。（P.86）
給紙トレイには、普通紙（64g/m^2）を約100枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。



2
第2章　給紙・排紙のしかた



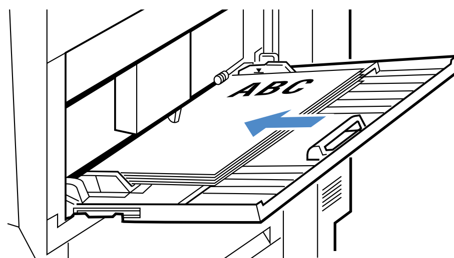
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- セットした用紙は、後端がプリンタの設置面に対して垂直になるようにきれいに揃えてください。用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。



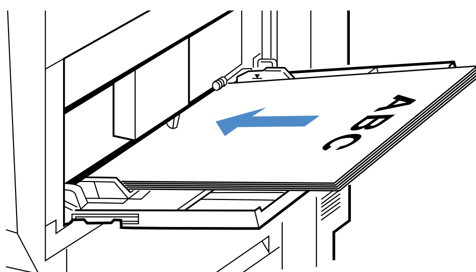
- A4、レターサイズの用紙は、横送りと縦送りの両方向ともセットできますが、通常は横送りにセットしてください。
- A5、B5 サイズの用紙は、必ず縦送りでセットしてください。
- ラベル用紙は、必ず縦送りにセットし、プリンタドライバで用紙タイプを「厚紙 2」、用紙サイズを「ユーザ定義ページ」（A4 ラベル用紙の場合 幅：210mm、高さ：297mm）に設定してプリントしてください。



- 横送り時の用紙の向き
  A4やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、奥側が用紙の上端になります。

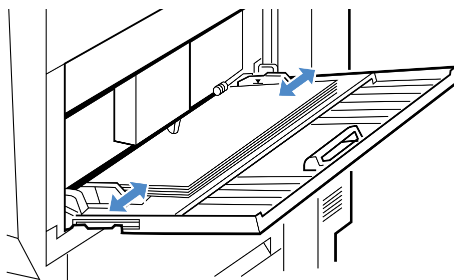


- 縦送り時の用紙の向き
  B4/A3/A5/B5 サイズの用紙やラベル用紙など、用紙を縦送りでセットした場合は、右側が用紙の上端になります。



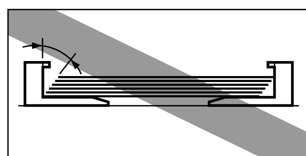
3

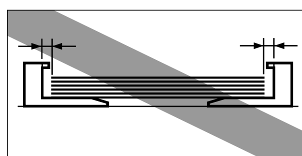
用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

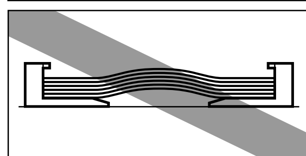




- 用紙ガイドと用紙の間に隙間が開いたり、強く押しすぎて用紙がゆがんだりしないようにしてください。







- プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因となります。

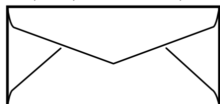
封筒を給紙トレイにセットする

給紙トレイには、洋形4号、角形2号を含む幅100～176mm、長さ190.5～250mmの封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

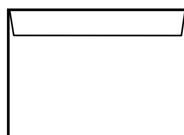

お願い

● **セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。**

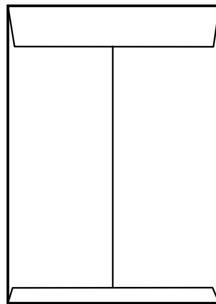
洋形4号, DL, MONACH, COM 10



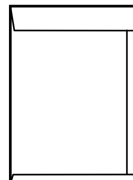
C5



角形2号



ISOB5



1

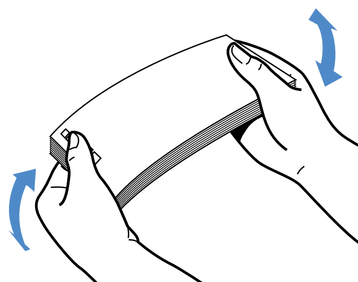
封筒の束を平らなところへ置き、縁の折り目をきちんとつけて、平らにします。

用紙は、平らな場所で揃えてください。



2

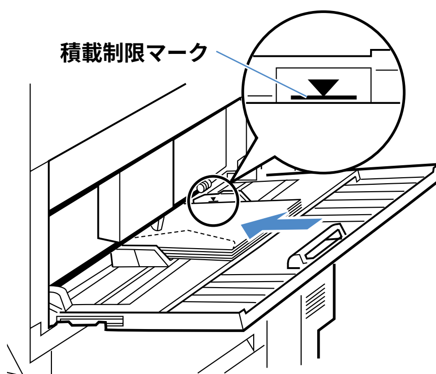
封筒の両端を持って、封筒をさばきます。



3

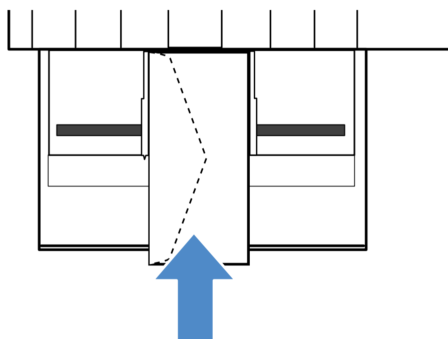
封筒の宛名を書く面を上向き、封筒のふたを左側に向けて、先端が給紙トレイの奥に突き当たるまでゆっくりと差し込み、用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。

給紙カセットには、封筒を約10枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。

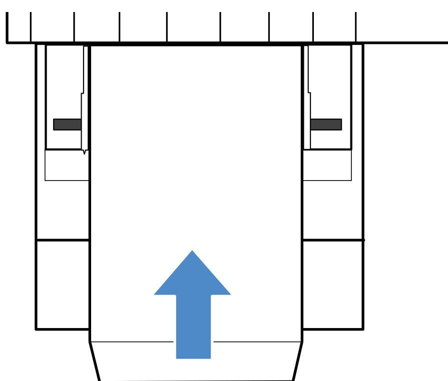




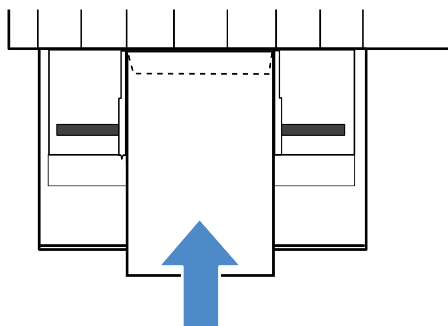
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- Macintoshから洋形4号または角形2号の封筒を横の向きでプリントする場合は、プリンタダイアログの［プリンタ固有機能］ページで、必ず［回転］を［オン］にしてください。また、封筒のプリントが終わったら、必ず［オフ］に戻してください。
- Windowsから封筒を横の向きでプリントする場合には、プリンタドライバプロパティで［用紙］シートの［回転］チェックボックスを［オン］にします。さらに、洋形4号、角形2号を横の向きでプリントするときは、［デバイスオプション］シートの［洋形封筒印刷］チェックボックスを［オン］にしてください。また、封筒のプリントが終わったら、必ずチェックボックスを［オフ］に戻してください。
- 洋形4号、C5、DL、MONACH、COM10の封筒を使う場合は、ふたが左側になるようにセットしてください。



- 角形2号の封筒を使う場合は、ふたを開いたまま、底辺が奥側になるようにセットしてください。



- ISO B5の封筒を使う場合は、ふたを閉じて上が奥側になるようにセットしてください。封筒の宛名を書く面を上向きにしてください。



給紙トレイの用紙タイプを設定する

本プリンタでは、最良の印刷結果を得るために、実際に使う用紙の種類に合わせて最適な印刷モードでプリントします。給紙トレイに用紙をセットしたときは、用紙の種類に合わせてプリンタドライバの「用紙の種類」を設定してからプリントしてください。

用紙の種類	プリンタドライバ「用紙の種類」設定値
普通紙（64〜105g/m²未満）	普通紙
普通紙（105g/m²）	厚紙1
厚紙（106〜135g/m²）	厚紙2
OHPフィルム	OHP
光沢フィルム	光沢フィルム
ラベル用紙	厚紙2

プリンタドライバの操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。
操作パネルで給紙トレイの用紙タイプを設定するときは、次の手順で行います。


お願い

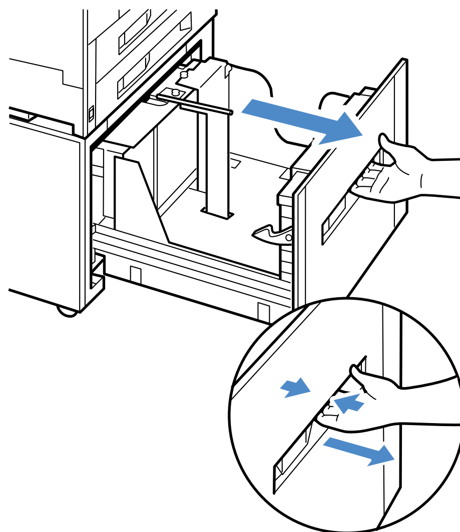
- 封筒の場合は、プリンタドライバの「用紙サイズ」を封筒サイズに設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます。
- 実際に給紙トレイにセットする用紙の種類とプリンタドライバの「用紙の種類」の設定を一致させてください。設定が異なると、プリンタに重大な障害の起こる恐れがあります。用紙のタイプが異なると、「ヨウシタイプフセイ」のメッセージが表示されます。

2000 枚ペーパーデッキからプリントする

2000枚ペーパーデッキには、定形サイズの普通紙（64g/m²の用紙）を約2000枚までセットすることができます。

1

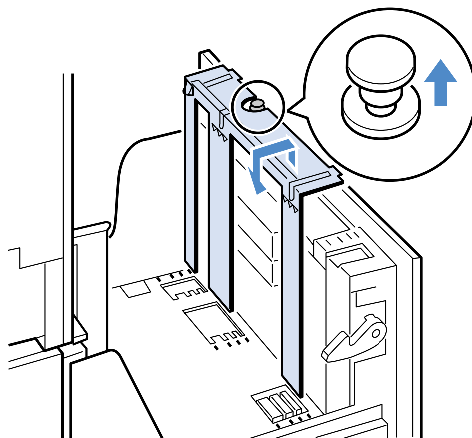
ペーパーデッキのハンドルを引いてペーパーデッキを完全に引き出します。



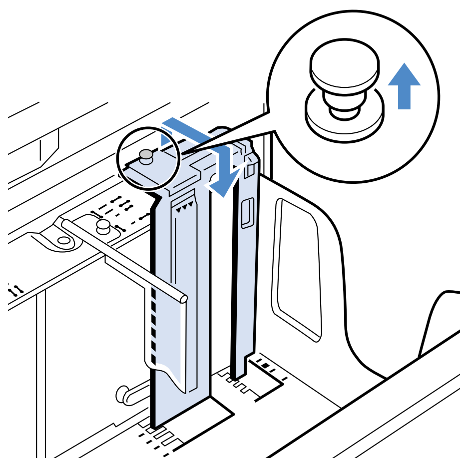
2

用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせます。

2000枚ペーパーデッキには、前側、奥側、左端の3ヶ所に用紙ガイドがあります。前側の用紙ガイドは、ロックピンを引き上げて用紙ガイドを外し、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。用紙ガイドの位置を合わせたら、ロックピンを押し込んでロックします。

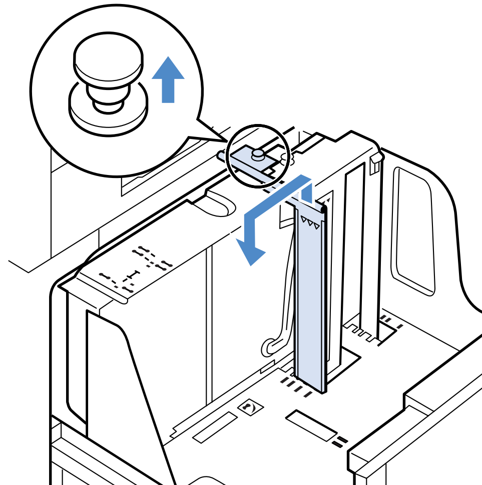


奥側の用紙ガイドも同様に、ロックピンを引き上げて用紙ガイドを外し、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。用紙ガイドの位置を合わせたら、ロックピンを押し込んでロックします。

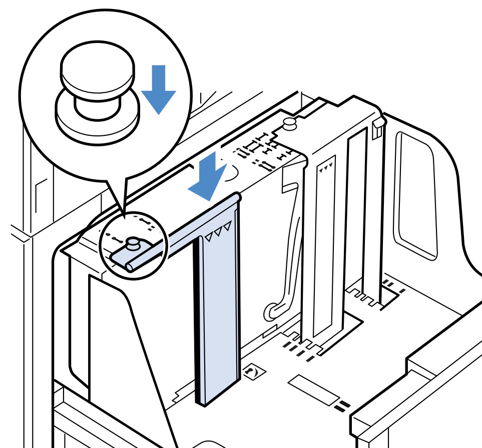


左端の用紙ガイドも同様に、ロックピンを引き上げて用紙ガイドを外し、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。用紙ガイドの位置を合わせたら、ロックピンを押し込んでロックします。

● **11x17 サイズ以外の場合**



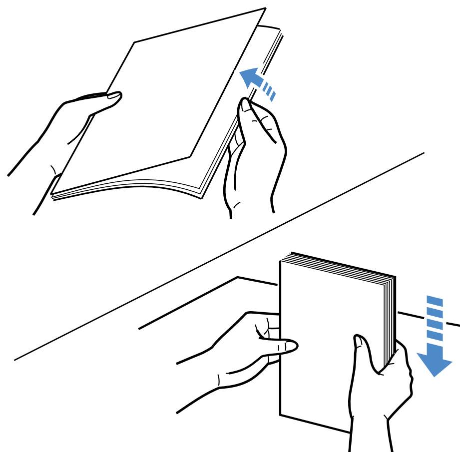
● **11x17 サイズの場合**



3

用紙の束をさばき、縁を揃えます。

用紙は平らな場所で揃えてください。




お願い

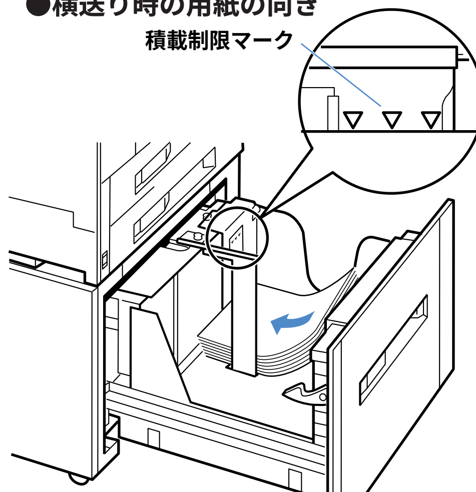
- **用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。**

4

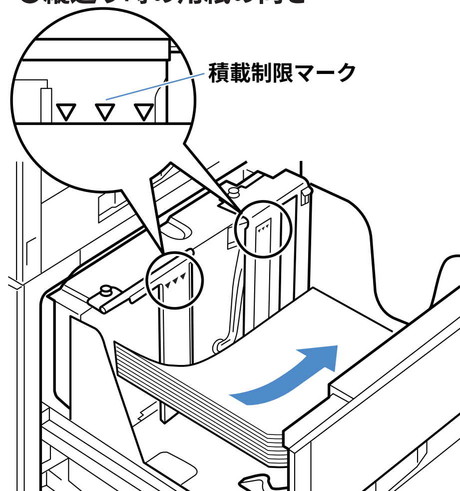
用紙をプリント面を下にして、用紙の奥側を積載制限マークのあるガイドに突き当ててセットします。

A4 およびレターサイズは横送りにセットしてください。
B4、A3、リーガル、11x17 サイズは縦送りにセットしてください。
2000 枚ペーパーデッキには、普通紙（64g/m²）を約 2000 枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。

●横送り時の用紙の向き

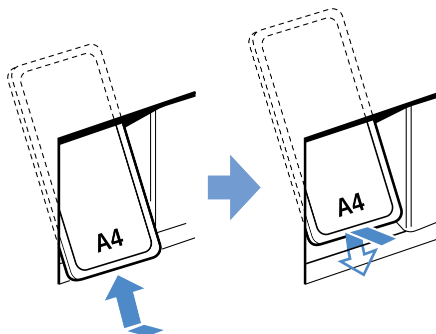


●縦送り時の用紙の向き



5

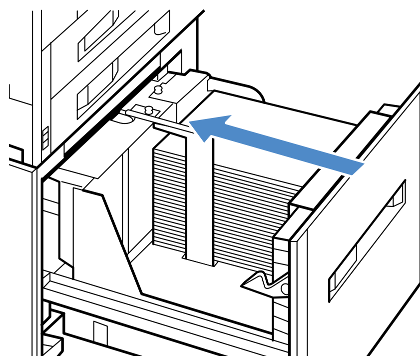
セットした用紙サイズに合った用紙サイズカードを、2000枚ペーパーデッキの前面左側の用紙サイズ表示カードホルダに差し込みます。



6

ペーパーデッキをカチッとロックするまで押し込みます。

ロックすると、電源が入っているときは作動音がします。「XXX　ヨウシ　ナシ」のメッセージが表示されていた場合は、自動的にプリントを再開します。

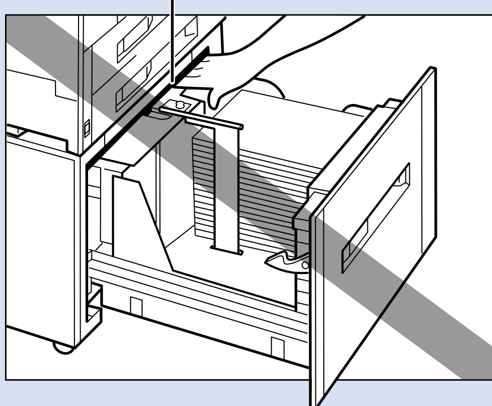




- **2000枚ペーパーデッキに用紙をセットした後、作動音がしている間はディスプレイに「リフトアップ チュウ」のメッセージが表示されます。**
- **2000枚ペーパーデッキを接続した場合、ペーパーデッキの状態監視のために、給紙元にかかわらず、連続プリント中に一時的にプリントが中断されることがあります。**

注意

● ペーパーデッキとプリンタのすき間に手を入れないでください。手をはさんで、けがの原因になることがあります。

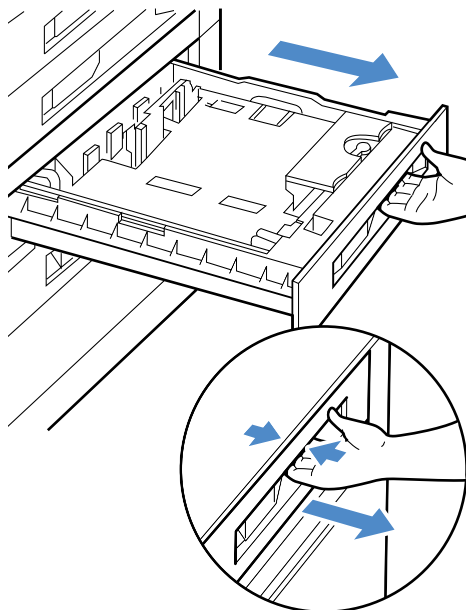


2 × 500 枚ペーパーデッキからプリントする

2 × 500枚ペーパーデッキまたは2 × 500枚ペーパーデッキ -C1Lには、定形サイズの普通紙を約500枚（64g/m²)までセットすることができます。カセット3（上段）とカセット4（下段）には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。

1

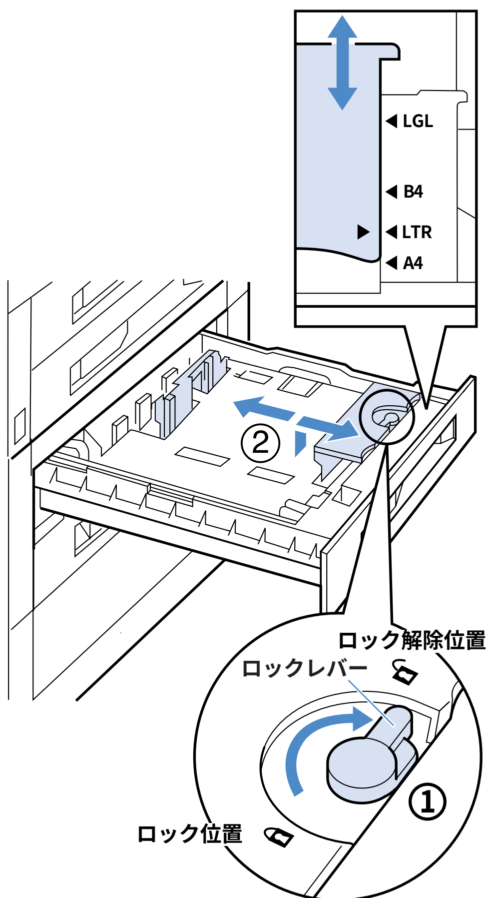
ジョブランプが点滅していないことを確認し、セットする給紙カセットのハンドルを引いて給紙カセットを完全に引き出します。



2

右手前側の用紙ガイドのロックレバーをロック解除側に回して外し①、用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせて移動します②。

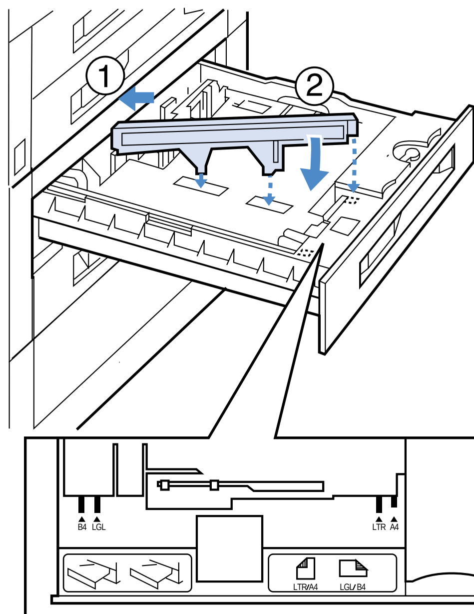
用紙ガイドの位置を合わせたら、ロックレバーをロック側に回してロックします。



3

左端の用紙ガイドを、手前を上に持ち上げて外し、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。

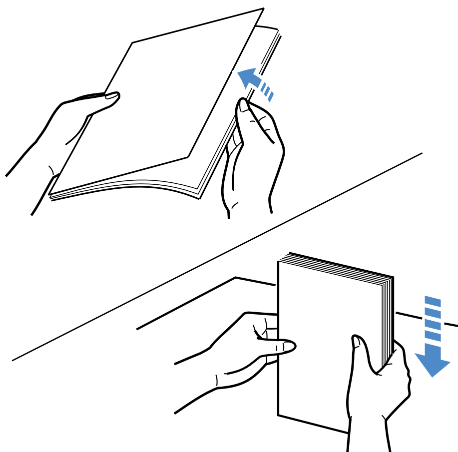
用紙ガイドは、奥を先に差し込んでから①、下側の穴にセットします②。



3

用紙の束をさばいてから、縁を揃えます。

用紙は平らな場所で揃えてください。



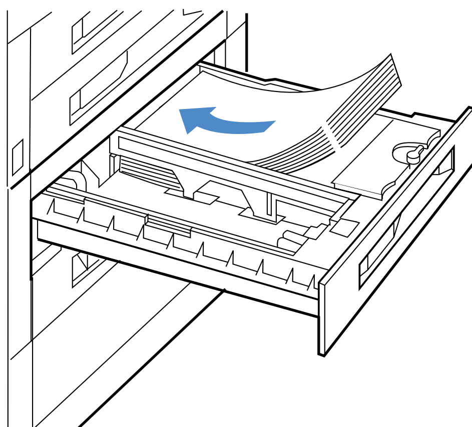


- **用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。**

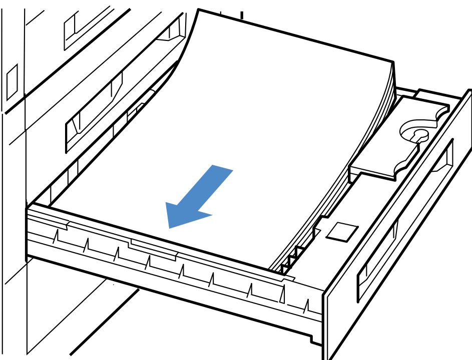
4

用紙を、左側と奥の用紙ガイドに沿わせてセットします。

A4、レターサイズの用紙の場合は矢印の方向（横送り）にセットします。



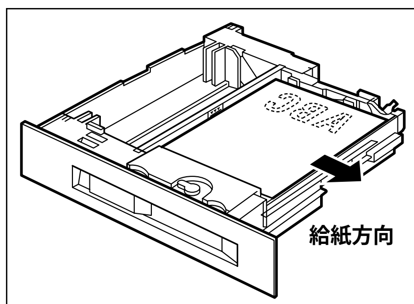
B4、A3、リガール、11x17 サイズの用紙の場合は矢印の方向（縦送り）にセットします。



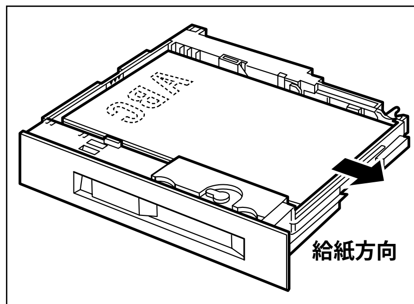


レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

- A4、レターサイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側を奥側に向けてセットします。

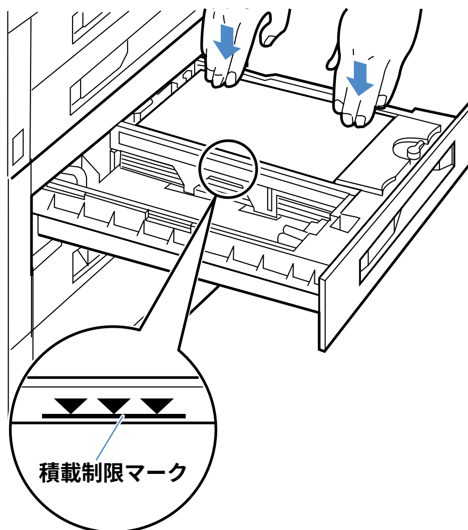


- B4、A3、リーガル、11x17 サイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側が左になるようにセットします。



5

用紙の右側を下へ押さえ、用紙ガイドの積載制限マークを越えていないかどうか確認してください。

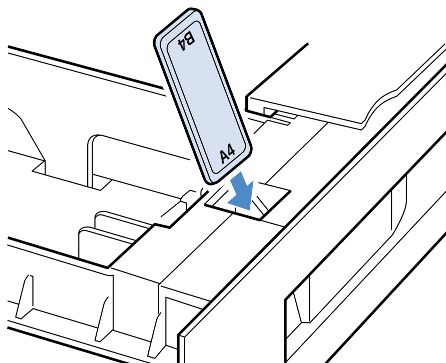




- 用紙は、絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを越えない範囲でセットしてください。積載制限マークを越す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となることがあります。

6

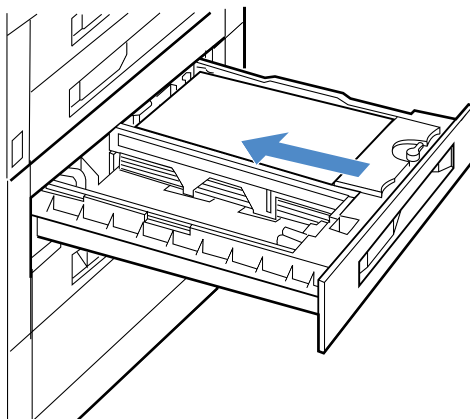
用紙サイズ表示カードにセットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示位置に差し込みます。



7

給紙カセットをしっかりと奥まで押し込みます。

給紙カセットの前面が、2 × 500 枚ペーパーデッキの前面と合うまで、しっかりと奥まで押し込んでください。




お願い

- 2 × 500 枚ペーパーデッキの下段（カセット 4）には、500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）を取り付けることはできません。

両面にプリントする

両面ユニット（オプション）を取り付けると、定形サイズの普通紙に両面プリントすることができます。使用できる用紙は、A5、A4、B4、A3、レター、リーガル、11x17の用紙で、給紙カセットと給紙トレイのどちらからでも給紙できます。



- **不定形サイズ用紙やOHPフィルム、光沢フィルム、ラベル用紙、封筒には、両面プリントできません。**
- **給紙トレイからの手差しによる両面プリントはできません。印字品質低下や紙づまりの原因になります。**
- **両面にプリントするときは、必ずオプションの両面ユニットをお使いください。（P.197）**

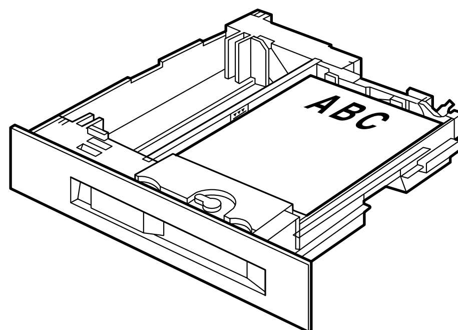
両面にプリントするときの用紙のセットのしかた

両面プリントでは、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙にプリントするときは次のように用紙をセットします。

■給紙カセットから給紙する場合

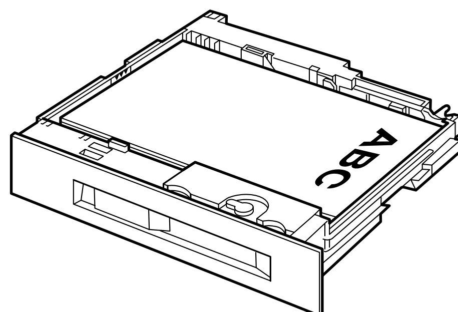
● A4 やレターなど用紙を横送りでセットする場合

用紙の表面を上向きにし、用紙の上端を奥側に向けてセットします。



● B4 や A3 など用紙を縦送りでセットする場合

用紙の表面を上向きにし、用紙の上端を右側に向けてセットします。



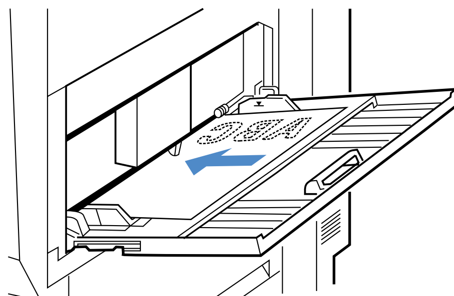
■給紙トレイから給紙する場合



● 下図は、オプションの両面ユニットを使って、給紙トレイから自動両面プリントする場合のセット方法です。本プリンタでは、給紙トレイから手動で両面プリントすることはできません。

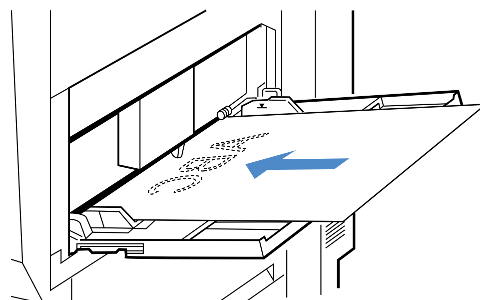
● A4 やレターなど用紙を横送りでセットする場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端を奥側に向けてセットします。



● B4 や A3 など用紙を縦送りでセットする場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端を左側に向けてセットします。





● A5サイズの用紙は、必ず縦送り方向にセットしてください。A5サイズの用紙を横送りでプリントすることはできません。

両面プリントと片面プリントを切り替える

両面プリントをするときは、プリンタドライバの「両面印刷」で設定します。プリンタドライバの操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。

第 3 章

日常のメンテナンス

トナーカートリッジを交換する

「トナー コウカン ヨコク / コウカン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにチェックを促すメッセージが表示されます。プリントは継続できますが、終わったあとトナーカートリッジの交換が必要です。そのまま使い続けると、交換を促すメッセージが表示されてプリントが停止しますので、新しいトナーカートリッジと交換してください。

・トナーカートリッジの寿命が近いことを警告するメッセージ

C トナー コウカン ヨコク：シアンのトナーが少ないことを表わしています。
M トナー コウカン ヨコク：マゼンタのトナーが少ないことを表わしています。
Y トナー コウカン ヨコク：イエローのトナーが少ないことを表わしています。
K トナー コウカン ヨコク：ブラックのトナーが少ないことを表わしています。

・トナーカートリッジの交換を促すメッセージ

C トナー コウカン：シアンのトナーがなくなったことを表わしています。
M トナー コウカン：マゼンタのトナーがなくなったことを表わしています。
Y トナー コウカン：イエローのトナーがなくなったことを表わしています。
K トナー コウカン：ブラックのトナーがなくなったことを表わしています。

これらのメッセージが表示されたときは、次の操作をしてから、表示された色のトナーカートリッジを交換してください。

■「トナーコウカンヨコク」のメッセージが表示されたとき

「トナーコウカンヨコク」のメッセージは、トナーが少なくなり、トナーカートリッジの交換時期が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージの場合、すぐにはプリンタは停止せずにプリントを続行できますが、トナー残量が少なくなってきていますので、新品のトナーカートリッジをご用意ください。

■「トナーコウカン」が表示されたとき

「トナーコウカン」は、トナーがなくなり、トナーカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタは停止します。このメッセージが表示されたら、表示されたトナーカートリッジを交換してください。


メモ

●「トナーコウカンヨコク」が表示された場合に、プリントを継続するか停止するかは、プリンタ設定の「トナー警告処理」の設定で指定できます。本プリンタ工場出荷時には、「ケイゾク」に設定されています。メニュー機能の設定については、プリンタ機能マニュアルをご覧ください。

トナーカートリッジの寿命について

本プリンタ用のトナーカートリッジの寿命は、次のようになっています。プリント可能ページ数は一般的なプリント（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。各色のトナー消費量はプリントする画像によって異なりますので、色によっては寿命が短くなります。

・カラートナーカートリッジ EP-82：A4 原稿で約 8,500 ページ
・ブラックトナーカートリッジ EP-82：A4 原稿で約 17,000 ページ


お願い

● **印字がかすれたり、印字むらが出るときは、「トナーコウカンヨコク」や「トナーコウカン」メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。**


メモ

● **A4/レター（横送り）連続2枚ずつ以外のプリントや両面プリントの場合は、プリント可能ページ数は上記より少なくなります。**

トナーカートリッジの交換

「トナーコウカン」のメッセージが表示されたら、次の手順で新しいトナーカートリッジと交換してください。

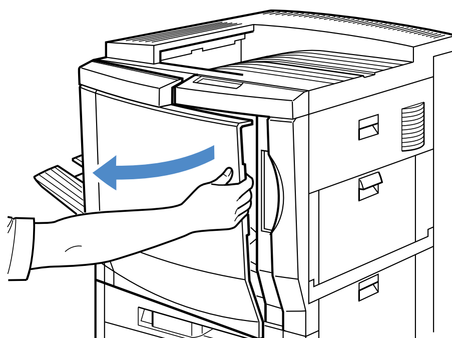
K（ブラック）トナーカートリッジの交換

ディスプレイに「K トナーコウカン」のメッセージが表示されたり、プリントの黒色がかすれてきたときは、次のような手順でK（ブラック）トナーカートリッジを交換してください。

1

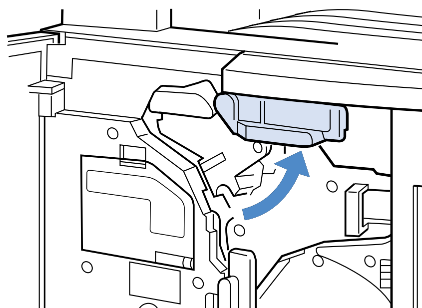
前カバーを開きます。

前カバーは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。



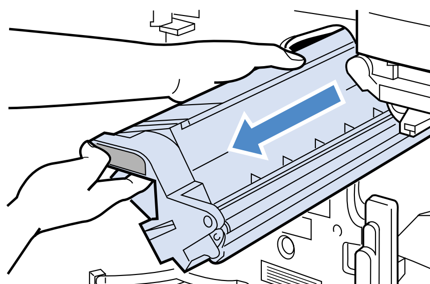
2

青色のリリースレバーを図の矢印の方向へ押し上げます。



3

使用済みのK（ブラック）トナーカートリッジを抜き取ります。



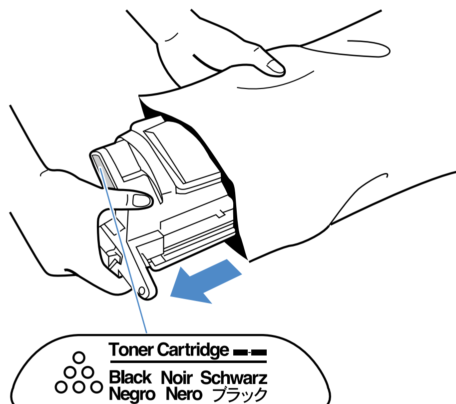


警告

- **使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。**

4

新しいK（ブラック）トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

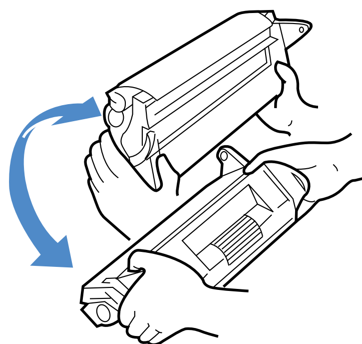



お願い

● トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

5

K（ブラック）トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。



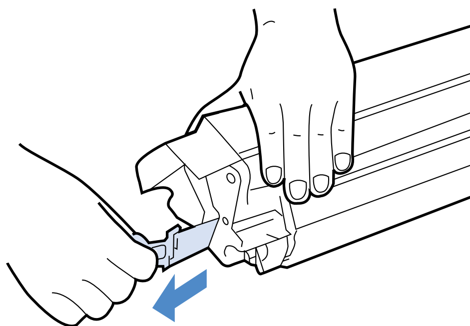

お願い

●トナーが均一でないと、印字品質が劣化します。この操作は必ず行ってください。

6

K（ブラック）トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらタブに指を掛けて、シーリングテープをまっすぐ引き抜きます。

シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。



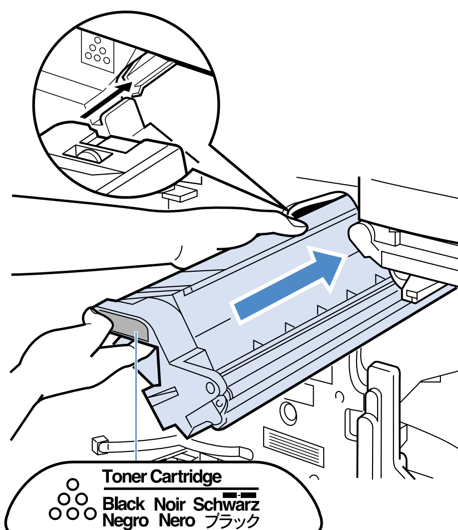


お願い

- **曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。**
- **手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。**

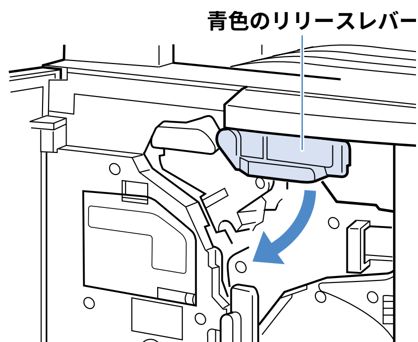
7

K（ブラック）トナーカートリッジを図のように水平に持ち、スロット内側のガイドに合わせて、しっかりと奥まで差し込みます。



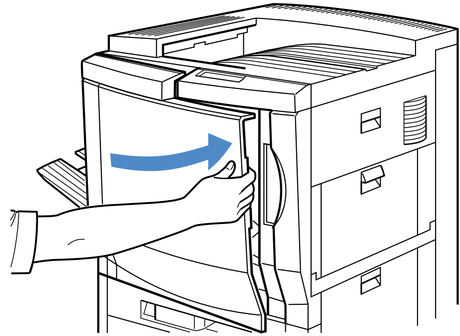
8

青色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



9

前カバーを閉じます。





- リリースレバーが正しくロックされていないと前カバーが閉じないのでご注意ください。

カラートナーカートリッジの交換

ディスプレイに「C トナー チェック」や「Y トナー コウカン」などのメッセージが表示されたり、プリントのC（シアン）やM（マゼンタ）、Y（イエロー）がかすれてきたときは、次のような手順でトナーがなくなった色のカラートナーカートリッジを交換してください。


お願い

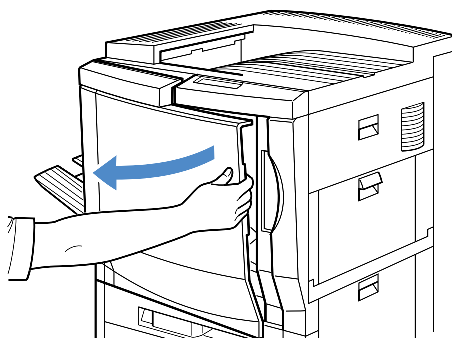
- **カラートナーカートリッジ交換は、必ず電源がオンの状態で行ってください。オフのままではタレットボタンが動作しません。**
- **カラートナーカートリッジ交換時は、K（ブラック）トナーカートリッジとドラムカートリッジが挿入されていることを確認してください。挿入されていないと、タレットボタンを押してもカラートナーカートリッジは回転しません。**

C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のトナーカートリッジは、それぞれに同じ手順で交換してください。

1

前カバーを開きます。

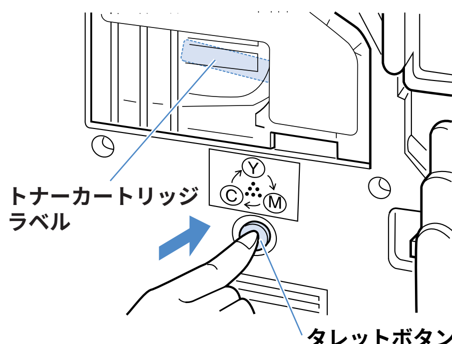
前カバーは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。



2

タレットボタンを押し、セットする色のカラーマーカーを選択します。

例えば、シアンのカラートナーカートリッジをセットする場合は、カラーマーカーの色がシアンになるまでタレットボタンを押します。

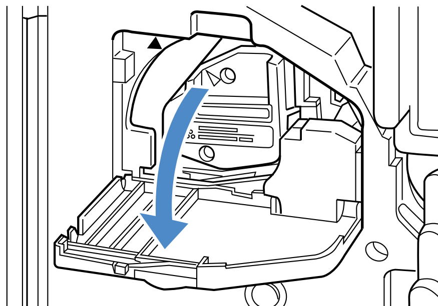



お願い

- **カラートナー交換カバーをセットするときは、必ず一度タレットボタンを押してください。一度もタレットボタンを押さずにロックレバーを解除すると、ロックが正しく開かずに破損の原因となります。**
- **カラートナー交換カバーが開いているときは、必ず閉じてからタレットボタンを押してください。**
- **ドラムカートリッジおよびK（ブラック）トナーカートリッジがセットされていないとタレットは回転しません。必ず、先にドラムカートリッジおよびK（ブラック）トナーカートリッジをセットしてください。**

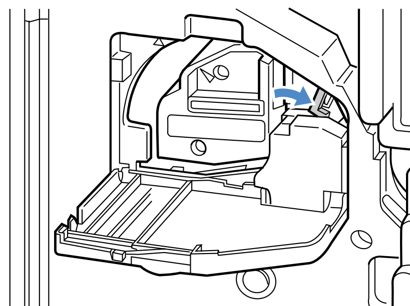
4

カラートナー交換カバーを開きます。



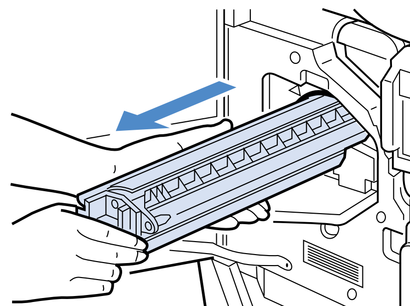
5

タレット右側の青色のロックレバーを右側へ開きます。



6

使用済みのカラートナーカートリッジを抜き取ります。



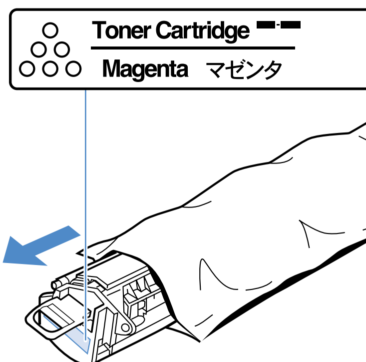


警告

● 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

7

新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

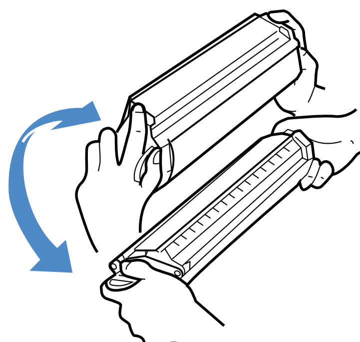



お願い

- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

8

トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと 5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。



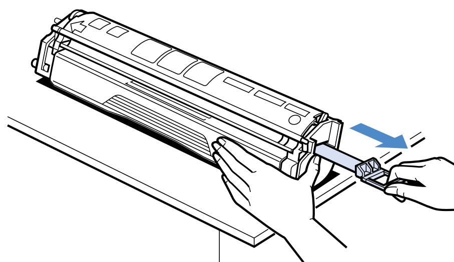

お願い

- トナーが均一でないと、印字品質が劣化します。この操作は必ず行ってください。

9

トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらタブに指を掛けて、シーリングテープをまっすぐ引き抜きます。

シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。

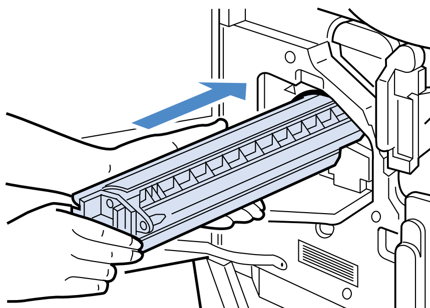



お願い

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- 手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。

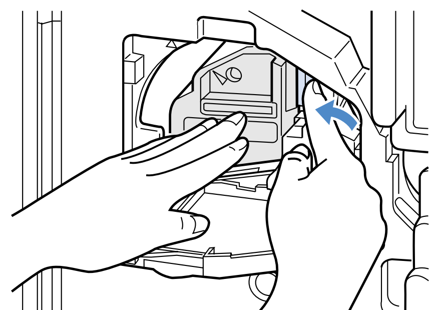
10

カラートナーカートリッジを図のように水平に持ち、しっかりと奥まで差し込みます。



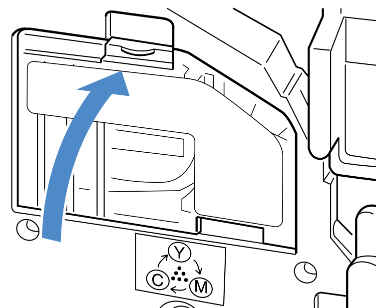
11

トナーカートリッジを奥へ押しながら、パチンと音がするまでロックレバーを左に押して固定します。



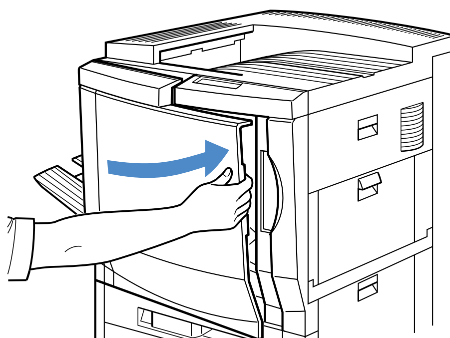
12

カラートナー交換カバーを閉じます。



13

前カバーを閉じます。





● リリースレバーが正しくロックされていないと前カバーが閉じないのでご注意ください。

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質劣化の原因となることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。



警告

- 使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。



注意

- 万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。



- トナーカートリッジを交換するときは、必ず同じ色のトナーカートリッジに交換してください。正しいカラープリントができなくなります。
- 内部のスリーブを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が劣化します。絶対に手で触れたり、保護シャッターを開けたりしないでください。
- 立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- K（ブラック）トナーカートリッジは、磁気製品です。データを破損する恐れがありますので、ディスプレイやパソコン本体、フロッピィディスク、ディスクドライブなど、磁気を嫌う製品に近付けないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに1時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期限内に使用してください。
- 交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをお勧めします。



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。
このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。



- **新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、パッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。**
- **K（ブラック）トナーカートリッジは、磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブ、ディスプレイ、パソコン本体など、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

結露とは
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は、トナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

「ドラム コウカン ヨコク/コウカン」が表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイに「ドラム コウカン ヨコク」や「ドラム コウカン」、「ドラムユニット コウカン」のメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、プリント面に黒い縦すじが現れ始め、印字品質が低下してきます。これらのメッセージが表示されたときは、次の指示にしたがってドラムカートリッジを交換してください。
ドラムカートリッジの取り出しやセットの手順については、「ドラムカートリッジの交換」(P.118)をご覧ください。


お願い

- **ドラムカートリッジの交換時は、エアフィルタも交換してください。(P.131)また、分離除電器やポスト帯電器、濃度検知センサ、前露光LED、レジストローラ付近の清掃も忘れずに行ってください。(P.125)**
- **一度使用したドラムカートリッジは、絶対に他のプリンタ(本プリンタと同じ機種)にセットしないでください。警告表示不良の原因となります。**

■「ドラム コウカン ヨコク」のメッセージが表示されたとき

「ドラム コウカン ヨコク」のメッセージは、ドラムカートリッジの寿命が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージの場合、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを続行できますが、そのまま使い続けると印字品質が低下します。このメッセージが表示されたら、新品のドラムカートリッジをご用意ください。また、印字品質が低下しているときや高品質でプリントしたいときは、すぐにドラムカートリッジを交換することをおすすめします。ドラムカートリッジの取り出しやセットの手順については、「ドラムカートリッジの交換」(P.108)をご覧ください。

■「ドラム コウカン」が表示されたとき

「ドラム コウカン」は、ドラムカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されてもプリントは継続されますが、終了後ただちにドラムカートリッジを交換してください。

■「ドラムユニット コウカン」が表示されたとき

「ドラムユニット コウカン」は、ドラムカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。
このメッセージが表示されたら、ただちにドラムカートリッジを交換してください。

ドラムカートリッジの寿命について
本プリンタ用のドラムカートリッジの寿命は、次のようになっています。

A4/ レター横送りの片面印刷を連続 2 枚ずつプリントした場合のプリント可能ページ数

- **フルカラープリントの場合　約 12,500 ページ（50,000 イメージ）**
- **モノクロプリントの場合　約 24,000 ページ**



- **A4/レター（横送り）連続2枚ずつ以外のプリントや両面プリントの場合は、プリント可能ページ数は上記より少なくなります。**

ドラムカートリッジの交換

「ドラム コウカン」または「ドラム ユニット コウカン」のメッセージが表示されたら、次のような手順で新しいドラムカートリッジに交換してください。

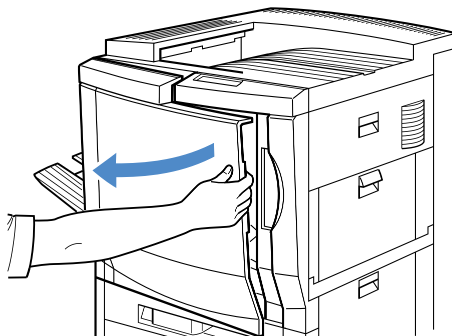


- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**
- **ドラムカードリッジの交換と同時に、エアフィルタの交換も行ってください。（P.131）**
- **プリント品質を維持するために、ドラムカートリッジの交換と同時に、分離除電器やポスト帯電器、濃度検知センサ、前露光LED、レジストローラ付近の清掃を行ってください。（P.125）**

1

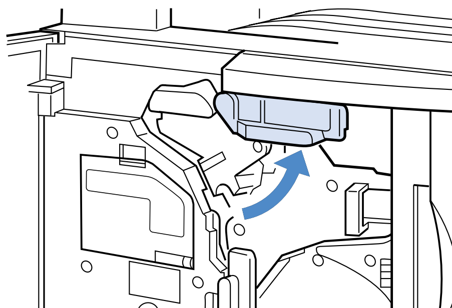
前カバーを開きます。

前カバーは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。



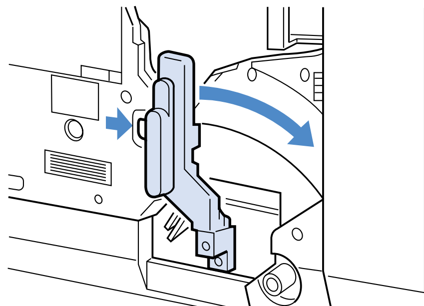
2

青色のリリースレバーを図の矢印の方向へ押し上げます。



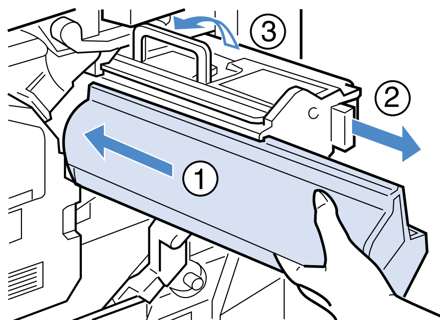
3

緑色のリリースレバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。



4

保護カバーをドラムカートリッジの位置にあてがい①、使用済みのドラムカートリッジをハンドルが立つ所まで引き出します②。ハンドルを垂直に立てて③、ハンドルを持ってドラムカートリッジを最後まで抜き取ります。

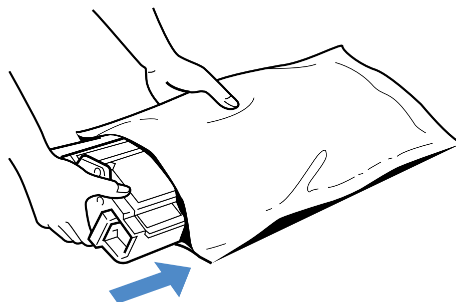



お願い

● 使用済みのドラムカートリッジの感光面はトナーで汚れていますので、取り外す場合はトナーが床にこぼれたり、手や衣服を汚さないように必ず、保管しておいた保護カバーをあてがって取り外してください。

5

抜き取ったドラムカートリッジを保護袋に入れて処分します。



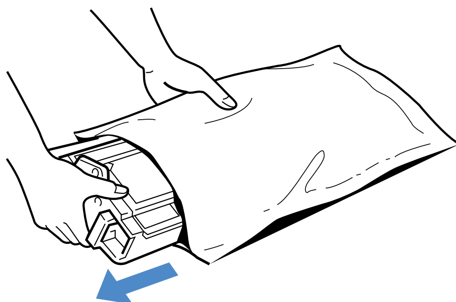


警告

● 使用済みのドラムカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

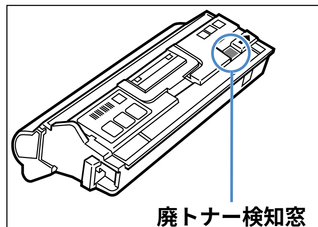
6

新しいドラムカートリッジを保護袋から取り出します。




お願い

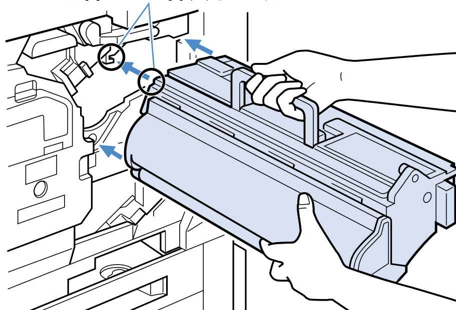
- **ドラムカートリッジの廃トナー検知窓は絶対に手で触らないでください。万一触ってしまった場合は、乾いたやわらかい布で汚れを軽く拭き取ってください。**



- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**

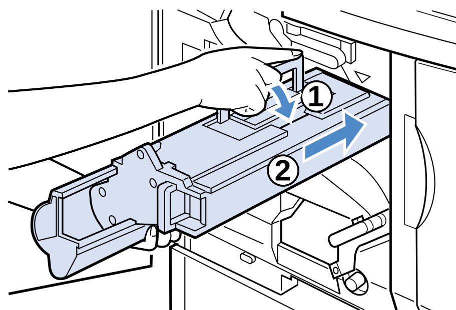
7

ドラムカートリッジのハンドルを起こして図のように持ち、ドラム挿入部に合わせます。



8

保護カバーを片手で支えながら、ハンドルを元の位置へ戻し①、ドラムカートリッジ本体を水平にゆっくりと押し込みます②。



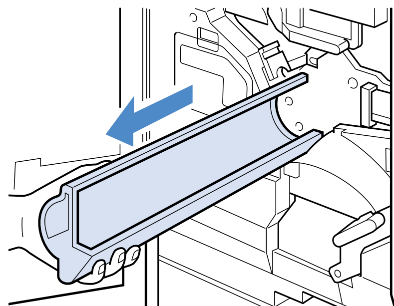
カチッと音がしてロックされるまで、しっかりと押し込んでください。


お願い

- **ドラムカートリッジの感光面には、絶対に触れないように注意してください。触れると印字品質が劣化する原因となります。**

9

ドラムカートリッジを完全に押し込んだら、保護カバーを取り外します。

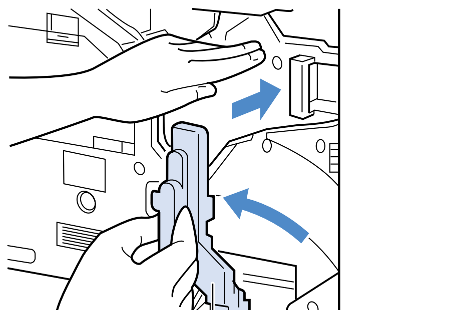



お願い

- 保護カバーは、ドラムカートリッジの交換時に必要になります。捨てずに保護袋といっしょにパッケージに入れて保管しておいてください。

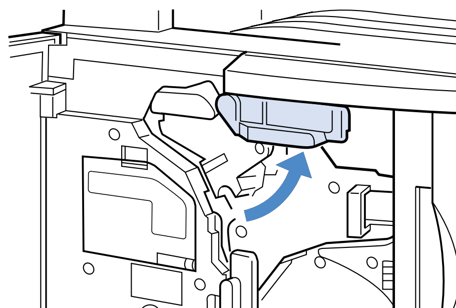
10

緑色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



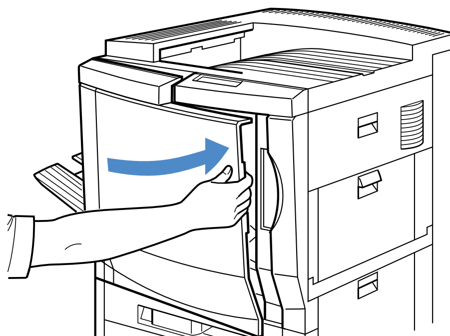
11

青色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



12

前カバーを閉じます。




お願い

- リリースレバーが正しくロックされていないと前カバーが閉じないのでご注意ください。

ドラムカートリッジの取り扱いのご注意

ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質劣化の原因となることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。



警告

● 使用済みのドラムカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。



注意

● 万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。



お願い

● 新品のドラムカートリッジは、プリンタに取り付ける準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。またメンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出した場合は、遮光のために保護カバーを取り付けてから保護袋に入れ、取り扱いには十分注意してください。
● 絶対に直射日光や強い光（1500 ルクス以上）に当てないでください。
● 内部の感光面を手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が劣化します。絶対に手で触れたりしないでください。
● 絶対に分解や改造などをしないでください。
● ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
● 交換用のドラムカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをお勧めします。



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。
このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理や移動時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。


お願い

- **新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出したときは、遮光のために保護カバーを取り付けてからパッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

結露とは
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は、トナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

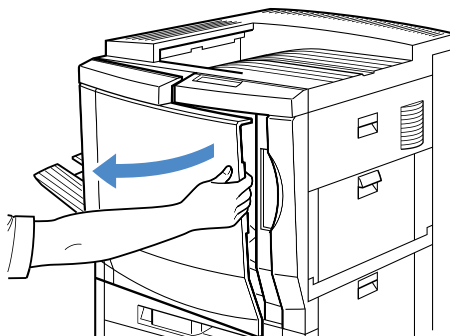
ドラムカートリッジ周辺の清掃

ドラムカートリッジの交換時は、分離除電器や濃度検知センサ、レジストローラ、ポスト帯電器、前露光LED付近の紙粉や汚れを清掃してください。
これらの部品が汚れると、プリントの品質低下や紙づまりの原因になります。このようなトラブルを防止するために、ドラムカートリッジの交換時に必ずこれらの部品の清掃も合わせて行ってください。

1

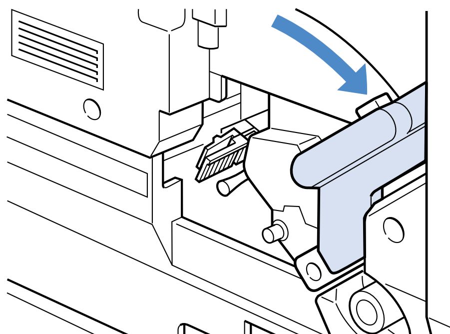
前カバーを開きます。

前カバーは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。



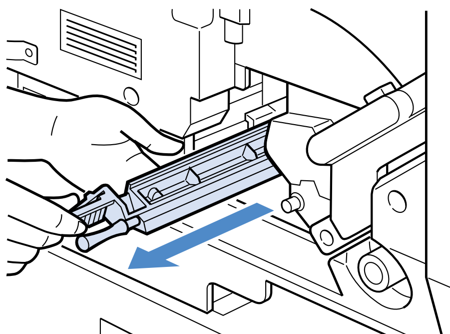
2

緑色のリリースレバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。



3

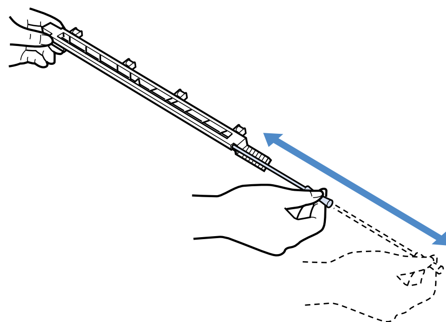
分離除電器の青色のハンドルをつまみながら、分離除電器を引き出します。



4

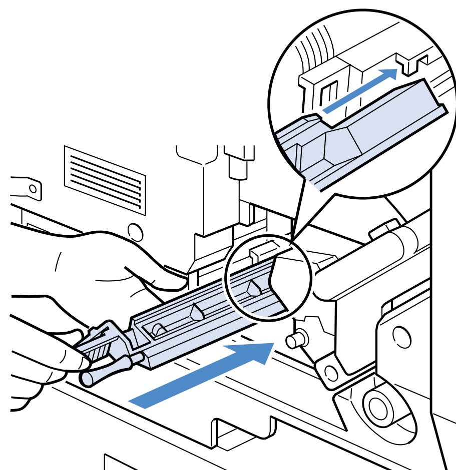
透明の清掃用レバーを数回往復させて清掃します。

清掃用レバーは、一番奥から手前まで数回動かします。最後は、一番奥までロックするまで押し込みます。



5

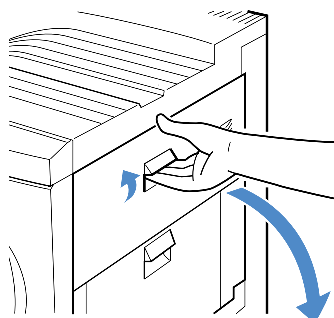
分離除電器を上下の溝に合わせて、カチッと音がするまで押し込みます。



6

右カバーを開きます。

右カバーは、開閉レバーを押し上げながら引くと開きます。

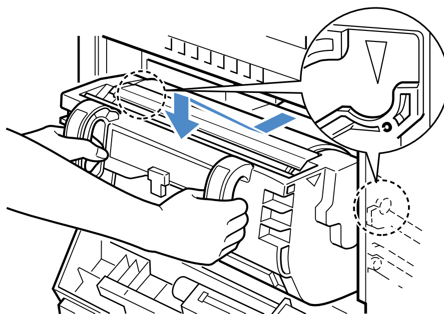




- **給紙トレイが開いているときは、給紙トレイを閉じてから右上カバーを開いてください。**

7

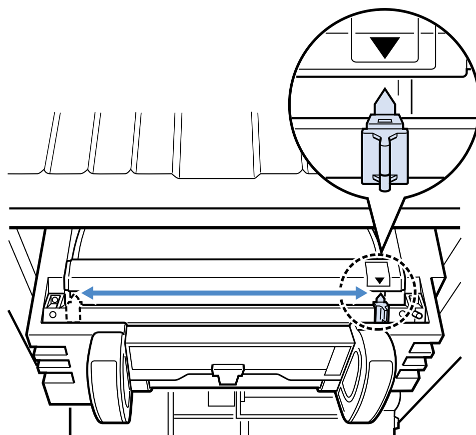
両手で中間転写体ユニットのハンドルを持ち､図の位置まで慎重に中間転写体ユニットを引き出します。



8

ポスト帯電器の清掃用ハンドルを数回往復させて、ポスト帯電器を清掃します。

ポスト帯電器の清掃用ハンドルは､左右端まで数回往復させて清掃します。終わったら､ポスト帯電器右端の矢印の位置に戻します。

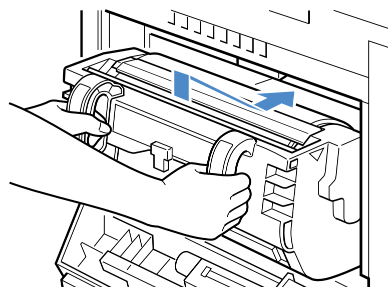




- **ポスト帯電器の清掃用ハンドルは、必ず矢印の位置へ戻してください。プリントのムラや画質低下の原因になります。**

9

中間転写体ユニットを元の位置に戻します。



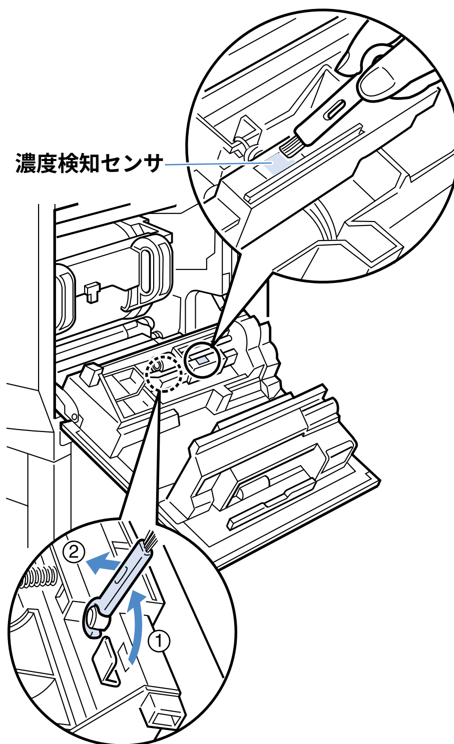


- **中間転写体ユニットを戻すときは、ゆっくりと丁寧に挿入してください。無理な力がかかると、中間転写体ユニットやプリンタ破損の原因となります。**
- **中間転写体ユニット内のドラムは、ドラムの表面を手で触ったり、ぶつけたりしないように、慎重に取り扱ってください。ドラム表面をキズ付けると、プリントのムラや画質低下の原因になります。**

10

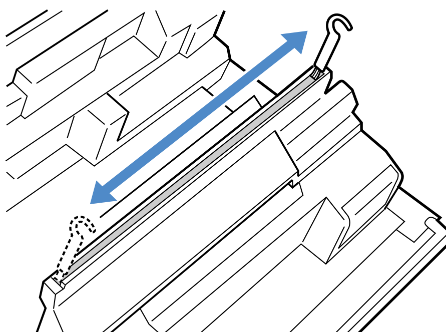
右上カバー内部に取り付けられている濃度検知センサ清掃用ブラシで、濃度検知センサを清掃します。

濃度検知センサ清掃用ブラシは、濃度検知センサの横に取り付けられています。図のように取り外してご使用ください。



11

濃度検知センサ清掃用ブラシで前露光LEDを清掃します。



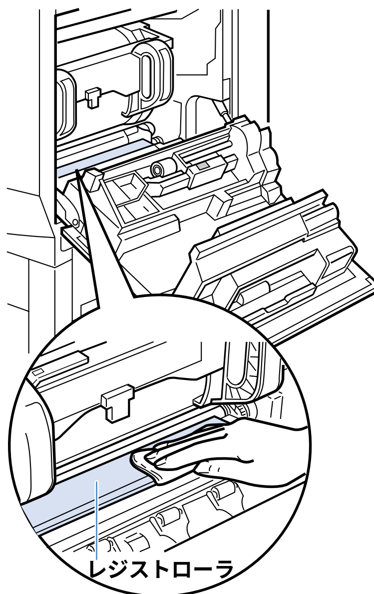
12

濃度検知センサ清掃用ブラシを元の位置へ戻します。

13

かたく絞った柔らかい布でレジストローラ周辺の紙粉を拭き取ります。

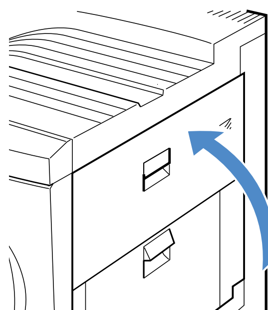
紙粉を拭き取ったら、乾いた柔らかい布で水気を十分に拭き取ってください。



14

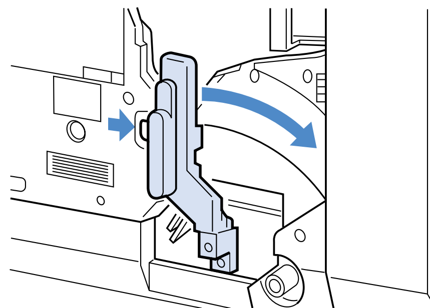
右カバーを閉じます。

右カバーは、カチッと音がしてロックするまで完全に閉じてください。



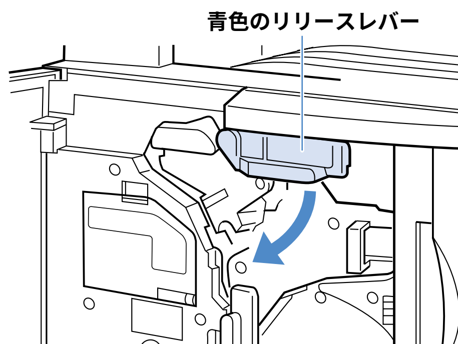
15

緑色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



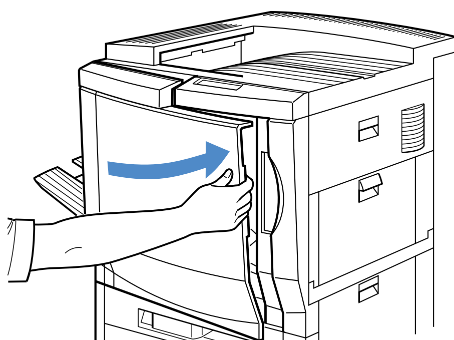
16

青色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



17

前カバーを閉じます。



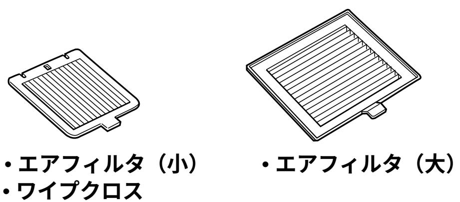


- リリースレバーが正しくロックされていないと前カバーが閉じないのでご注意ください。

エアフィルタを交換する

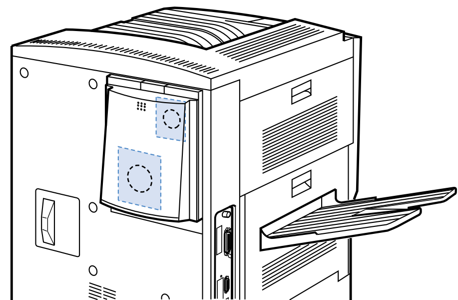
本プリンタの背面の排気口内側には、エアフィルタが付いています。エアフィルタは、プリンタ内部の残留トナーなどが外に吹き出されるのを防ぎます。エアフィルタにトナー粉などが付着して目詰まりすると、内部を十分に冷却できなくなり、故障やトラブルの原因となります。エアフィルタは消耗品ですので、ドラムカートリッジの交換と同時にエアフィルタも必ず交換してください。

●ドラムカートリッジ EP-82 同梱品



・エアフィルタ（小）
・ワイプクロス
・エアフィルタ（大）

●エアフィルタ取り付け位置

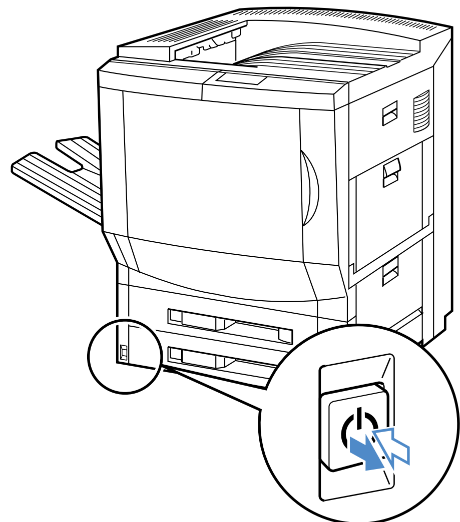


エアフィルタの交換手順

1

電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ちます。

電源をオフにするときは、本プリンタのディスプレイやランプを見て、プリント中でないことを確認してください。




お願い

● **カバーは、必ずファンが停止していることを確認してから開いてください。ファンが停止する前にカバーを開くと、エアフィルタに付着しているトナーが飛び散って、床や周囲、衣服を汚す恐れがあります。**

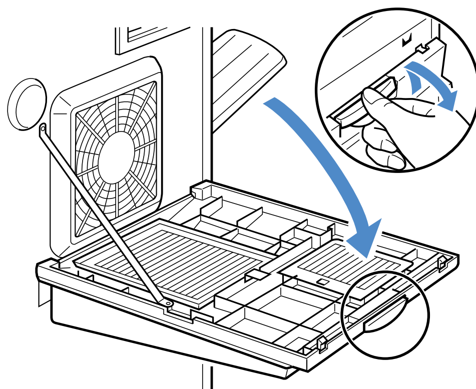

メモ

● **電源オフ後、電源コードを抜いてファンを停止させることもできます。**

2

本体背面のエアフィルタ取り付け部のカバーを開きます。

カバーは、上部のロックボタンを指先で押さえて引くと開きます。




お願い

- **開いたカバーを、上から押したり、外そうとしたりしないでください。破損の原因となります。**

3

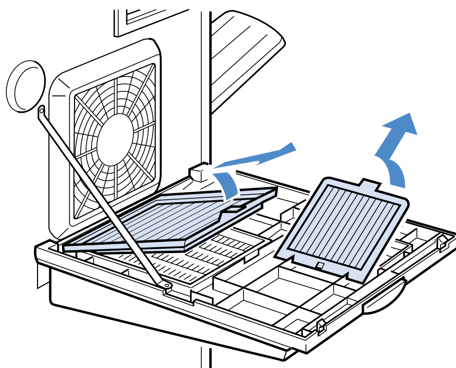
新しい大小 2 つのエアフィルタをビニール袋から取り出します。

ビニール袋は、古いエアフィルタを入れるために使うので、丁寧に取り出してください。

4

大小 2 つのエアフィルタを外します。

取り外したエアフィルタは、すぐに新しいエアフィルタが入っていたビニール袋に入れて、廃却してください。

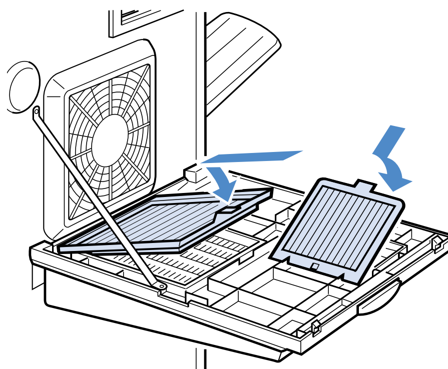



お願い

- **エアフィルタに付着したトナーが落下して、じゅうたんや床、衣服などを汚さないように注意してください。**

5

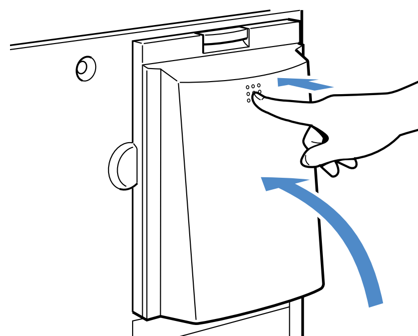
新しいエアフィルタを取り付けます。



6

カバーを閉じます。

カバーは、中央のマーク部分を押して左右のロックがカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。



7

電源をオンにし、ファンを再び回転させます。

プリンタを清掃する

本プリンタを長期間使用している間に、本体にホコリや汚れが付着したときは、次の要領で清掃してください。

警告

- 清掃する前に、必ず電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。



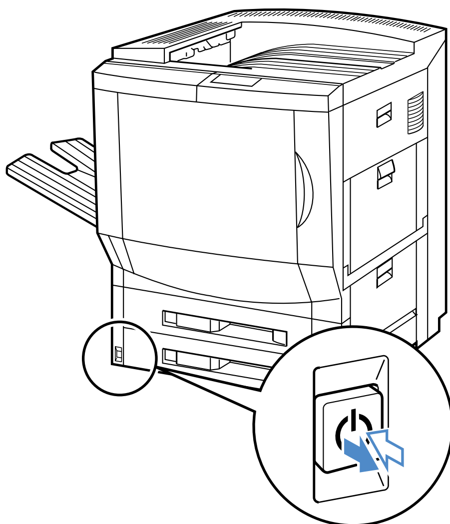
- 本体のプラスチックが変質したりすることがありますので、絶対に水または中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

清掃の手順

1

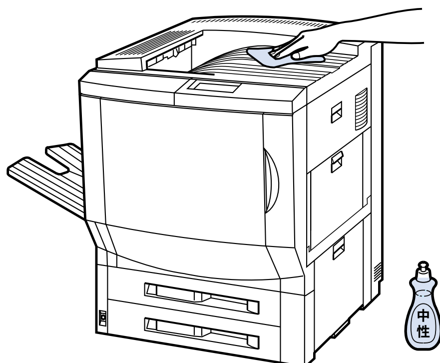
電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ちます。

電源をオフにするときは、ディスプレイやランプを見て、プリント中でないことを確認してください。



2

水または中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞ってから拭きます。



付着した汚れは、少量の水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
中性洗剤を使用したときは、必ず後から水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。

3

汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

4

完全に乾いたら、電源プラグを入れます。

プリンタを移動する

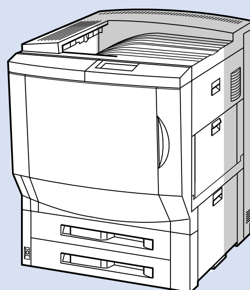
本プリンタは、本体のみで約84.2kgあります。メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の注意を守り、次ページの手順に従って移動してください。

警告

- **本プリンタは、本体のみで約84.2kgあります。必ず4人で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。**
- **絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してケガをするおそれがあります。**



- **本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。**





お願い

- **階段を使うような移動が必要な場合は、本体のみの場合でも、必ず専門の運送業者に依頼してください。**
- **7ビンソータと7ビンソータ用ペディスタルを装着している場合は、必ず専門のサービスマンに依頼してください。**

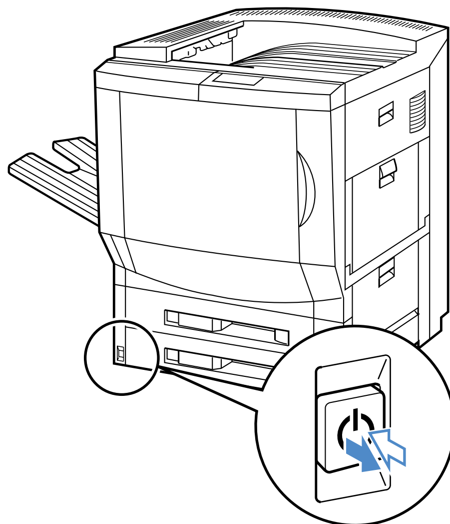
本体を移動する

本プリンタの本体のみを移動するときは、次の手順で持ち上げて運んでください。

1

電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約 30 分待ちます。

電源をオフにするときは、ディスプレイやランプを見て、プリント中でないことを確認してください。



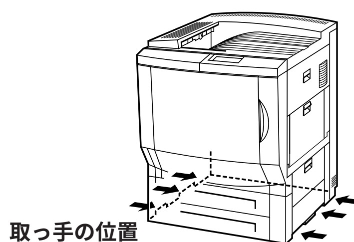
2

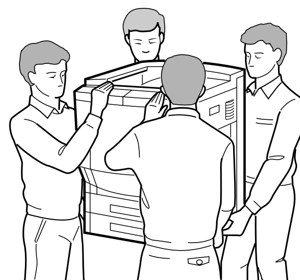
接続してあるケーブルをすべて外します。

電源ケーブル、インタフェースケーブルなど、取り付けてあるケーブルをすべて外してください。

3

プリンタ下側にある 6 箇所の取っ手に4人で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。





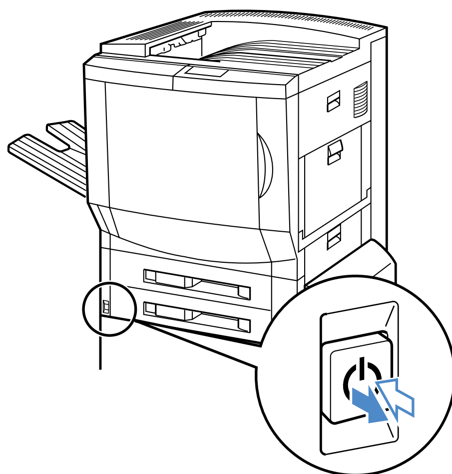
ペーパーデッキやペディスタルごと移動する

本プリンタに2000枚ペーパーデッキや2×500枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ-C1L、ペディスタルを装着しているときは、次の手順で移動します。

1

電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ちます。

電源をオフにするときは、ディスプレイやランプを見て、プリント中でないことを確認してください。



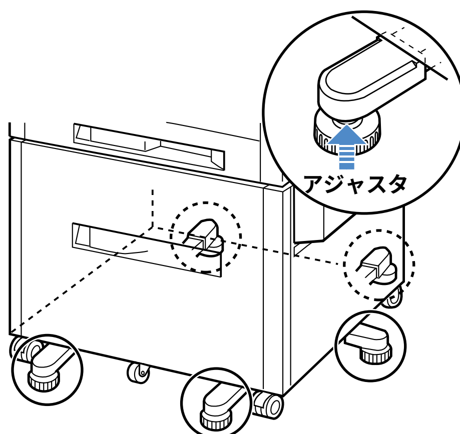
2

接続してあるケーブルをすべて外します。

電源ケーブル、インターフェースケーブルなど、取り付けてあるケーブルをすべて外してください。

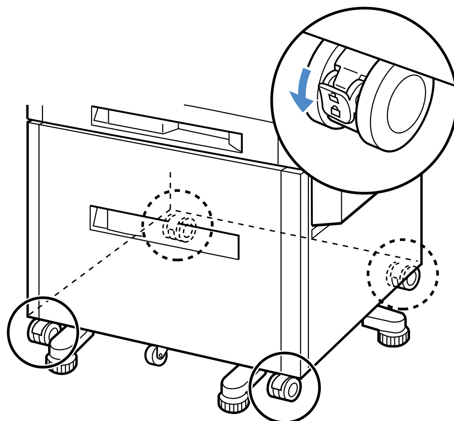
3

5個の転倒防止脚のアジャスタを右に回して上に突き当たるまで縮めます。



4

4 個のキャスタのロックを解除します。

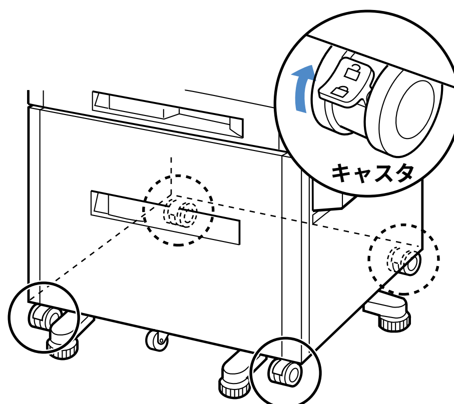


5

必ず 4 人で前後を支え、転倒しないように慎重に押して運びます。

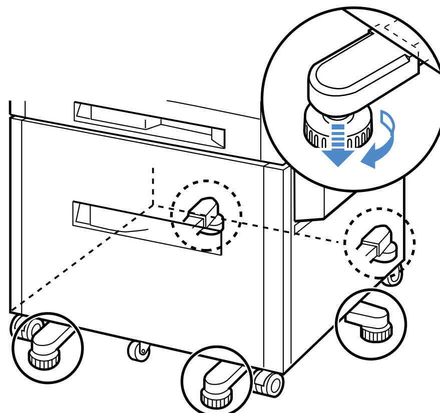
6

設置場所が決まったら、4 個のキャスタをロックします。



7

5 個の転倒防止脚のアジャスタを、床に軽く付くまで左に回して固定します。



プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下のお願いをよくお読みいただき、十分に注意して取り扱ってください。

レーザ光について

レーザ光は人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタではレーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。
安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

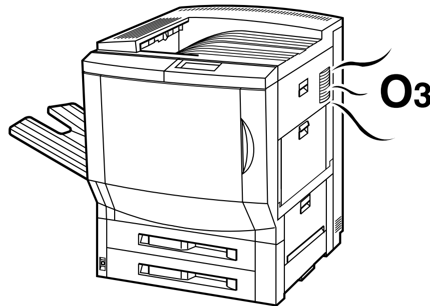


注意

- 本書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。
- レーザスキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
- 万一レーザ光が漏れて目に入った場合、目に傷害が起こる原因となることがあります。レーザ光は目に見えませんので、注意が必要です。

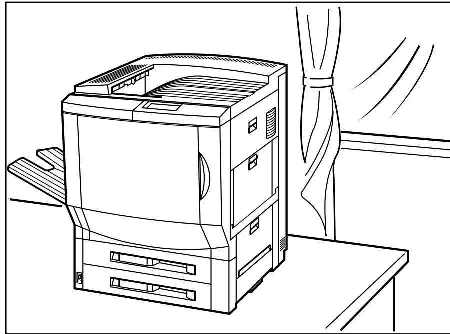
オゾンの排出について

プリンタの静電記録の処理過程ではオゾン（O_3）が生成されます。本プリンタは排気口にオゾンフィルタが取り付けられており、Underwriter's Laboratories, Inc(UL)が発行したオゾン排出に関する適用基準の要求事項を満たしています。
オゾンは無色の気体ですが若干オゾン臭があり、特にオゾン臭に敏感な方は大量のオゾンを吸い込むと気分が悪くなることがまれにあります。
本プリンタの使用にあたっては、次の注意事項を守ってください。





- **できるだけ風通しの良い広い部屋に本プリンタを設置し、時々（できれば1時間毎）換気を行ってください。**



- **人のいる方向に排気口を向けないように設置してください。**
- **オゾンフィルタは、印刷枚数約75,000ページ（A4/カラー）または300,000ページ（A4/モノクロ）を目安に交換が必要です。交換は、専門のサービスマンが行います。お客様による交換はできませんのでお買い求めの販売店などへ依頼してください。**

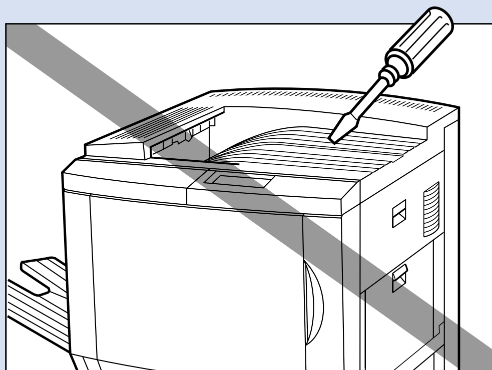
プリンタ取り扱いのご注意

つねに最良の状態でプリントできるように、次の注意を守ってください。



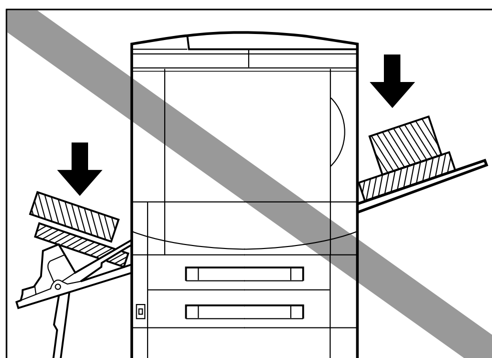
警告

- **分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因になります。**

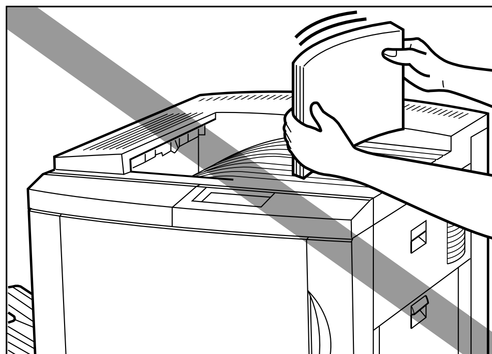



お願い

- **本体やトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。**



- **プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。**




お願い

- 次のような場合は、本プリンタの電源コードを抜いて、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。
  - 電源プラグやコードが傷ついている場合
  - 本体内部に液体が入った場合
  - 本体が雨や水にさらされた場合
  - 操作手順にしたがって操作しても、正常に作動しなかった場合
  - 本体を落としたり、本体が損傷を受けてしまった場合
  - 本体の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合
  - 発煙したり、変な臭いや音が生じた場合
- プリント中は、絶対に本体の各カバーやオプションのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 給紙トレイや本体の各カバー、オプションのカバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないようなときは、以下の環境で保管してください。

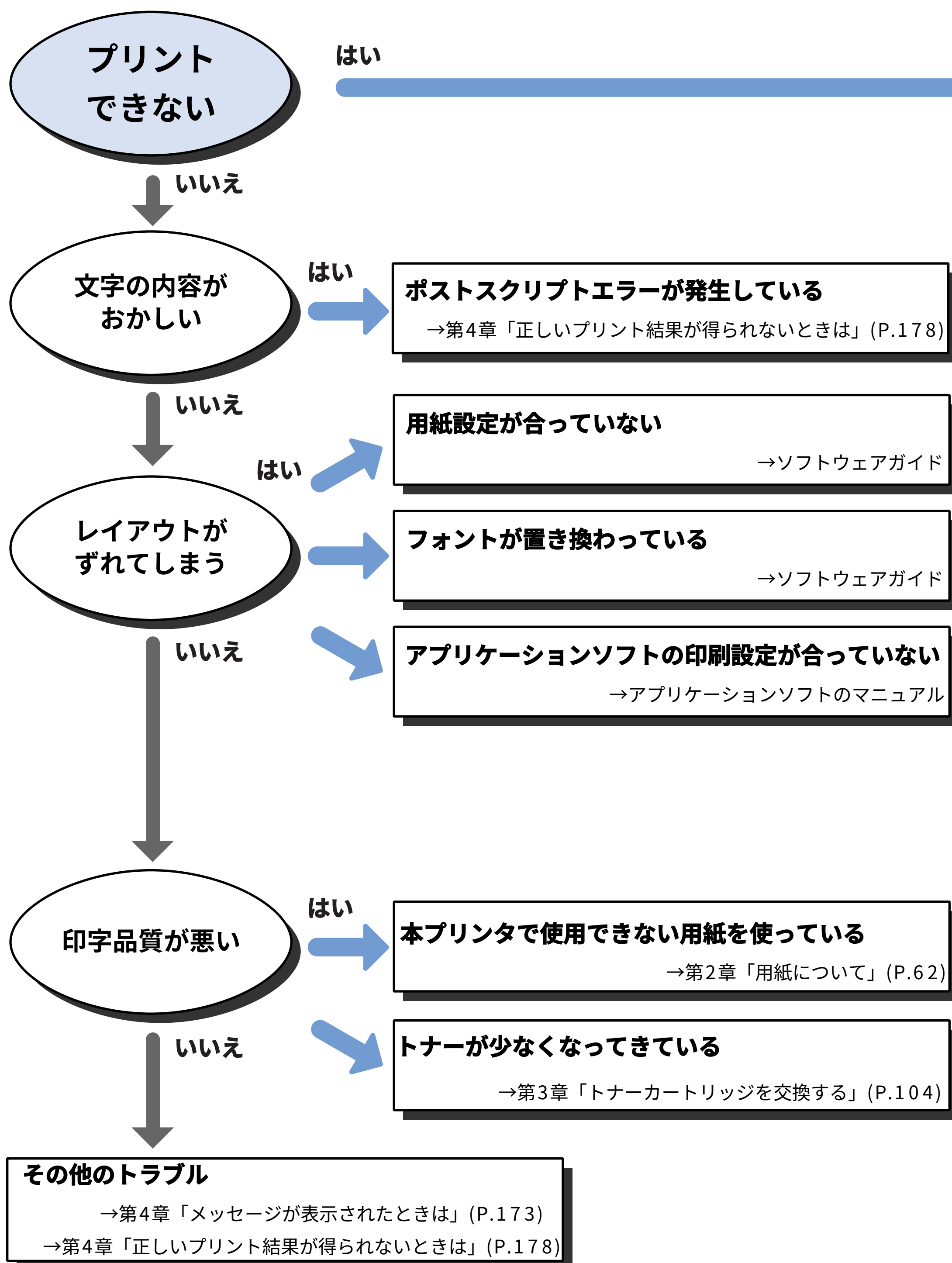

お願い

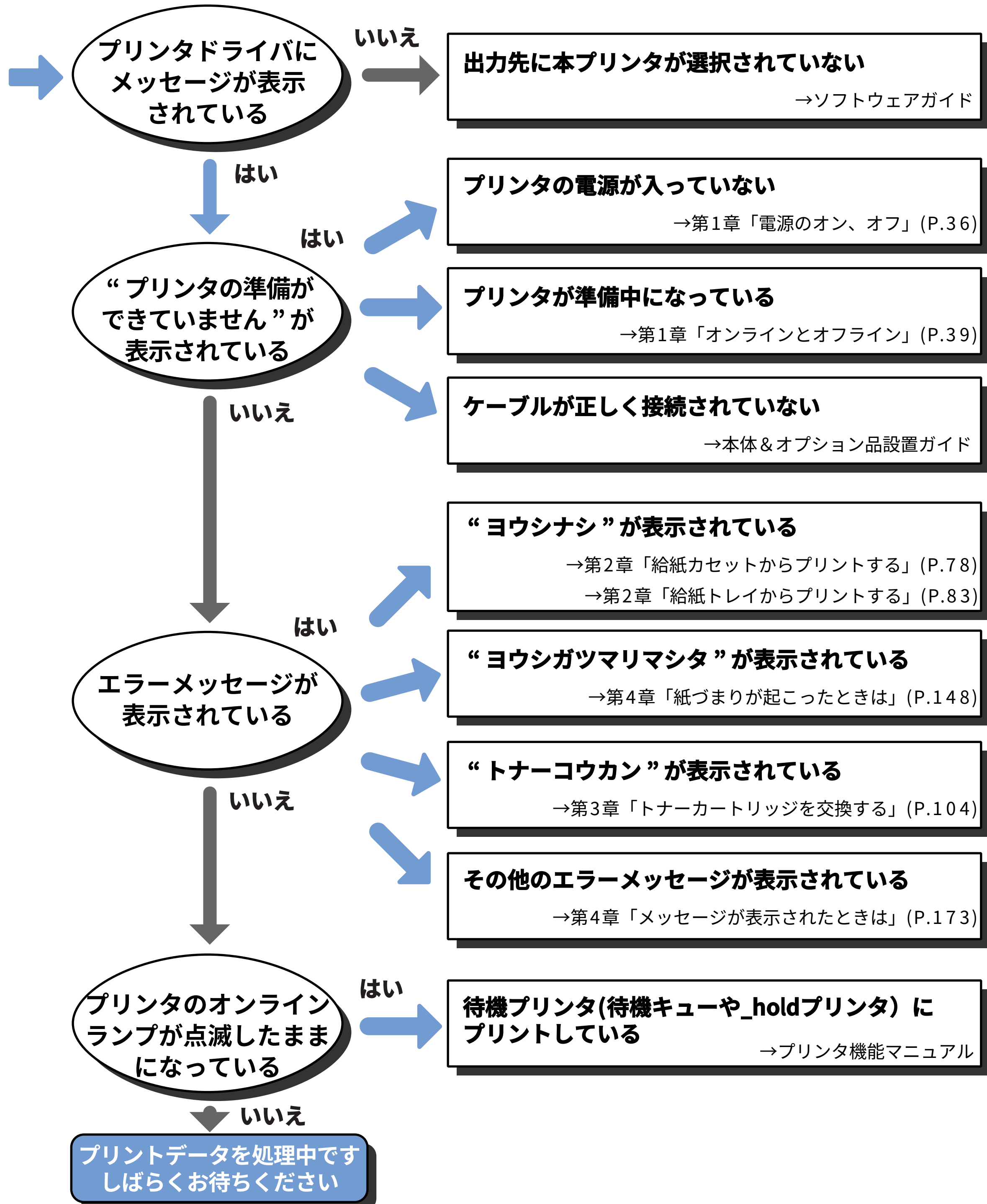
- 温度が 0 ～ 35℃の範囲内の場所
- 湿度が 35 ～ 85%（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

第 4 章

困ったときには

トラブル解決マップ


プリントできない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
ポストスクリプトエラーが発生している
→第4章「正しいプリント結果が得られないときは」(P.178)
いいえ
用紙設定が合っていない
→ソフトウェアガイド
はい
レイアウトがずれてしまう
フォントが置き換わっている
→ソフトウェアガイド
いいえ
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトのマニュアル
印字品質が悪い
はい
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第2章「用紙について」(P.62)
いいえ
トナーが少なくなってきている
→第3章「トナーカートリッジを交換する」(P.104)
その他のトラブル
→第4章「メッセージが表示されたときは」(P.173)
→第4章「正しいプリント結果が得られないときは」(P.178)

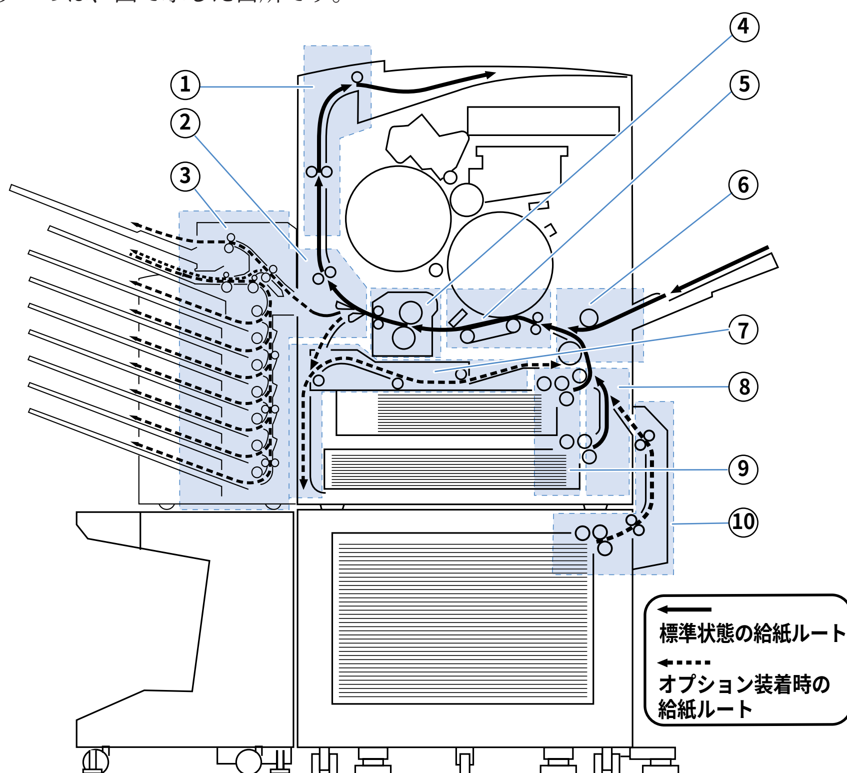

プリンタドライバにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→ソフトウェアガイド
はい
はい
プリンタの電源が入っていない
→第1章「電源のオン、オフ」(P.36)
“プリンタの準備ができていません”が表示されている
プリンタが準備中になっている
→第1章「オンラインとオフライン」(P.39)
ケーブルが正しく接続されていない
→本体＆オプション品設置ガイド
いいえ
“ヨウシナシ”が表示されている
→第2章「給紙カセットからプリントする」(P.78)
→第2章「給紙トレイからプリントする」(P.83)
はい
エラーメッセージが表示されている
“ヨウシガツマリマシタ”が表示されている
→第4章「紙づまりが起こったときは」(P.148)
“トナーコウカン”が表示されている
→第3章「トナーカートリッジを交換する」(P.104)
いいえ
その他のエラーメッセージが表示されている
→第4章「メッセージが表示されたときは」(P.173)
プリンタのオンラインランプが点滅したままになっている
はい
待機プリンタ(待機キュー や_holdプリンタ) にプリントしている
→プリンタ機能マニュアル
いいえ
プリントデータを処理中です
しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイ上段に「ヨウシガ ツマリマシタ」、下段に「カセット」や「ヒダリウエカバー」など、紙づまりの位置を表すメッセージが表示されます。紙づまりが起こったら、ディスプレイのメッセージを参考に下図の各部を点検し、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの位置

本プリンタは、用紙が図のようなルートを通ってプリントされます。紙づまりが起きやすいのは、図で示した箇所です。



	ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
①	「ヒダリウエカバー」	排紙トレイ部　（P.160）
②	「ヒダリシタカバー」	サブ排紙トレイ部（P.168）
③	「ソータ」	7 ビンソータ部（P.161）
④	「ヒダリシタカバー」	定着器ユニット部（P.170）
⑤	「マエ／ミギカバー」	中間転写体ユニット部（P.164）
⑥	「ミギカバー」	給紙トレイ部（P.158）
⑦	「ヒダリシタカバー」	両面ユニット（P.171）
⑧	「ミギシタカバー」	搬送路部（P.151）
⑨	「カセット 1」「カセット 2」	給紙カセット部（P.152）
⑩	「ペーパーデッキ」	2000 枚ペーパーデッキ部（P.155）
	「カセット 3」「カセット 4」	2 × 500 枚ペーパーデッキ部（P.153）


お願い

- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 手順通りに用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。
- カセットやカバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、いずれかのカバーを一度開けてから閉め直してください。

紙づまりの除去手順

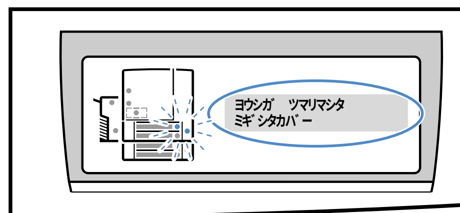
紙づまりが起こると、ディスプレイにメッセージが表示されて、プリントが中断します。紙づまりが起きたときは、電源をオンのまま紙づまりを取り除くことができます。次の手順でつまった用紙を取り除くと、プリントが再開されます。


お願い

● 紙づまりの除去は､本プリンタの電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去される場合があります。

1

ディスプレイのメッセージで､紙づまりの位置を確認します。



ディスプレイのイラストに位置を示す表示が点滅し､ディスプレイ上段には「ヨウシガ　ツマリマシタ」、下段には紙づまりの位置に応じて紙づまり位置を示すメッセージが表示されて、

2

メッセージに表示された給紙カセットやカバーを開き､つまっている用紙を取り除きます。

3

給紙カセットやカバーを元へ戻し､ディスプレイのメッセージを確認します。

紙づまりがなくなると､中断したページからプリントが再開されます。


お願い

● エラーメッセージが残っているときは、再度点検してください。
● 給紙トレイ部や排紙トレイ部、サブ排紙トレイ部、給紙カセットなど、カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は､エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、いずれかのカバーを一度、開けてから閉め直してください。

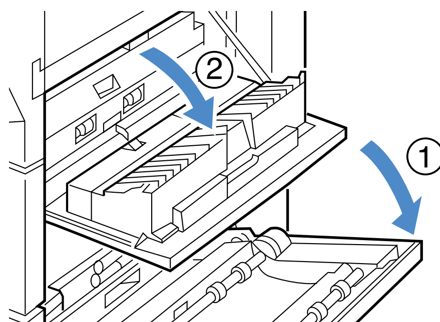
「ミギシタカバー」（搬送路部）

ディスプレイ下段に「ミギシタカバー」と表示されているときは、搬送路部で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で搬送路部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1

右下カバーのハンドルを引いて、右下カバーを開きます②。

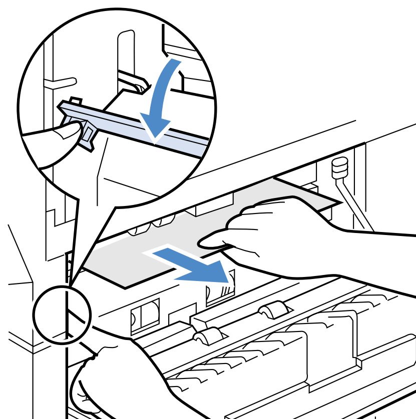
ペーパーデッキが取り付けられている場合は、先に搬送路カバーを開きます①。



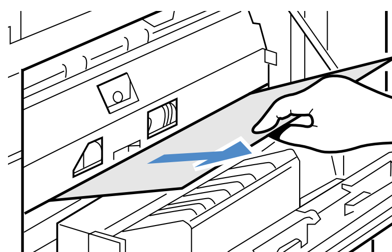
2

つまっている用紙を取り除きます。

上段カセットの出口で用紙がつまっているときは、緑色のレバーを下に押してカバーを開き、つまっている用紙を引き出します。



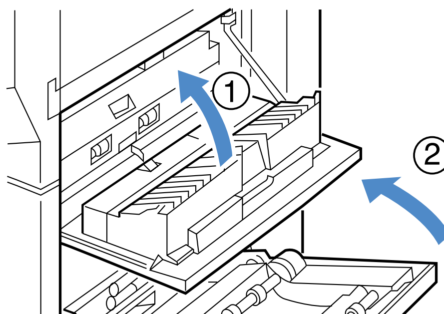
下段カセットの出口で用紙がつまっているときは、つまっている用紙をそのまま引き出します。



3

右下カバーを閉じます①。

ペーパーデッキが取り付けられている場合は、ペーパーデッキの搬送路カバーも閉じます②。

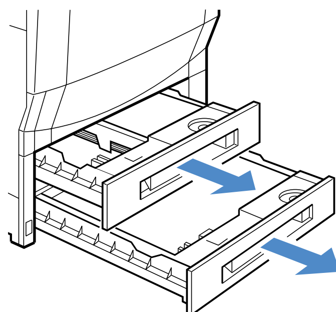


「カセット 1 ／カセット 2」（給紙カセット部）

ディスプレイ下段に「カセット 1」または「カセット 2」と表示されているときは、プリンタ本体の給紙カセット部で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で給紙カセット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。つまっている用紙を取り除いた後、右下カバーを開き、搬送路部もチェックしてください。（P.151）

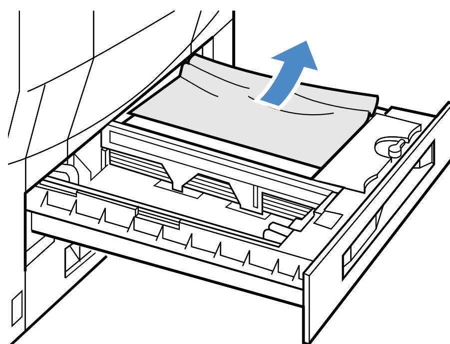
1

給紙カセットのハンドルを引いて、給紙カセットを引き出します。



2

つまっている用紙を取り除きます。

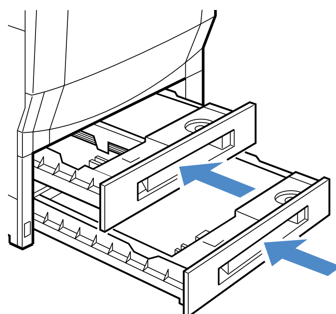


3

残った用紙を揃えて、セットし直します。

4

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

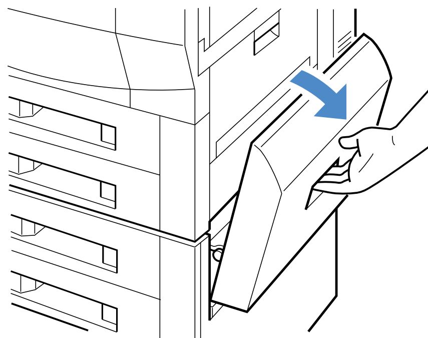


「カセット３／カセット４」（2×500枚ペーパーデッキ部）

ディスプレイ下段に「カセット3」または「カセット4」と表示されているときは、2×500枚ペーパーデッキ部で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で2×500枚ペーパーデッキの給紙カセットをチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1

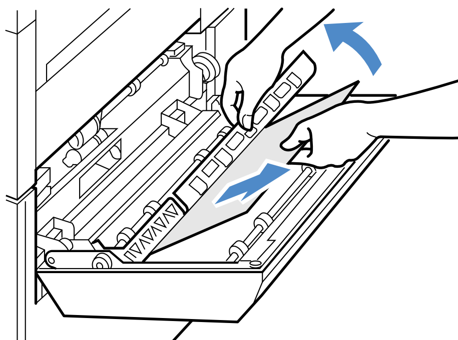
2×500枚ペーパーデッキの搬送路カバーを開きます。



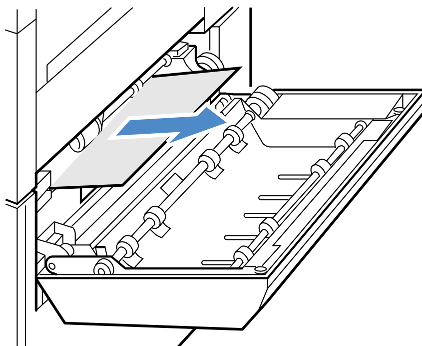
2

搬送路カバーの内側をチェックし、用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

搬送路カバー内部でつまっているときは、プレートの緑色の部分を持ち上げながら、用紙を引き出します。

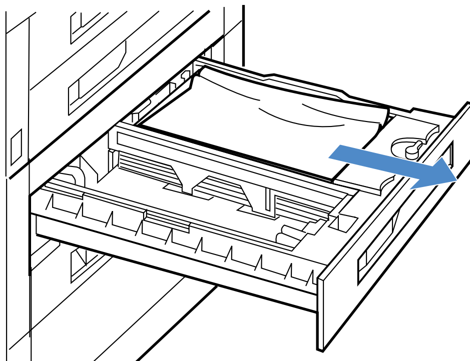


ペーパーデッキ側でつまっているときは、そのまま引っ張って抜き取ります。



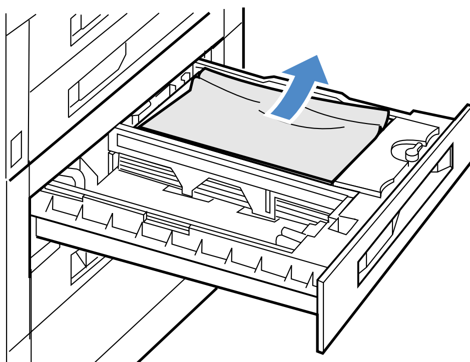
3

給紙カセットのハンドルを引いて、給紙カセットを引き出します。



4

つまっている用紙を取り除きます。

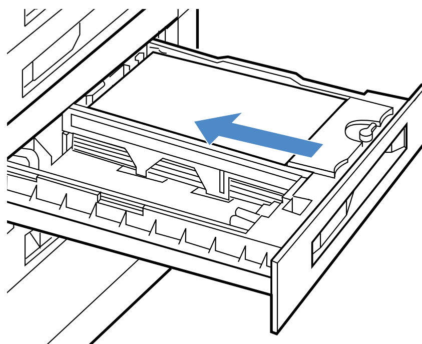


5

残った用紙を揃えて、セットし直します。

6

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。



7

2×500枚ペーパーデッキの搬送路カバーを閉じます。

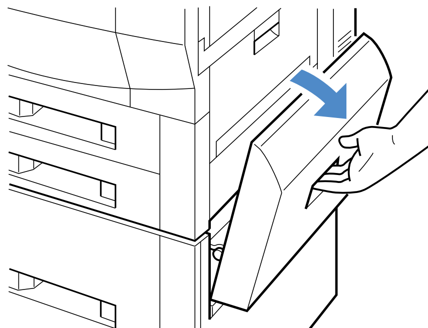


「ペーパーデッキ」（2000 枚ペーパーデッキ部）

ディスプレイ下段に「ペーパーデッキ」と表示されているときは、2000枚ペーパーデッキ部で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で 2000 枚ペーパーデッキをチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1

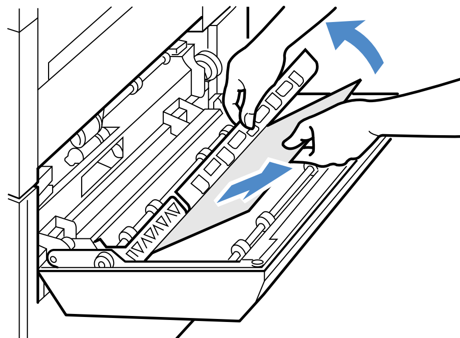
2000 枚ペーパーデッキの搬送路カバーを開きます。



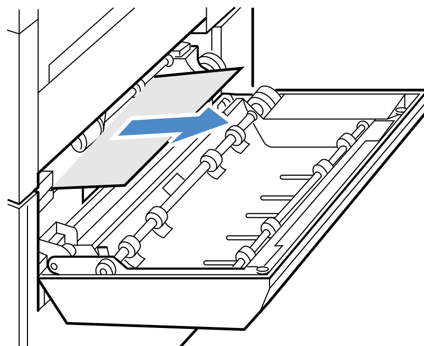
2

搬送路カバーの内側をチェックし、用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

搬送路カバー内部でつまっているときは、プレートの緑色の部分を持ち上げながら、用紙を引き出します。

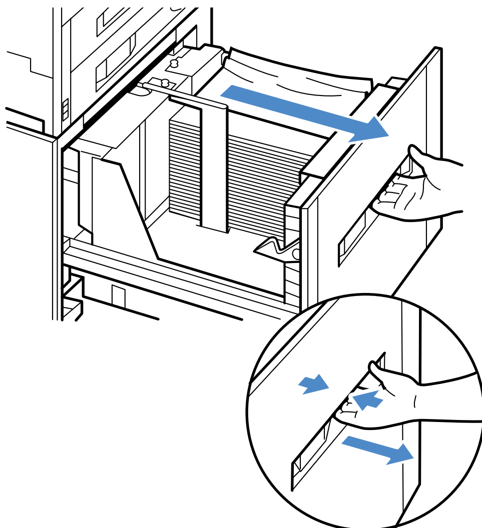


ペーパーデッキ側でつまっているときは、そのまま引っ張って抜き取ります。



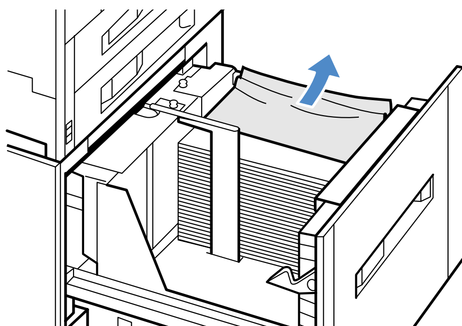
3

2000 枚ペーパーデッキのハンドルを引いて、2000 枚ペーパーデッキを引き出します。



4

用紙がつまっていたら取り除きます。

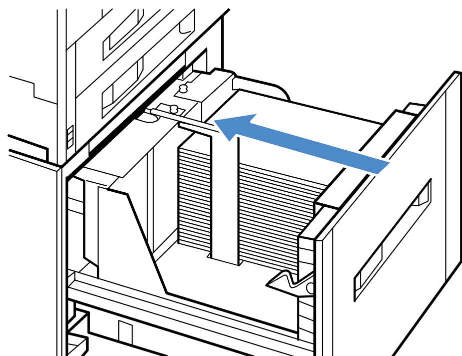


5

残った用紙を揃え、セットし直します。

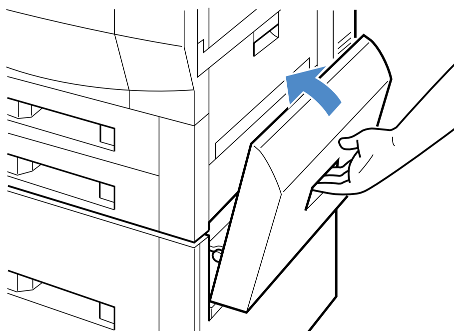
6

2000 枚ペーパーデッキをカチッとロックするまで押し込みます。



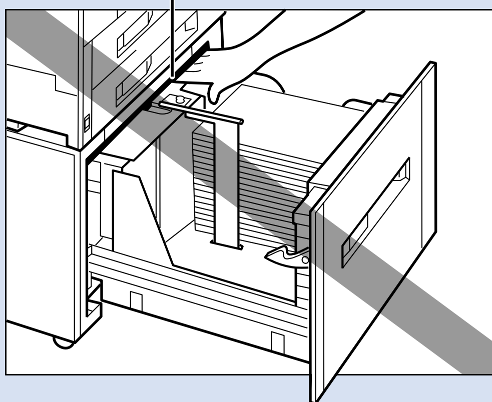
7

2000 枚ペーパーデッキの搬送路カバーを閉じます。



注意

- ペーパーデッキとプリンタのすき間に手を入れないでください。手をはさんで、けがの原因になることがあります。



4
第4章　困ったときには

「ミギカバー」（給紙トレイ部）

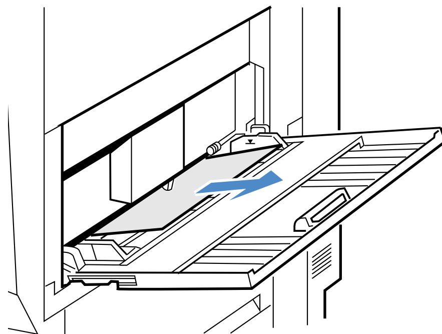
ディスプレイ下段に「ミギカバー」と表示されているときは、給紙トレイ部や中間転写体ユニット入り口のレジストローラ付近で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で給紙トレイ部やレジストローラ付近をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。


お願い

- **用紙が中間転写体ユニットまで送られていて取り出せないときは、中間転写体ユニットを引き出してから取り除いてください。****（P.164）**

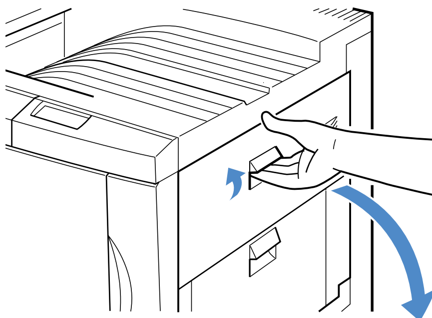
1

給紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、手前に引き出して取り除きます。



2

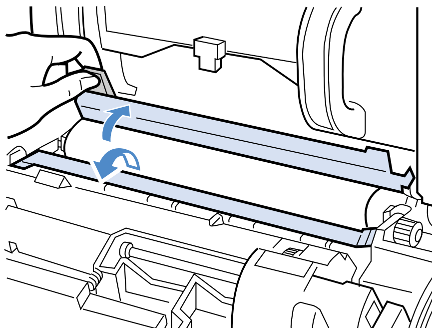
右カバーのハンドルを引いて、右カバーを開きます。



3

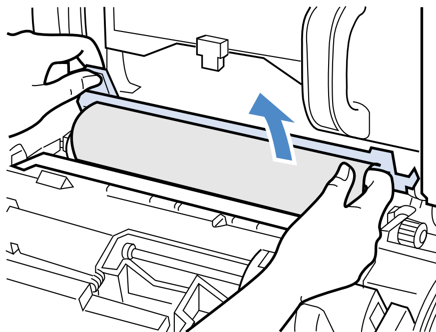
中間転写体ユニットの下にある搬送ガイドを開きます。

搬送ガイドは上側の搬送ガイドを押し上げて開くと、下側の搬送ガイドも自動的に開きます。



4

つまっている用紙を取り除きます。





● **用紙が中間転写体ユニットまで送られていて取り出せないときは、中間転写体ユニットを引き出してから取り除いてください。****（→ P.166）**

5

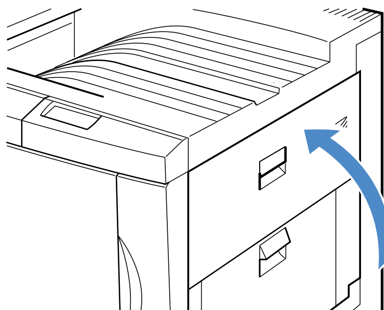
搬送ガイドを元に戻します。

搬送ガイドは上側の搬送ガイドを閉じると、自動的に下側の搬送ガイドも閉じます。

6

右カバーを閉じます。

カチッと音がしてロックするまで、しっかりと閉じてください。

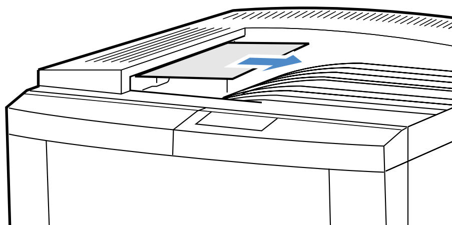


「ヒダリウエカバー」（排紙トレイ部）

ディスプレイ下段に「ヒダリウエカバー」と表示されているときは、排紙トレイ部（フェイスダウン排紙トレイ）で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で排紙トレイ部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

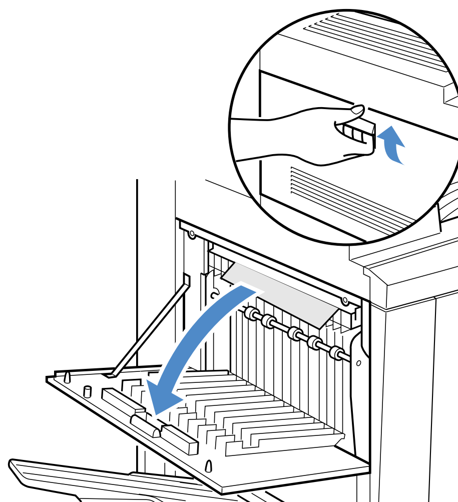
1

排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、手前に引き出して取り除きます。



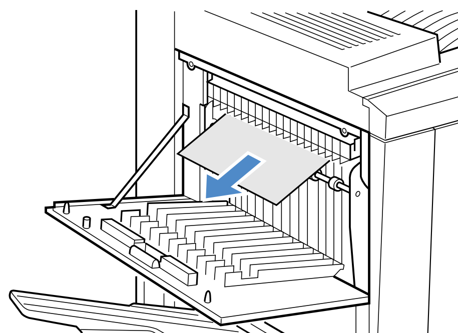
2

左上カバーのハンドルを引いて、左上カバーを開きます。



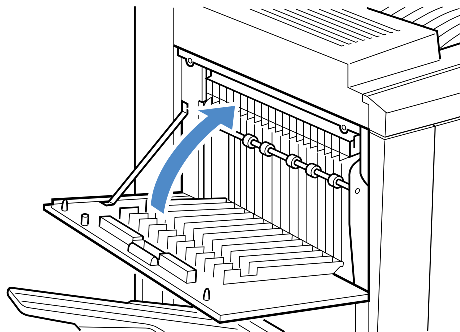
3

用紙がつまっていたら取り除きます。



4

左上カバーを閉じます。





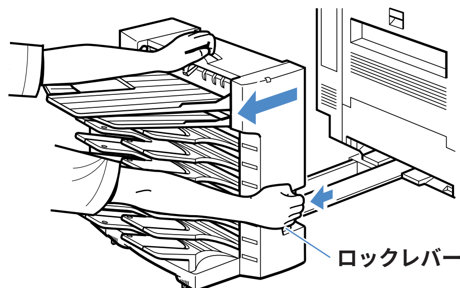
- **左上カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。必ず左上カバーを一度、開けてから閉め直してください。**

「ソータ」（7 ビンソータ部）

ディスプレイ下段に「ソータ」と表示されているときは、7 ビンソータ部で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順で 7 ビンソータ各部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

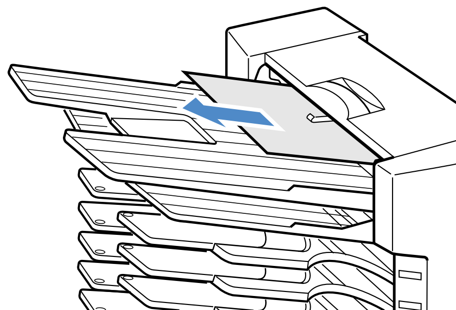
1

7ビンソータのレバーを引いてロックを解除し、7 ビンソータをプリンタ本体から引き離します。



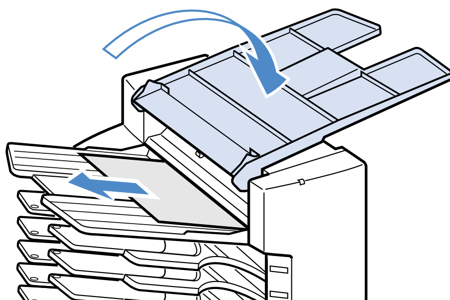
2

ノンソートビンにつまっているときは、用紙を引いて取り除きます。



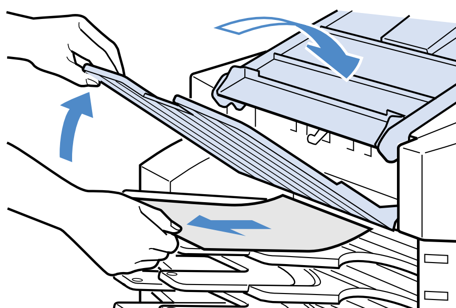
3

ノンソートビンを開き、反転トレイにつまっている用紙を取り除きます。



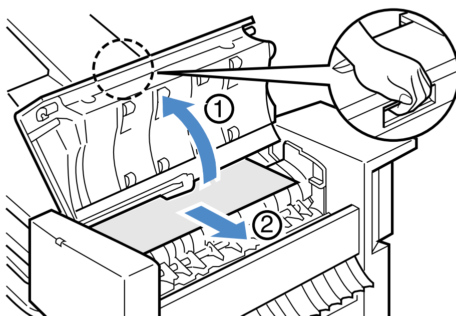
4

ノンソートビンと反転トレイを開き、ビンにつまっている用紙を取り除きます。



5

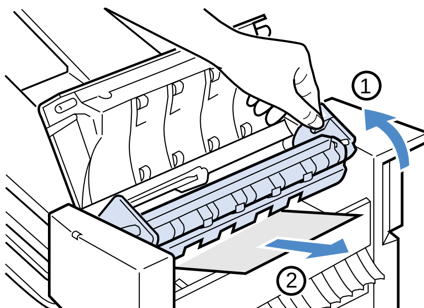
7ビンソータの上カバー部のレバーを引いて上カバーを開き、つまっている用紙を取り除きます。



6

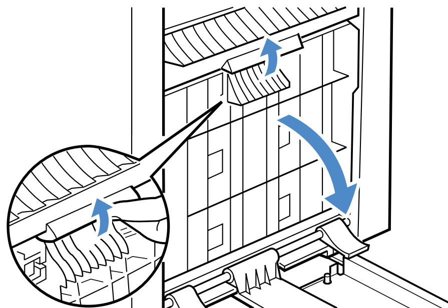
緑色のレバーを持って用紙反転ガイドを開き、つまっている用紙を取り除きます。

終わったら、用紙反転ガイドと上カバーを閉じます。



7

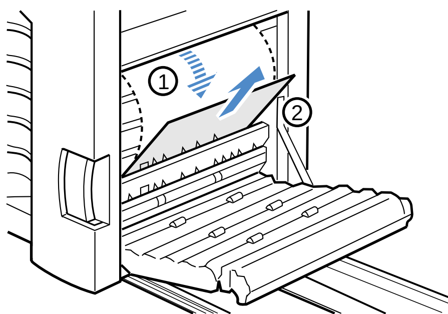
7ビンソータ内側のハンドルを引いて搬送パネルを開きます。



8

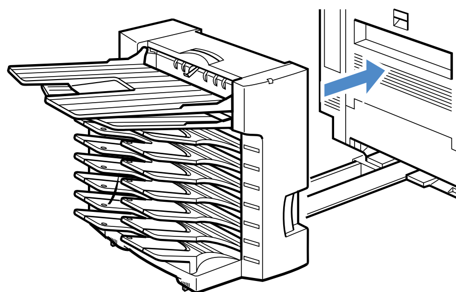
ビンにつまっている用紙を一旦下に送り①、用紙取り除きます②。

終わったら、搬送パネルを閉じます。



9

7ビンソータをプリンタ本体に接続します。





- **7ビンソータおよびカバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。必ず7ビンソータを一度開いてから閉め直してください。**

「マエ／ミギカバー」（中間転写体ユニット部）

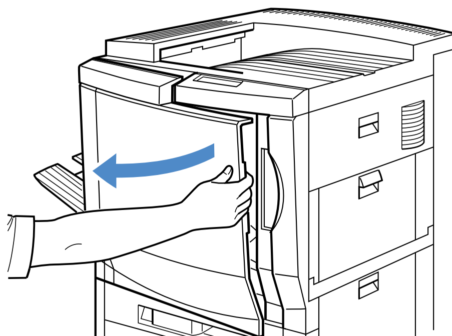
ディスプレイ下段に「マエカバー」と「ミギカバー」が交互に表示されているときは、中間転写体ユニット部で紙づまりが起こっていることを表わしています。用紙が見えない場合もありますが、必ず取り除いてください。
次の手順で中間転写体ユニット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。


お願い

- **レジストローラ付近の紙づまりで、用紙が中間転写体ユニットまで送られていて取り出せないときは、この手順で取り除いてください。**

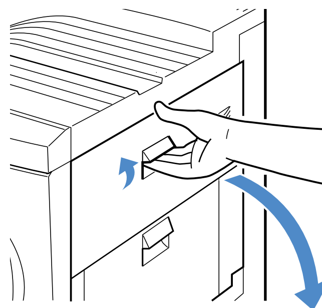
1

前カバーを開きます。



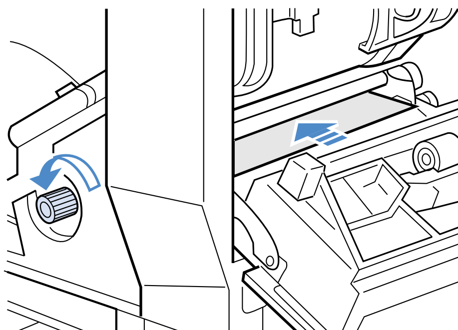
2

右カバーのハンドルを引いて、右カバーを開きます。



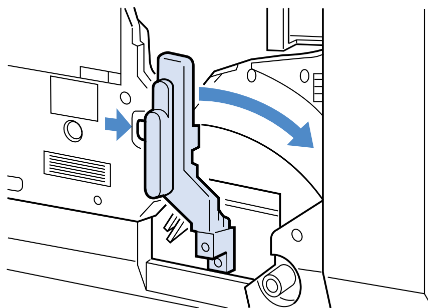
3

前カバー内部右下のつまみを反時計方向に回し、つまっている用紙を奥へ送り込みます。



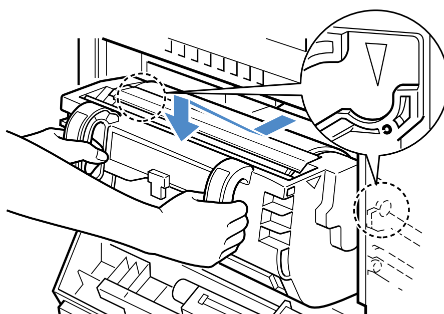
4

緑色のリリースレバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。



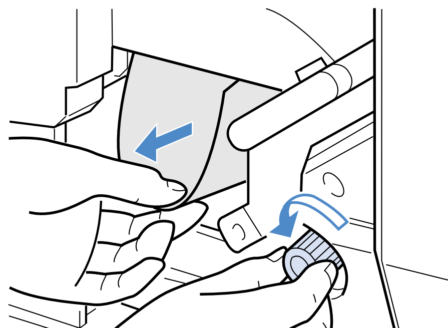
5

両手で中間転写体ユニットのハンドルを持ち、図の位置まで慎重に転写体ユニットを引き出します。



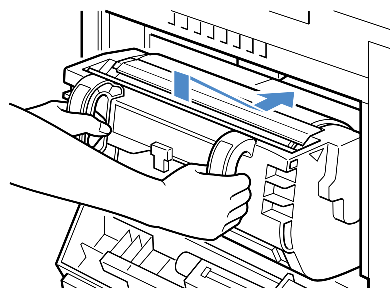
6

前カバー側の隙間から、つまっている用紙を取り除きます。



7

中間転写体ユニットを元に戻します。

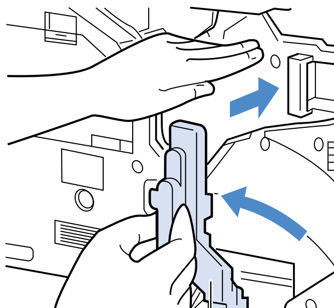



お願い

- 中間転写体ユニット内のドラムは、ドラムの表面を手で触ったり、ぶつけたりしないように、慎重に取り扱ってください。ドラム表面をキズ付けると、プリントのムラや画質低下の原因になります。

8

緑色のリリースレバーを、元の位置へ戻します。



9

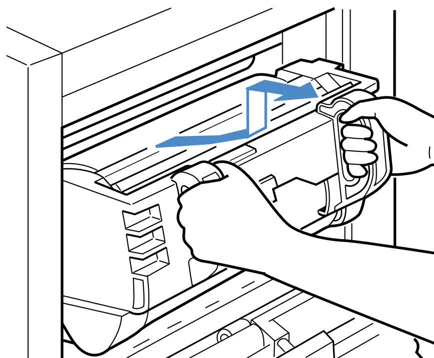
前カバーと右カバーを閉じます。

どうしても用紙が取り除けないときは

つまっている用紙がどうしても取り除けないときは、中間転写体ユニットをプリンタから取り外し、右カバー側から取り除いてください。

1

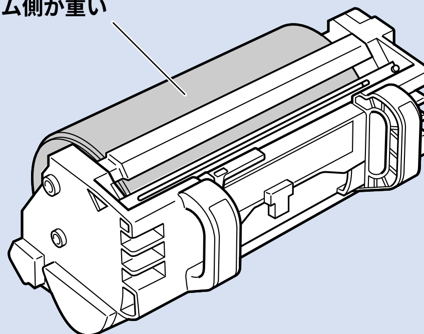
中間転写体ユニットをプリンタから取り出します。





注意

● 中間転写体ユニットは、約 6.5kg ありますので、しっかりと持ってください。中間転写体ユニットはドラム部が重くなっていますので、ご注意ください。

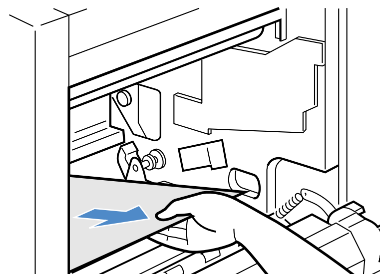




●中間転写体ユニット内のドラムは、ドラムの表面を手で触ったり、床などに触れたりしないように、慎重に取り扱ってください。また、取り出した中間転写体ユニットは、十分な広さがある、水平で平らな場所に置いてください。ドラム表面をキズ付けると、プリントのムラや画質低下の原因になります。

2

つまった用紙を取り除きます。

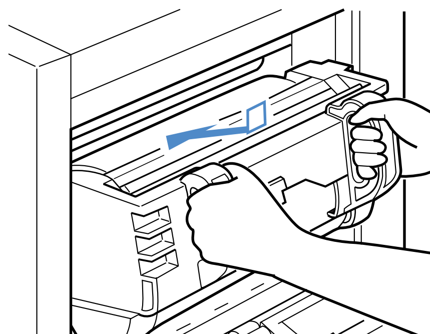




●用紙が見当たらないときは、中間転写体ユニットのドラムに巻き付いていることがあるので、取り出した中間転写体ユニットを確認してください。

3

中間転写体ユニットをプリンタへ取り付けます。

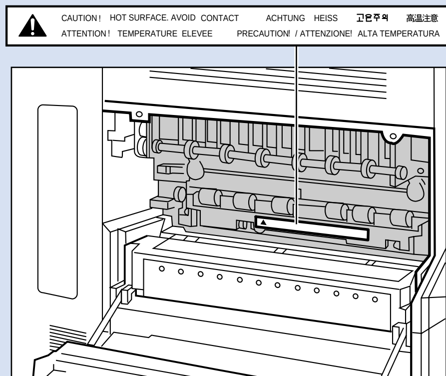


「ヒダリシタカバー」（サブ排紙トレイ部、プリンタ内部）

ディスプレイ下段に「ヒダリシタカバー」が表示されているときは、サブ排紙トレイ（フェイスアップトレイ）部や定着器部、両面ユニット部で紙づまりが起こっていることを表わしています。次の手順でサブ排紙トレイ部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。サブ排紙トレイ部につまった用紙がない場合は、定着器部や両面ユニット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

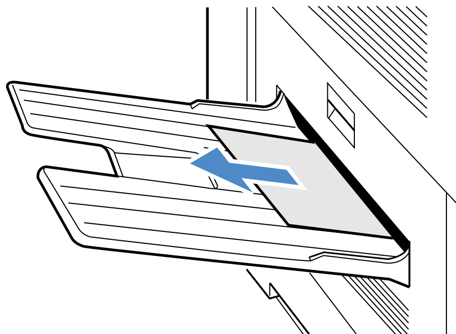
注意

● **プリンタを使用した直後は、定着器付近が非常に高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。万一触れると、やけどの恐れがあります。**



1

サブ排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

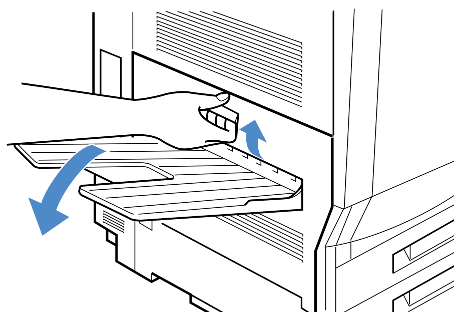



お願い

● **つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っ張らないでください。用紙が破れて紙片が残ると、再び紙づまりが発生する原因になります。その場合は、左下カバーを開いてから取り除いてください。**

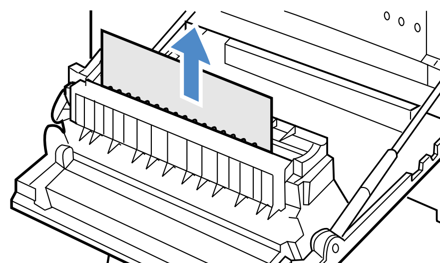
2

左下カバーのハンドルを引いて、左下カバーを開きます。

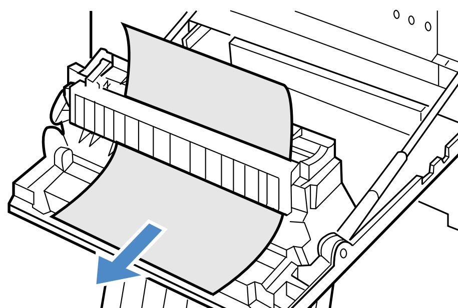


3

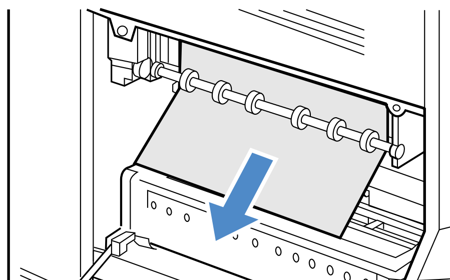
紙づまりの状態に応じて、図の方向につまった用紙を取り除きます。



サブ排紙トレイへ排紙途中でつまっている場合は、そのまま引っ張って抜き取ります。



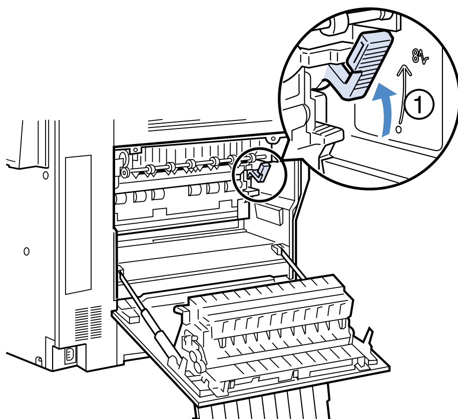
排紙トレイへ送られる途中でつまっている場合は、カバーの上側へ引っ張って取り除きます。



左上カバー側でつまっている場合は、下へ引っ張って取り除きます。

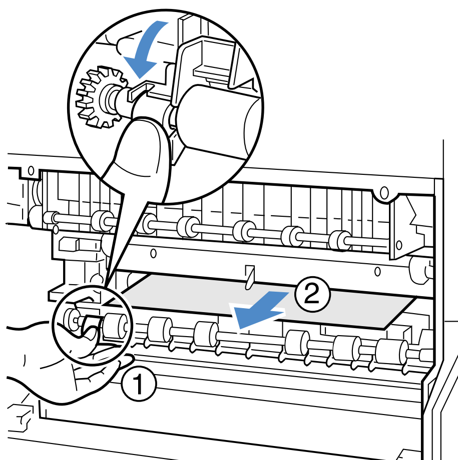
4

定着器に用紙がつまっているときは、定着器右側の加圧解除レバーを上に上げます。



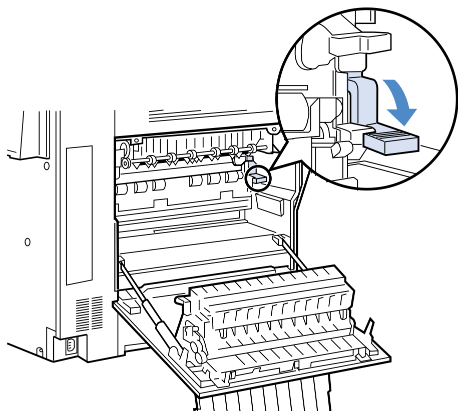
5

定着器左側の緑色のレバーを押し下げながら、つまった用紙を引き出します。



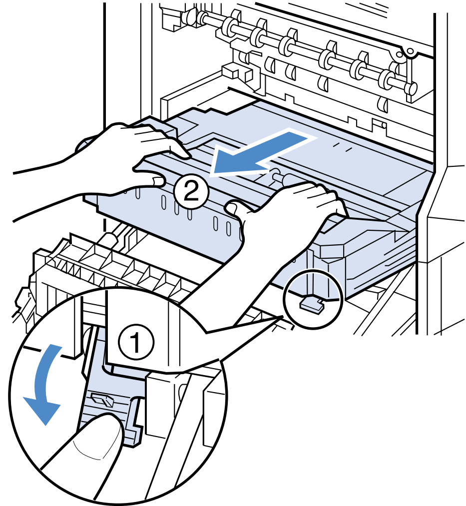
6

定着器右側の加圧解除レバーを下に下げます。



7

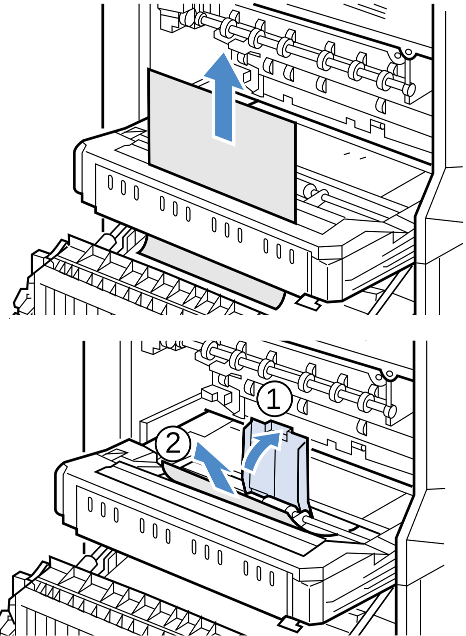
両面ユニットに用紙がつまっているときは、両面ユニット右下の緑色のレバーを押し下げてロックをはずし、両面ユニットを引き出します。



8

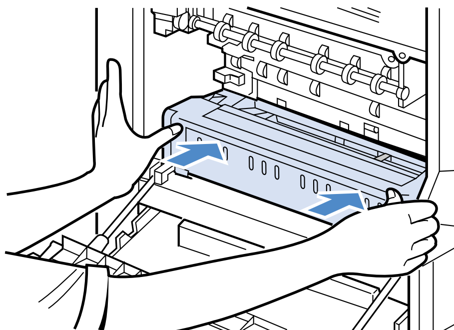
両面ユニットにつまった用紙を引き出します。

両面ユニット内部につまった用紙は、緑色のプレートを引き上げてから、つまった用紙を取り出します。



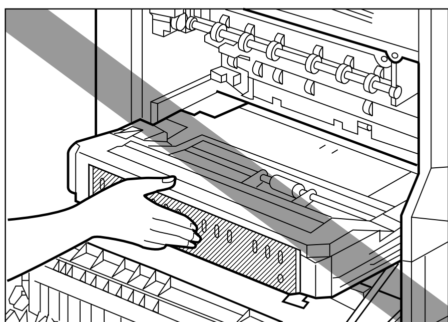
9

つまった用紙を取り除いたら、両面ユニットを右下の緑色のレバーがロックするまで押し込みます。



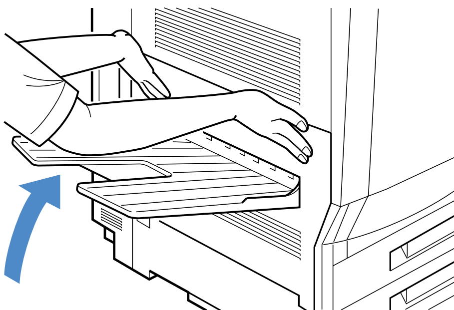


- 両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因となることがあります。



10

左下カバーを閉じます。



メッセージが表示されたときは

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態になると、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すメッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。


メモ

- 複数の警告が同時に発生しているときは、メッセージを交互に表示します。

カバーガ　アイテイマス

原　因	本体またはオプション装置のいずれのカバーが開いている
対　策	ディスプレイに表示されたカバーをしっかりと閉じてください。


メモ

- 一つのカバーを閉じてもめまだこのメッセージが表示される場合は、他のカバーが開いてます。他のカバーをチェックして、すべて閉じてください。

フェースダウントレイ　フル

原　因	排紙トレイが満載になった
対策1	排紙トレイの用紙を取り除いてください。
対策2	排紙先をサブ排紙トレイに切り替えてください。
参照先	第2章「排紙先を選択する」（P.70）

ソータ　ノンソートビン　フル

原　因	ソータのフェースアップ排紙トレイが満載になった
対策1	ソータのフェースアップ排紙トレイの用紙を取り除いてください。
対策2	他の排紙先へ切り替えてください。
参照先	第2章「排紙先を選択する」（P.70）

ソータ　ビンn　フル（nはビン番号）

原　因	ソータのビンが満載になった
対策1	排紙先が自動的に排紙トレイへ切り替わります。ソータのビンに残っている用紙を取り除いてください。
対策2	他の排紙先へ切り替えてください。
参照先	第2章「排紙先を選択する」（P.70）

スタッカ　ビン　フル

原　因	ソータをスタックモードで使用しているときにビンが満載になった
対　策	全てのソータのビンから残っている用紙を取り除いてください。

ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因　**内部で紙づまりを起こしている**
対　策　**紙づまりを除去してください。**
参照先　第4章「紙づまりが起こったときは」（P.148）



- **紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイ下段に紙づまりの位置を交互に表示します。**
- **本体またはオプション装置、いずれのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず本体とオプション装置両方のカバーを一度開閉してください。**

キュウシトレイ　ヨウシ　チェック／＜用紙タイプ＞　＜用紙サイズ＞

原　因　**プリンタドライバで設定したサイズとタイプの用紙が給紙元にない**
対　策　**プリンタドライバで設定した給紙元に指定した用紙をセットしてください。**
参照先　ソフトウェアガイド

カセットn　ヨウシ　チェック／＜用紙タイプ＞　＜用紙サイズ＞（nはカセット番号）

原　因　**プリンタドライバで設定したサイズとタイプの用紙が給紙元にない**
対　策　**プリンタドライバで設定した給紙元に指定した用紙をセットしてください。**
参照先　ソフトウェアガイド



- **カセット 3 は、2 × 500 枚ペーパーデッキの上段カセットまたは 2000 枚ペーパーデッキです。**
- **カセット 4 は、2 × 500 枚ペーパーデッキの下段カセットです。**

カセット 1　ヨウシ　ナシ／＜用紙タイプ＞　＜用紙サイズ＞

原　因　**プリンタ本体の上段カセットの用紙が切れている**
対　策　**カセット1に用紙を補給してください。**
参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」（P.78）

カセット 2　ヨウシ　ナシ／＜用紙タイプ＞　＜用紙サイズ＞

原　因　**プリンタ本体の下段カセットの用紙が切れている**
対　策　**カセット2に用紙を補給してください。**
参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」（P.78）

カセット 3　ヨウシ　ナシ／＜用紙タイプ＞　＜用紙サイズ＞

原因 1　**2×500枚ペーパーデッキの上段カセットの用紙が切れている**
対　策　**カセット3に用紙を補給してください。**
参照先　第2章「2×500枚ペーパーデッキからプリントする」（P.96）
原因 2　**2000枚ペーパーデッキの用紙が切れている**
対　策　**2000枚ペーパーデッキに用紙を補給してください。**
参照先　第2章「2000枚ペーパーデッキからプリントする」（P.91）

カセット 4　ヨウシ　ナシ／＜用紙タイプ＞　＜用紙サイズ＞

原　因	**2×500枚ペーパーデッキの下段カセットの用紙が切れている**
対　策	**カセット4に用紙を補給してください。**
参照先	第2章「2×500枚ペーパーデッキからプリントする」（P.96）

トナーカートリッジ　ロックハンドル　チェック

原　因	**トナーカートリッジがロックされていない、または正しくセットされていない**
対　策	**トナーカートリッジをロックする、またはトナーカートリッジを正しくセットし直してください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（ P.104）

X　トナーカートリッジ　ナシ（X は C または M、Y、K）

原因 1	**C（シアン）またはM（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない**
対　策	**表示された色のトナーカートリッジをセットしてください。**
原因 2	**Y（イエロー）またはM（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しくロックがされていない**
対　策	**表示された色のトナーカートリッジをロックしてください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（ P.104）

X　トナー　コウカン　ヨコク（X は C または M、Y、K）

原　因	**C（シアン）またはM（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナーの残量が少なくなってきている**
対　策	**少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（ P.104）

X　トナー　コウカン（X は C または M、Y、K）

原　因	**C（シアン）またはM（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナーカートリッジの寿命がきた**
対　策	**表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換してください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（ P.104）

ドラムヲイレテクダサイ

原　因	**ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない**
対　策	**ドラムカートリッジをしっかり奥まで押し込み、青色と緑色のリリースレバーをロックしてください。**
参照先	第3章「ドラムカートリッジを交換する」（ P.116）

ドラム　コウカン　ヨコク

原　因　**ドラムカートリッジの寿命が近い**

対　策　**プリントは続行されます。新しいドラムカートリッジをご用意ください。そのまま使い続けると印字品質が低下しますので、早めに新しいドラムカートリッジと交換してください。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（ P.116）

ドラム　ユニットコウカン　ヨコク

原　因　**ドラムカートリッジの寿命が近い**

対　策　**プリントは続行されます。新しいドラムカートリッジをご用意ください。そのまま使い続けると印字品質が低下しますので、早めに新しいドラムカートリッジと交換してください。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（ P.116）

ドラム　コウカン

原　因　**ドラムカートリッジの寿命がきた**

対　策　**プリントは継続されますが、終了したらドラムカートリッジを取り出して新しいドラムカートリッジと交換してください。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（ P.116）

ドラムユニット　コウカン

原　因　**ドラムカートリッジの寿命がきた**

対　策　**ドラムカートリッジを取り出して新しいドラムカートリッジと交換してください。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（ P.116）

テイチャクキ　コウカン　ヨコク

原　因　**定着ユニットの寿命が近い**

対　策　**プリントは継続されます。そのまま使い続けると印字品質が低下しますので、早めに新しい定着器ユニットの交換をお買い求めの販売店へ依頼してください。お客様による交換はできません。**

参照先　付録「定期コウカン部品のご案内」（ P.216）

テイチャクキ　ナシ

原　因　**定着ユニットが取り付けられていない、もしくは正しくセットされていない、故障した**

対　策　**電源をオフにし、冷却ファンの回転が止まるまで約30分間待ち、左下カバーを開けて定着器の取り付けを確認してください。再度同じメッセージが表示される場合は、メッセージ内容をメモし、お買い求めの販売店へご連絡ください。お客様による交換はできません。**

ITD ユニット　チェック

原因１　**中間転写体ユニットが正しくセットされていない**

対　策　**中間転写体ユニットを正しくセットし直してください。**

参照先　第4章「紙づまりが起こったときは」（→ P.164）

リョウメンユニット　チェック

原　因	両面ユニットが正しくセットされていない
対　策	両面ユニットを正しくセットし直してください。
参照先	第4章「紙づまりが起こったときは」（→ P.171）

ハードディスク　フル

原　因	ハードディスクの空き容量がなくなった
対　策	不要なジョブ、ダウンロードフォント、ジョブ履歴を消去してください。
参照先	ソフトウェアガイド

プリンタ　エラー

原　因	プリントデータ処理中にトラブルが発生した
対　策	電源を一旦オフにし、3秒以上経ってからオンにしてプリントし直します。


お願い

●上記の操作をしてもメッセージが消えないときは､ディスプレイの上の行に表示されている４桁の英数字､および下の行のメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き､お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字とメッセージをお知らせください。

nn-nn　サービス　コール（nn は 2 桁の英数字）

原　因	プリンタの内部機構にトラブルが発生した
対　策	電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源を入れ直してください。


お願い

●上記の操作をしてもメッセージが消えないときは､ディスプレイの上の行に表示されている４桁の英数字､および下の行のメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き､お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字とメッセージをお知らせください。

nnnn　エラー／サイキドウシテクダサイ（nnnn は 4 桁の英数字）

原　因	プリンタの内部機構にトラブルが発生した
対　策	電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源を入れ直してください。


お願い

●上記の操作をしてもメッセージが消えないときは､ディスプレイの上の行に表示されている４桁の英数字､および下の行のメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き､お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字とメッセージをお知らせください。

正しいプリント結果が得られないときは

本プリンタを使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。
本書に記載されていない症状が起きたとき、あるいは記載されている処置を行っても症状が回復しなかったとき、原因がどうしてもわからないときは、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因1	**電源コードのプラグがコンセントから抜けている**
対　策	**電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。**
原因2	**ブレーカーが落ちている**
対　策	**配電盤のブレーカーをオンにします。**
原因3	**電源コード内部で断線している**
対　策	**同じタイプの他の装置の電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。**
参照先	本体/オプション品設置ガイド&ネットワーク設定ガイド　第2章「プリンタの設置」

プリンタが動かない

原因1	**プリンタ準備中になっている**
対　策	**しばらくお待ちください。**
参照先	第1章「電源のオン、オフ」（P.36）
原因2	**他のジョブを処理している**
対　策	**WebToolsでプリント待ちジョブを確認してください。**
参照先	ソフトウェアガイド
原因3	**インタフェースケーブルが外れている**
対　策	**インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。**
参照先	本体/オプション品設置ガイド&ネットワーク設定ガイド　第2章「プリンタの設置」
原因4	**本プリンタやオプション装置に故障がある**
対　策	**ディスプレイのメッセージを見て、処置します。**
参照先	第4章「メッセージが表示されたときは」（P.173）

プリントが途中で止まってしまった

原因1	**ポストスクリプトエラーが発生した**
対　策	**プリントデータやプリンタドライバの設定、アプリケーションソフトの設定を確認してください。**
参照先	ソフトウェアガイド、アプリケーションソフトのマニュアル
原因2	**出力ポートがプリント待機用ポートになっている**
対　策	**プリンタドライバのポート設定を確認してください。**
参照先	ソフトウェアガイド

操作パネルのランプがつかない

原因1	**電源がオンになっていない**
対　策	**電源をオンにしてください。**
原因2	**スリープモードになっている**
対　策	**プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。**
参照先	第1章「電源のオン、オフ」（P.36）

操作パネルのスイッチが機能しない

原　因	**プリンタ準備中になっている**
対　策	**しばらくお待ちください。**
参照先	第1章「電源のオン、オフ」（P.36）

前カバーが閉まらない

原　因	**リリースレバーやカラートナー交換カバーが正しい位置に戻されていない**
対　策	**リリースレバーやカラートナー交換カバーを正しい位置に戻してから、前ドアを閉じてください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（P.104） 第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因1	**給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙が積載制限マークを越えている**
対　策	**用紙を積載制限マークの範囲内まで減らし、プリントし直してください。**
参照先	第2章「給紙カセットからプリントする」（P.78） 第2章「給紙トレイからプリントする」（P.83）
原因2	**給紙カセットや給紙トレイに用紙が正しくセットされていない**
対　策	**用紙を正しくセットし直し、プリントし直してください。**
参照先	第2章「給紙カセットからプリントする」（P.78） 第2章「給紙トレイからプリントする」（P.83）
原因3	**給紙カセットや給紙トレイに使用できない用紙がセットされている**
対　策	**使用できる用紙に交換し、プリントし直してください。**
参照先	第2章「給紙元を選択する」（P.68） 第2章「用紙について」（P.62）
原因4	**紙づまり処理が不完全である**
対　策	**紙づまりを除去し、プリントし直してください。**
参照先	第4章「紙づまりが起こったときは」（P.173）

印字品質のトラブル

用紙にしわがよる

原因1	**給紙カセットに用紙が正しくセットされていない**
対　策	**給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。**
参照先	第2章「給紙カセットからプリントする」（P.78）
原因2	**給紙トレイに用紙を斜めにセットした**
対　策	**給紙トレイにまっすぐに用紙をセットしてください。**
参照先	第2章「給紙トレイからプリントする」（P.83）
原因3	**用紙が吸湿している**
対　策	**未開封の新しい用紙と交換してください。**


メモ

- **A3、11x17サイズの場合は、75g/m² 以上の用紙をご使用になることをおすすめします。**

原因4	**定着器の寿命が近づいてきている**
対　策	**未開封の新しい用紙と交換してください。**

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因1	**シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした**
対　策	**トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットし直してください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（P.104）
原因2	**用紙が重なって送られた**
対　策	**給紙カセットや給紙トレイの用紙を、よくさばいてセットし直してください。**
参照先	第2章「給紙カセットからプリントする」（P.78） 第2章「給紙トレイからプリントする」（P.83）
原因3	**プリンタ内部でトラブルが発生している**
対策1	**ディスプレイに「サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源を入れ直してください。メッセージが消えることがあります。**
対策2	**対策１の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。**

用紙が真っ黒で何もプリントされない

原因1	**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策	**ドラムカートリッジを新品に交換してください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（P.104）
原因2	**プリンタ内部でトラブルが発生している**
対策1	**ディスプレイに「サービス　コール　nn-nn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源を入れ直してください。メッセージが消えることがあります。**
対策2	**対策１の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。**

薄い縦すじまたは濃い縦すじが入る

原因1	**ポスト帯電器が汚れている**
対　策	**ポスト帯電器を清掃してください。**
参照先	第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.127）
原因2	**CMYKいずれかのトナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している**
対　策	**劣化あるいは損傷しているトナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。**
参照先	第3章「トナーカートリッジを交換する」（P.104）
原因3	**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化、あるいは損傷している**
対　策	**新しいドラムカートリッジに交換してください。**
参照先	第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）

部分的に白く抜ける

原因1	**用紙が適切でない**
対　策	**使用できる用紙に交換し、プリントし直してください。**
参照先	第2章「用紙について」（P.62）
原因2	**用紙の保管状態が悪く、吸湿している**
対　策	**新しい用紙に交換し、プリントし直してください。**
参照先	第2章「用紙について」（P.62）
原因3	**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策	**ドラムカートリッジを新品に交換してください。**
参照先	第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）

プリントしない部分に残像が現れる

原因1	**プリントする用紙が適当でない**
対　策	**用紙やOHPフィルムを取り替えてプリントしてください。**
参照先	第2章「用紙について」（P.62）
原因2	**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策	**新しいドラムカートリッジに交換してください。**
参照先	第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）

印字が全体的にうすい、濃い

原因1	**使用環境によってプリント濃度に影響を受けることがある**
対　策	**全ての色（CMYK）についてトナー濃度を最高の濃度に設定してプリントし直し、濃度が改善されるか確認してください。**
参照先	プリンタ機能マニュアル　第2章「プリンタ設定メニュー」
原因2	**濃度検知センサが汚れている**
対　策	**濃度検知センサを付属の清掃用ブラシで清掃してください。**
参照先	第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.128）
原因3	**色調整が正しく行われていない**
対　策	**VisualCALを行ってトナー濃度を調節してください。**
参照先	第1章「カラーを維持するには」（P.50）

印字ムラが出る

原因1 **トナーカートリッジの寿命がきている**
対　策 **新しいトナーカートリッジに交換します。**
参照先 第3章「ナーカートリッジを交換する」（ P.104）
原因2 **ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している**
対　策 **新しいドラムカートリッジに交換してください。**
参照先 第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）
原因3 **用紙が湿っている、あるいは乾燥している**
対　策 **適切な用紙に交換してください。**
参照先 第2章「用紙について」（ P.62）

定着性が悪い

原　因 **用紙の種類により、定着性が悪い場合がある**
対　策 **プリンタドライバで用紙タイプの設定を変更して、プリントし直してください。**
参照先 ソフトウェアガイド



●キヤノンCLCペーパー105g/m² をご使用になることをおすすめします。

色ズレにより正しい色（指定した色）でプリントされない、カラーの文字がぼけて見える

原因1 **プリンタが設置してある場所の温度が低い、またはプリンタ本体の機内が十分あたたまっていない**
対　策 **プリンタをお使いになる前に、設置してある部屋の温度に十分なじませてからお使いください。**



●本プリンタは、なるべく20～27℃の温度環境でお使いください。

原因2 **4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはトナーカートリッジが劣化している**
対　策 **「トナーチェック」または「トナーコウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換してください。**
参照先 第3章「トナーカートリッジを交換する」（P.104）
原因3 **用紙が適切でない**
対　策 **使用できる用紙に交換し、プリントし直してください。**
参照先 第2章「用紙について」（ P.62）

画像にトナーを散らしたような汚れが出る

原因1 **分離除電器内のワイヤーが汚れている**
対　策 **分離除電器を清掃する**
参照先 第3章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）
原因2 **用紙が適切でない**
対　策 **適切な用紙に交換し、プリントし直してください。**
参照先 第2章「用紙について」（ P.62）

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因	画面（RGB）とプリンタ（CMY）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある
対　策	プリンタドライバで「ColorWise」シートの設定を調節してください。
参照先	ソフトウェアガイド

同時に使用している他の COLOR LASER SHOT LBP-2260PSII と色が合わない

原因1	工場出荷時のC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度に若干のバラツキがある
対　策	各々のプリンタでVisualCALを行ってトナー濃度を微調節してください。
参照先	第1章「カラーを維持するには」（P.52）
原因2	本プリンタでプリントした用紙の裏面にプリントした
対　策	両面にプリントする場合は、必ず両面ユニットを使ってプリントしてください。本プリンタでは、手動による両面プリントはできません。
参照先	第2章「両面にプリントする」（P.101）

プリント結果のトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原　因	付属のWindows用プリンタドライバを組み込まずにWindowsまたはMS-DOSからプリントした
対　策	付属のWindows用プリンタドライバを組み込み、プリントし直してください。
参照先	第1章「プリントに必要なソフトウェア」（P.41） ソフトウェアガイド

指定した書体と違う書体で印字される

原　因	プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えが設定されている
対　策	プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換え設定を正しく直し、プリントし直してください。
参照先	プリンタドライバのヘルプ

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因1	データのサイズより小さな用紙をセットした
対　策	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをしてください。
参照先	プリンタ機能マニュアル　第３章「拡大／縮小」
原因2	用紙をセットする位置が合っていない
対　策	用紙を正しくセットし、プリントし直してください。
参照先	第2章「給紙トレイからプリントする」（P.83）
原因3	余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした
対　策	データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってプリントし直してください。（用紙の周囲 5mm（封筒は10mm）の範囲にはプリントできません。）
参照先	アプリケーションソフトのマニュアル

印字位置がずれてしまう

原因1	**プリンタドライバの余白の編集が設定されている**
対　策	**プリンタドライバの余白の設定をデフォルト値に設定し、プリントし直します。**
原因2	**アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない**
対　策	**アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。**
参照先	アプリケーションソフトのマニュアル

ページの途中から次ページにわかれてプリントされる

原　因	**アプリケーションソフトの「行間」や「1ページの行数」の設定が合っていない**
対　策	**1ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1ページの行数」を変更してからプリントし直します。**
参照先	アプリケーションソフトのマニュアル

縮小されてプリントされる

原　因	**プリンタドライバの縮小プリントの設定がされている**
対策1	**プリンタドライバの「拡大／縮小」を「100%」にしてください。**
参照先	プリンタドライバのヘルプ


メモ

- **ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときは」（P.173）をご覧ください。**
- **紙づまりが起ったときは、「紙づまりが起こったときは」（P.148）をご覧ください。**

プリントを中止したいときは

プリンタが処理中のデータは、プリンタの操作パネルまたはWebToolsでプリントをキャンセルできます。WebToolsの操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。



- **待機印刷や確認印刷などの設定がしてあり、ハードディスクにデータが残っている場合は、キャンセル後にプリントし直すことができます。**
- **スプール済みのプリントジョブでまだRIP処理が始まっていないジョブをキャンセルしたい場合は、WebToolsやNetSpotから操作します。プリントジョブを指定してキャンセルすることができます。詳しい操作については、ソフトウェアガイドをご覧ください。**

処理中のジョブをキャンセルする

現在データ処理中のジョブをキャンセルするときは、次の操作で行います。ジョブが中止され、次のジョブ処理が始まります。

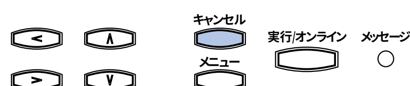


- **この操作を行うと、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントし直してください。**

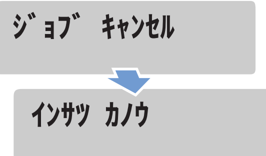
1

プリント処理中に（キャンセル）キーを押します。

処理中のジョブがキャンセルされます。







すべての作業を中止する（プリンタリスタート）

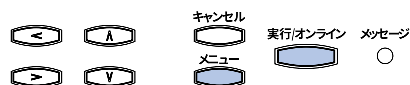
何らかの理由で、すべての処理を中止したいときは、次のような操作で「プリンタリスタート」を実行します。プリンタリスタートは、処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。



- データの受信中にリセットした場合、受信途中のジョブは、無視されます。再度パソコンからプリントし直してください。
- スプール済みのプリントジョブでまだ RIP 処理が始まっていないジョブは、リスタート後にプリントが再開されます。

1

（メニュー）キーを押して「リセット」メニューを選択し、（実行）キーを押します。





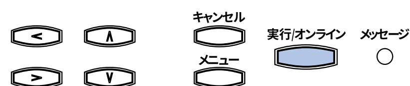
ﾘｾｯﾄ



ﾘﾚｷ/ｼﾞｮﾌﾞ ﾉｼｮｳｷｮ
ｲｲｴ ＊

2

（実行）キーを何回か押して「プリンタリスタート」を選択します。





ﾘﾚｷ/ｼﾞｮﾌﾞ ﾉｼｮｳｷｮ
ｲｲｴ ＊

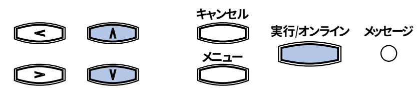


ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾘｽﾀｰﾄ
ｲｲｴ ＊

3

（∧）、（∨）キーを押して「ハイ」を選択し、（実行）キーを押します。

しばらくするとプリントできる状態になります。





プ゜リンタ リスタート
ハイ



プ゜リンタ リスタート



インサツ カノウ

プリンタの機能を確認したいときは

本プリンタは、最良の印字品質を維持するために、プリンタ内部の機能をチェックする自己診断機能や印字品質を確認できるテストプリントなどの機能を備えています。
これらの機能は、プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

テストプリント

本プリンタには、プリンタの状態や印字品質などを確認するためのテストプリント機能が付いています。プリンタの準備や接続が終わった後などにテストプリントを行い、プリンタの動作を確認してください。テストプリントを行うときは、次の手順で操作します。

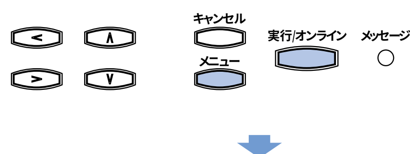


メモ

- **テストプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。(操作パネルでプリンタ設定のデフォルト用紙サイズを"レター"に設定している場合は、レターサイズ用紙をセットしてください。)**

1

(メニュー)キーを押して「ユーティリティ」メニューを選択し、(実行)キーを押します。

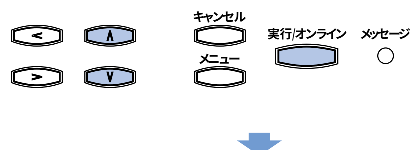


ユーティリティ

ステータス プリント

2

(∧)、(∨)キーを押して「テストプリント」選択し、(実行)キーを押します。



テスト プリント

プリントチュウ
カセット1

テスト プリントがプリントされた後、プリントできる状態に戻ります。

●テストプリントのプリント内容

テストプリントを行うと、キャリブレーション情報とカラーサンプル画像がプリントされます。



ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。



● ステータスプリントは、A4サイズ用に設定されています。A4サイズの用紙をセットしてください。（操作パネルでプリンタ設定のデフォルト用紙サイズを"レター"に設定している場合は、レターサイズ用紙をセットしてください。）

1

（メニュー）キーを押して「ユーティリティ」メニューを選択し、（実行）キーを押します。



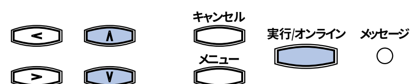




2

（∧）、（∨）キーを押して「ステータス　プリント」選択し、（実行）キーを押します。

ステータスプリントがプリントされた後、プリントできる状態に戻ります。







●ステータスプリントのプリント内容

ステータスプリントを行うと、下図のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設置値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

プリンタ情報　　　　　　　　　　　　　　　ページ:1
プリンタ名:LBP-2260PS

プリンタ情報
　コントローラ ファームウェア バージョン: [illegible]
　コントローラ ハードウェア バージョン: [illegible]
　PostScript バージョン: [illegible]
　総プリントページ数:104
　カラープリントページ数:26
　両面プリントページ数:0

オプション情報
　ペーパーデッキ:なし
　ソータユニット:なし
　両面ユニット:なし
　ハードディスク空き容量:5202.46MB
　搭載メモリ(RAM)容量:64MB

システム設定
　プリンタ名:LBP-2260PS
　スタートページ:いいえ
　印刷済みキューを使用:はい
　保存するジョブ数:10
　スリープモード移行時間:30 分

プリンタ設定
　ページ記述言語:PS
　デフォルト用紙サイズ:A4
　トナー警告時に停止:いいえ
　スムージング:はい

PostScript設定
　エラーページプリント:いいえ

VisualCal設定
　キャリブレーション:いいえ

カラー調整
　明度調整:ﾅｼ
　変更カラー:ﾅｼ

インタフェース設定
　イーサネット:使用可能
　　イーサネット速度:自動検知
　パラレル:使用可能
　　インタフェースタイムアウト:15
　　EOF無視:はい

ネットワーク情報
　イーサネットMACアドレス:00:C0:85:29:7A:18

　イーサネットTCP/IP:使用不可能

　AppleTalk:使用不可能

　IPX(Novell):使用不可能

　SMB:使用不可能

用紙トレイ情報
　ｷｭｳｼﾄﾚｲ
　ｶｾｯﾄ 1:A4
　ｶｾｯﾄ 2:A3

4

第4章　困ったときには

フォントリスト

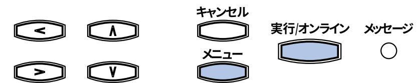
フォントリストは、プリンタに内蔵されているフォントの名称とサンプルが印字されます。フォントリストを行うときは、次の手順で操作します。



- **フォントリストは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。(操作パネルでプリンタ設定のデフォルト用紙サイズを"レター"に設定している場合は、レターサイズ用紙をセットしてください。)**

1

メニューキーを押して「ユーティリティ」メニューを選択し、実行キーを押します。

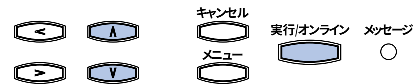


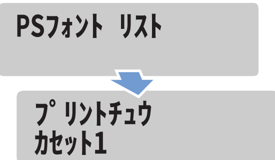


2

∧、∨キーを押して「フォントリスト」選択し、実行キーを押します。

フォントリストがプリントされた後、プリントできる状態に戻ります。





●フォントリストのプリント内容

フォントリストをプリントすると、下図のようにプリントされます。フォンとリストでは、プリントに内蔵されている日本語フォントと欧文フォントの名称、フォントのサンプルが確認できます。

PostScript フォントリスト　　フォント数: 239　　ページ: 1
プリンタ名: LBP-2260PS

AlbertusMT	123AaBbCc&$*	
AlbertusMT-Italic	123AaBbCc&$*	
AlbertusMT-Light	123AaBbCc&$*	
AntiqueOlive-Bold	123AaBbCc&$*	
AntiqueOlive-Compact	123AaBbCc&$*	
AntiqueOlive-Italic	123AaBbCc&$*	
AntiqueOlive-Roman	123AaBbCc&$*	
Apple-Chancery	123AaBbCc&$*	
Arial-BoldItalicMT	123AaBbCc&$*	
Arial-BoldMT	123AaBbCc&$*	
Arial-ItalicMT	123AaBbCc&$*	
ArialMT	123AaBbCc&$*	
AvantGarde-Book	123AaBbCc&$*	
AvantGarde-BookOblique	123AaBbCc&$*	
AvantGarde-Demi	123AaBbCc&$*	
AvantGarde-DemiOblique	123AaBbCc&$*	
Bodoni	123AaBbCc&$*	
Bodoni-Bold	123AaBbCc&$*	
Bodoni-BoldItalic	123AaBbCc&$*	
Bodoni-Italic	123AaBbCc&$*	
Bodoni-Poster	123AaBbCc&$*	
Bodoni-PosterCompressed	123AaBbCc&$*	
Bookman-Demi	123AaBbCc&$*	
Bookman-DemiItalic	123AaBbCc&$*	
Bookman-Light	123AaBbCc&$*	
Bookman-LightItalic	123AaBbCc&$*	
CGBM-PropRoman	123AaBbCc&$*	
Carta	123	
Chicago	123AaBbCc&$*	
ChuGothicBBB-Medium-PropRoman	123AaBbCc&$*	
Clarendon	123AaBbCc&$*	
Clarendon-Bold	123AaBbCc&$*	
Clarendon-Light	123AaBbCc&$*	
CooperBlack	123AaBbCc&$*	
CooperBlack-Italic	123AaBbCc&$*	
Copperplate-ThirtyThreeBC	123AaBbCc&$*	
Copperplate-ThirtyTwoBC	123AaBbCc&$*	
Coronet-Regular	123AaBbCc&$*	
Courier	123AaBbCc&$*	
Courier-Bold	123AaBbCc&$*	
Courier-BoldOblique	123AaBbCc&$*	
Courier-Oblique	123AaBbCc&$*	
Eurostile	123AaBbCc&$*	
Eurostile-Bold	123AaBbCc&$*	
Eurostile-BoldExtendedTwo	123AaBbCc&$*	
Eurostile-ExtendedTwo	123AaBbCc&$*	
Geneva	123AaBbCc&$*	
GillSans	123AaBbCc&$*	
GillSans-Bold	123AaBbCc&$*	
GillSans-BoldCondensed	123AaBbCc&$*	
GillSans-BoldItalic	123AaBbCc&$*	
GillSans-Condensed	123AaBbCc&$*	
GillSans-ExtraBold	123AaBbCc&$*	
GillSans-Italic	123AaBbCc&$*	
GillSans-Light	123AaBbCc&$*	
GillSans-LightItalic	123AaBbCc&$*	
GothicBBB-Medium-78-EUC-H	123AaBbCc&$*	
GothicBBB-Medium-78-EUC-V		
GothicBBB-Medium-78-H		
GothicBBB-Medium-78-RKSJ-H	123AaBbCc&$*	阿伊宇江於あいうえおアイウエオ
GothicBBB-Medium-78-RKSJ-V		
GothicBBB-Medium-78-V		

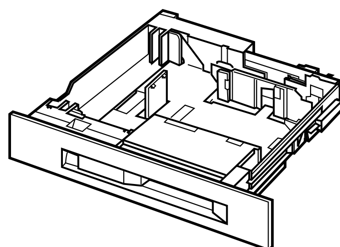
付録

オプションについて

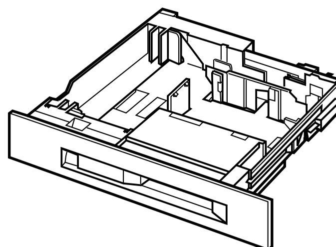
本プリンタの機能をフルに生かしてお使いいただくために、以下のオプション品を用意しています。
必要に応じてお買い求めください。オプション品の詳細やご注文については、本プリンタをお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

■ 500 枚カセット

B5またはA5の用紙を縦送りするための給紙カセットです。用紙サイズ毎に2種類の専用給紙カセットが用意されており、普通紙（64g/m^2）を最大で500枚までセットできます。プリンタ本体の上段カセット（カセット1）および2×500枚ペーパーデッキの上段カセット（カセット3）と差し替えて装着します。



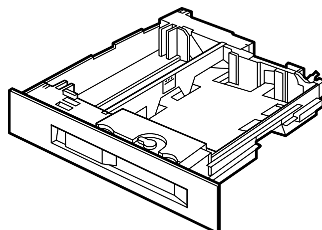
500枚カセット　CS-82 B5R



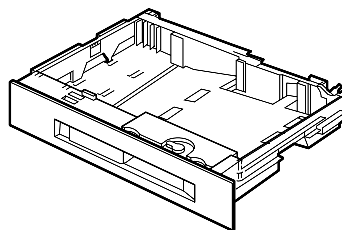
500枚カセット　CS-82 A5R

■ 500 枚ユニバーサルカセット

標準カセットと同等の用紙サイズ変更が可能な給紙カセットです。500枚ユニバーサルカセット UC-82 は、A4/B4/レター/リーガルサイズの定形用紙、500枚ユニバーサルカセット UC-82Kは、A4/B4/A3/レター/リーガル/11X17サイズの定形普通紙を最大で500枚（64g/m^2）までセットできます。



500枚ユニバーサルカセット
UC-82

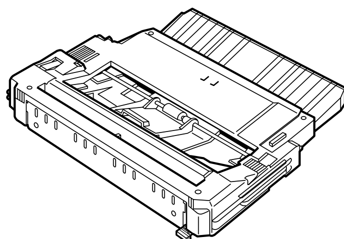


500枚ユニバーサルカセット
UC-82K

■両面ユニット

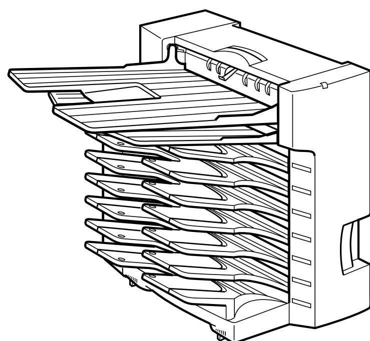
両面プリントを可能にするためのユニットです。給紙カセットまたは2,000枚ペーパーデッキから供給される、定型サイズ（A5R、B5R、A4、B4、A3、レター、リーガル、11×17）の用紙に両面プリントができます。両面ユニットは、本プリンタの内部に取り付けます。

両面ユニット DU-82



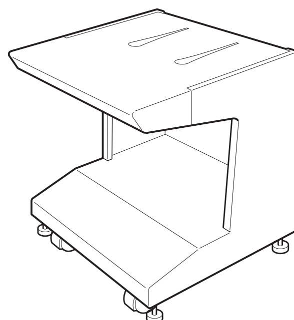
■ 7 ビンソータ-H1

7つのビンを装備したソータユニットです。それぞれのビンには約120枚まで積載可能で、7つのビンをさまざまに使い分けて排紙することができます。7ビンソータはサブ排紙トレイを取り外し、プリンタ本体側面に装着します。7ビンソータ装着時は、オプションコントローラの取り付けと、プリンタ本体とは別のコンセントが1つ必要です。



■ 7 ビンソータ用ペディスタル

2000枚ペーパーデッキと2×500枚ペーパーデッキ装着時に7ビンソータを装着するための専用台です。ペディスタルを固定するためのアジャスタと7ビンソータを開くためのスライドトレイが付いています。

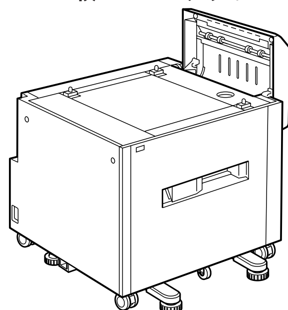


付録

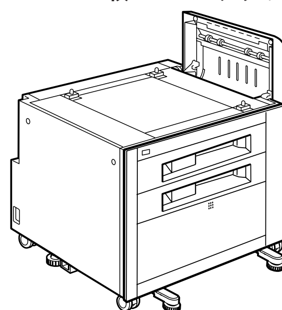
■ペーパーデッキ

ペーパーデッキは、給紙元を増設するためのプリンタ本体の下に装着するユニットです。2000枚ペーパーデッキと2×500枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ-C1Lの3種類があり、いずれか1つを装着できます。2000枚ペーパーデッキを装着すると、A4/B4/A3/レター/リーガル/11x17サイズの普通紙を約2000枚までセットできます。2×500枚ペーパーデッキまたは2×500枚ペーパーデッキ-C1Lを装着すると、500枚給紙カセットを2つ追加することができます。
ペーパーデッキには、キャスターとプリンタを固定するためのアジャスタ、ペーパデッキを安定させるための転倒防止脚が付いています。また、ペーパデッキ装着時は、オプションコントローラの取り付けと、プリンタ本体とは別のコンセントが1つ必要です。

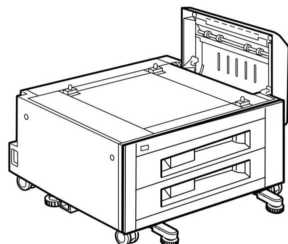
2000枚ペーパーデッキ-N1



2x500枚ペーパーデッキ-C1



2×500枚ペーパーデッキ-C1L

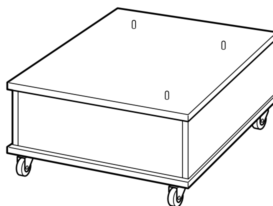




- **2×500枚ペーパーデッキ-C1Lと7ビンソータを組み合わせて使用することはできません。**
- **2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ-C1L、本プリンタ専用ペディスタル、7ビンソータを7ビンソータ用ペディスタルに取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。**

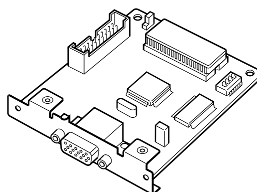
■ペディスタル

本プリンタを、操作しやすい高さで設置するための専用台です。キャスターとプリンタを固定するためのアジャスタが付いています。



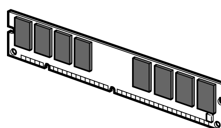
■オプションコントローラ -A1

オプションの 2000 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L、7 ビンソータを使用するときに必要なコントロールボードです。



■拡張 RAM

本プリンタのメモリ容量（標準 64MB）を拡張するための RAM です。本プリンタには RAM 増設口が 3 つあり、メモリ容量を最大 256MB（64MB × 3 枚増設時）まで増加できます。



64MB RAM（RD-64MP）



- **拡張 RAM の取り付けについては、本体 / オプション品設置ガイド＆ネットワーク設定ガイドをご覧ください。**

主な仕様

ハードウェアの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンタ	
プリント方式		電子写真方式（ローラ定着）	
解像度		モノクロ　600dpi カラー　600dpi	
プリント速度	普通紙(64～105g/m^{2}未満)	A4横片面連続プリント時	モノクロ　24ページ／分 フルカラー　6ページ／分
		その他	モノクロ　12ページ／分 フルカラー　3ページ／分
	厚紙(105～135g/m^2)	A4/ﾚﾀｰ横片面連続プリント時	モノクロ　約3.2ページ／分 フルカラー　約2.2ページ／分
		その他	モノクロ　約1.6ページ／分 フルカラー　約1.1ページ／分
	OHPフィルム	A4横片面連続プリント時	モノクロ　約2.6ページ／分 フルカラー　約2.0ページ／分
ウォーミングアップ時間		660秒以下（20℃, 拡張RAM未装着時）	
ファーストプリント時間		モノクロ　21秒以下（A4／フェイスダウン時）	
		カラー　37秒以下（A4／フェイスダウン時）	
用紙サイズ	カセット1	A4、B4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	500枚ｶｾｯﾄB5R*	B5R 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	500枚ｶｾｯﾄA5R*	A5R 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	カセット2	A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ、11x17 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	トレイ	幅 長さ （A5、B5サイズは縦送りのみ可能） 最大積載枚数	98.4～305mm 190～469.9mm 約100枚（64g/m^2）
	カセット3* (2×500枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ)	A4、B4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	カセット4* (2×500枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ)	A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ、11x17 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ* (2000枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ)	A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ、11x17 最大積載枚数	 約2000枚（64g/m^2）
	両面プリント*	A5R、A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ、11x17	
排紙方式		フェイスダウン／フェイスアップ	
排紙積載枚数		排紙トレイ サブ排紙トレイ ノンソートビン* ソータビン*	約300枚（64g/m^2） 約100枚（64g/m^2） 約100枚（64g/m^2） 各約120枚（64g/m^2）×7

*印の項目は、別売のオプションが必要です。

付録

稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）（ISO9296に基づく公表騒音放出値）		
	スタンバイ時	最大　49dB[A]
	動作時	最大　54dB[A]
使用環境 （プリンタ本体のみ）	動作環境温度　10～30℃ 湿度　20～80%RH（結露しないこと）	
保管環境 （プリンタ本体のみ）	保管環境温度　0～35℃ 湿度　35～85%RH（結露しないこと）	
電源	100V（50 / 60Hz ± 2Hz）	
消費電力 （20℃時、プリンタ本体のみ）	動作時	平均　約785W
	スタンバイ時	平均　約215W
	最大	1030W以下**
	ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ時*	平均　約38W
	*スリープモード移行後、約30分間ファンは回転し続けます。 **起動時の瞬間的なピークを除いた値です。	
質量	プリンタ本体（ｶｰﾄﾘｯｼﾞは除く）	約84.2 kg
	ドラムカートリッジ	約2.5 kg
	トナーカートリッジ（K）	約1.9 kg
	トナーカートリッジ（CMY）	約1.4 kg
	両面ユニット*	約3.5 kg
	2000枚ペーパーデッキ*	約30.5kg
	2x500枚ペーパーデッキ*	約29.2kg
	7ビンソータ*	約13.9kg

*印の製品は、別売のオプションです。

コントローラの仕様

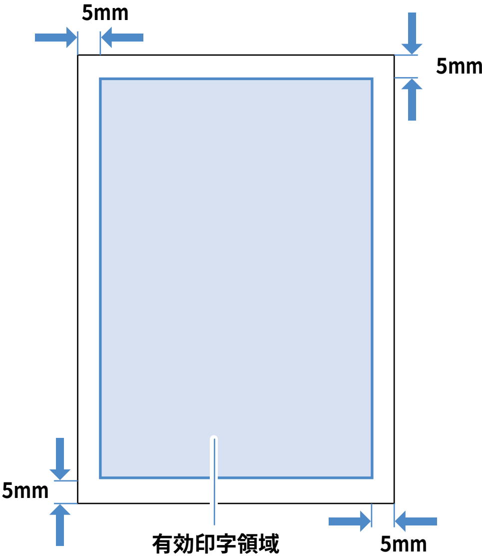
CPU	R4700（133MHz）
ﾒﾓﾘ（RAM）容量	標準64 MB ｵﾌﾟｼｮﾝの拡張RAMにより、最大256MBまで拡張可能
ハードディスク容量	6GB
ﾎｽﾄｲﾝﾀﾌｪｰｽ	ﾊﾟﾗﾚﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（ｾﾝﾄﾛﾆｸｽ準拠／双方向）
ﾕｰｻﾞｲﾝﾀﾌｪｰｽ	16桁LCD×2段 LEDﾗﾝﾌﾟ2ヶ、操作ｷｰ7ヶ
RAMｽﾛｯﾄ	4（1スロット装着済み）

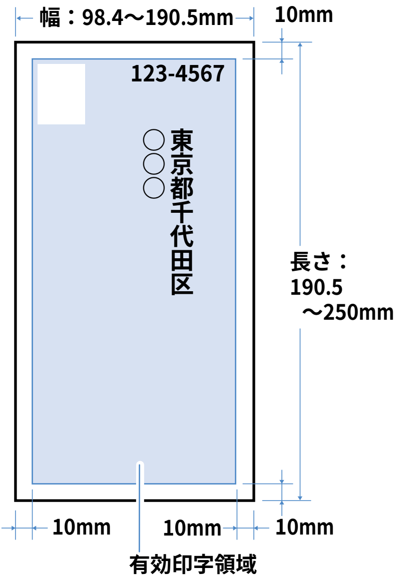
プリントサーバの仕様

インターフェース	10Base-T、100Base-TX、10Base-5（AUI）
プロトコル	TCP/IP(LPD、SMB)、EtherTalk、 IPX/SPX(NDS PServer、Bindary PServer)
ユーティリティ	NetSpot対応

ソフトウェアの仕様

内蔵ｺﾝﾄﾛｰﾙｺﾏﾝﾄﾞ		PostScript level3
内蔵フォント	和文フォント	2 書体 （リュウミン L-KL、中ゴシック BBB）
	欧文フォント	136 書体
有効印字領域		上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。



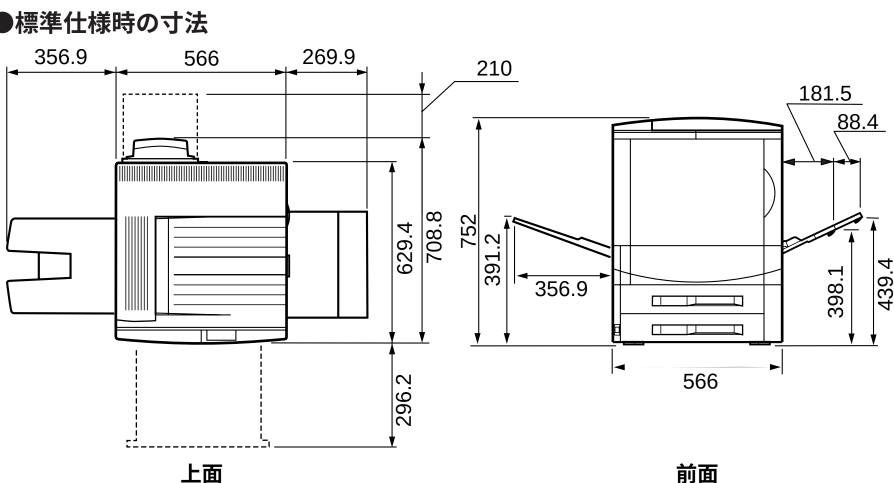


各部の寸法

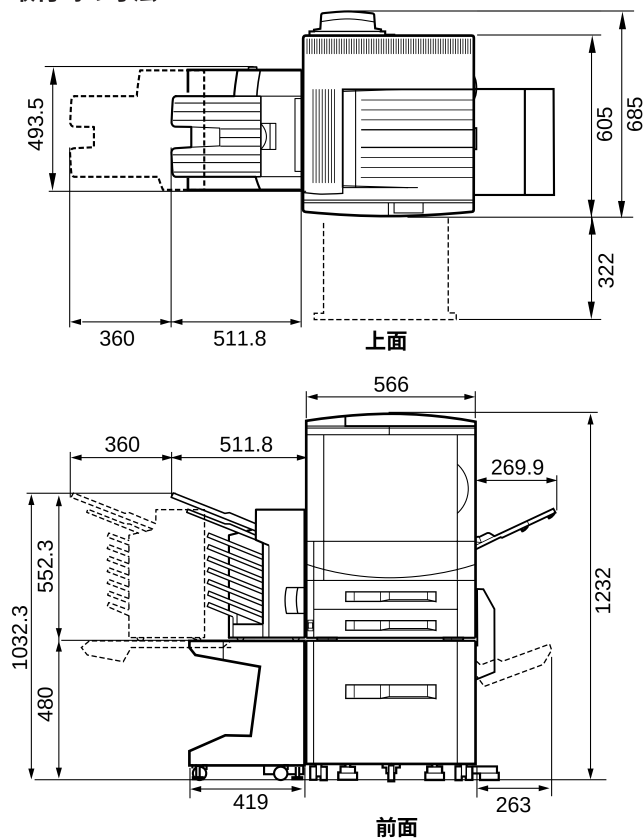
■本体

（単位は mm）

●標準仕様時の寸法

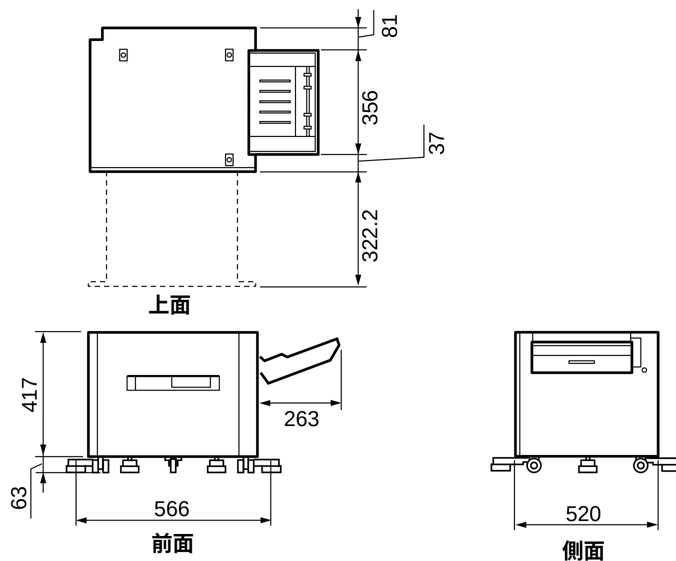


●オプション取付時の寸法



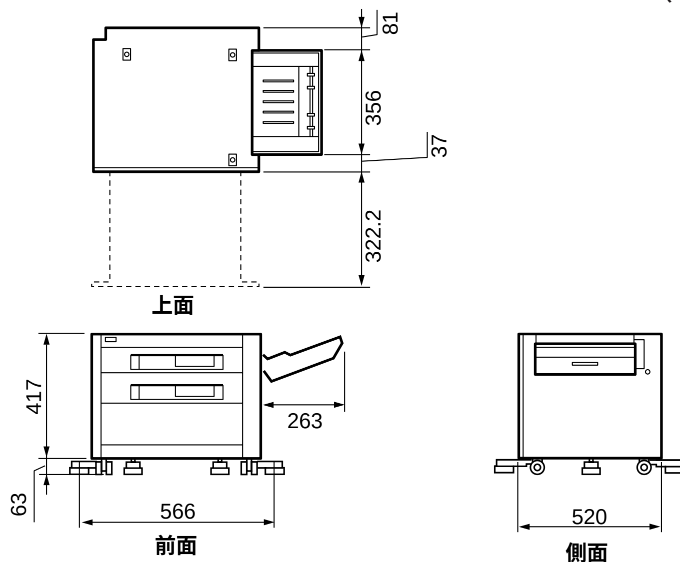
■ 2000 枚ペーパーデッキ

（単位は mm）



■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ

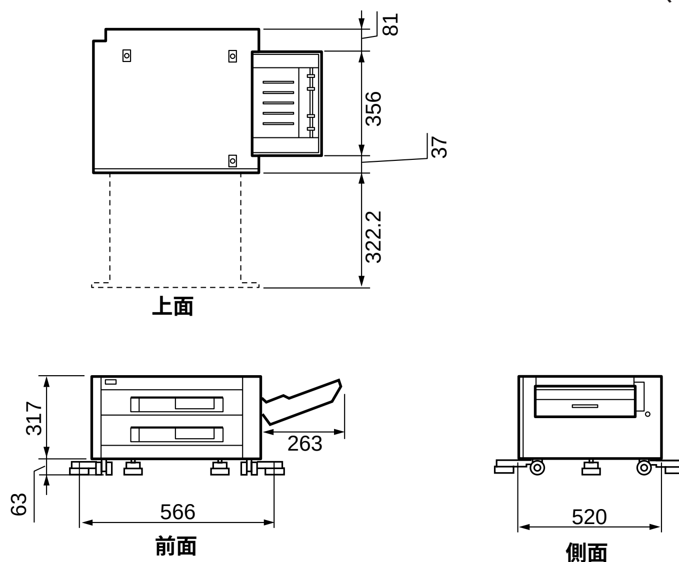
（単位は mm）



付録

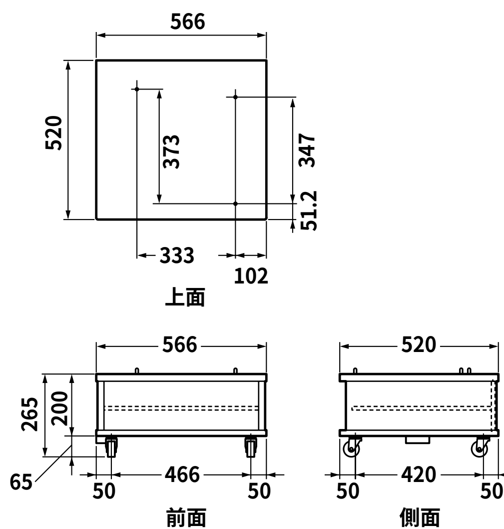
■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L

（単位は mm）



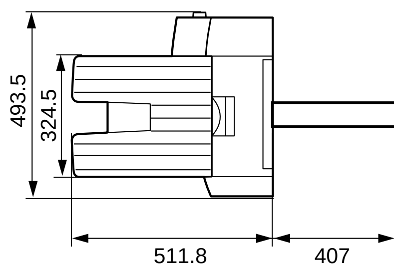
■ペディスタル

（単位は mm）

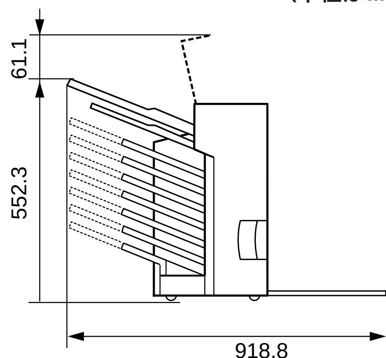


■ 7 ビンソータ

（単位は mm）



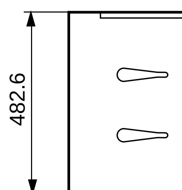
上面



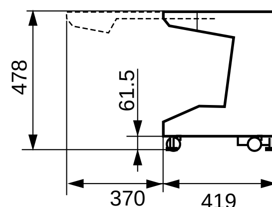
前面

■ 7 ビンソータ用ペディスタル

（単位は mm）



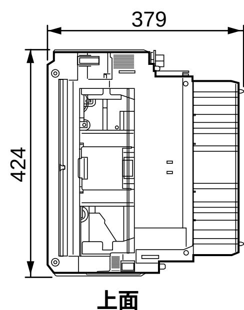
上面



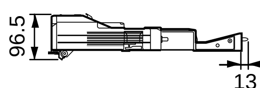
前面

■両面ユニット

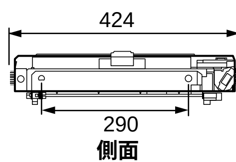
（単位は mm）



上面



前面



側面

用語集

NetSpot

NetSpotは、ネットワーク上のプリンタやパソコンに接続されたプリンタをパソコンからプリンタの設定や管理を行うためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてコンピュータにインストールして使用します。
(→「ソフトウェアガイド」)

NVRAM

NVRAM とは、Non-Volatile Random Access Memory の略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

PostScript

PostScript は、アドビシステムズ社の開発したページ記述言語です。文字や図形、レイアウト情報をすべて数値で管理しているので、プリンタやモニタなどの解像度に依存せずに、高品位のプリント結果が得られます。本プリンタには、PostScript 3 ソフトウェアが搭載されています。

RAM

RAM とは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張 RAM が用意されています。

ROM

ROM とは「Read Only Memory」の略で、読み出し専用メモリです。電源を切っても内容が消えません。

オフライン

コンピュータとプリンタ間の回線が切断され、コンピュータからのプリントデータを受信できない状態をいいます。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
→第 1 章「オンラインとオフライン」(P.39)

オンライン

コンピュータとプリンタ間の回線がつながって、コンピュータからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
→第 1 章「オンラインとオフライン」(P.39)

拡張 RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。64MB を 3 個まで増設でき、標準で 64MB のメモリを最大256MB まで拡張できます。拡張RAM を装着すると、メモリ不足による印字品質の低下を防ぐことができます。

→付録「オプションについて」（P.199）

ジョブ

コンピュータから送られるひとまとまりのプリントデータの処理のことをいいます。通常、コンピュータから送られるプリントデータには、開始と終了を表す命令（コマンド）がついており、この命令で他のジョブと区別します。

スーパースムージングテクノロジー

キヤノン独自のイメージ処理技術で、文字や図形の輪郭部のギザギザを自動的に検知してスムージング処理を行います。本プリンタのレーザビームの走査線密度は 600dpi ですが、スーパースムージングテクノロジーで、2400dpi 相当× 600dpi の高品位印字を実現しています。

スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。

セントロニクス

コンピュータと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。コンピュータで扱っている 16 ビットや 32 ビットのデータを、8 本の線を使い、8 ビットずつ同時に伝送します。高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が 3m 程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。

本プリンタでは、接続しているコンピュータからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284 対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。

トナーカートリッジ

キヤノン独自のカラープリンタ専用トナーカートリッジです。Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）の 4 種類があります。交換作業も非常に簡単で、トナーが無くなったカートリッジだけを交換できます。

→第 3 章「トナーカートリッジを交換する」（P104）

ドラムカートリッジ

プリント画像を生成する感光ドラムが入ったカートリッジです。トナーカートリッジとは別のカートリッジになっており、感光ドラムを簡単に交換できます。

→第 3 章「ドラムカートリッジを交換する」（P.116）

パラレルインタフェース
コンピュータと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。コンピュータで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。

ビットマップフォント
１つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

フォント
印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。１つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。和文フォントには明朝体やゴシック体、欧文フォントにはDutch、Courierなどの種類があります。また、文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。
（→ビットマップフォント、スケーラブルフォント）

プリンタドライバ
アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、接続したプリンタ用のプリンタドライバをOSに組み込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、Windows用とMacintosh用プリンタドライバが付属しています。
（→「ソフトウェアガイド」）

プリントサーバ
プリンタをネットワークに接続するためのインタフェースです。本プリンタには、10Base-T、100Base-TX、10Base-5に対応したプリントサーバがインタフェースボードに内蔵されています。TCP/IP（LPD、SMB）、EtherTalk、IPX/SPX（NDS PServer、Bindary PServer）のプロトコルに対応しています。
（→「本体 / オプション品設置ガイド＆ネットワーク設定ガイド」）
（→「ソフトウェアガイド」）

メニュー機能
本プリンタ のシステム情報やネットワーク情報を設定するための機能です。操作パネルのキーやユーティリティソフト「NetSpot」から設定できます。
（→「ソフトウェアガイド」）
（→「プリンタ機能マニュアル」）

付録

索引

英数字

ア行

カ行

付録

サ行

タ行

ナ行

ハ行

付録

マ行

ヤ行

ラ行

付録

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、本体/オプション品設置ガイド&ネットワーク設定ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。
また、2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ-C1L、本プリンタ専用ペディスタル、7ビンソータを7ビンソータ用ペディスタルに取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

無償保証について

・本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。
・定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、「定期交換部品のご案内」（P.216）をご覧ください。
・無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

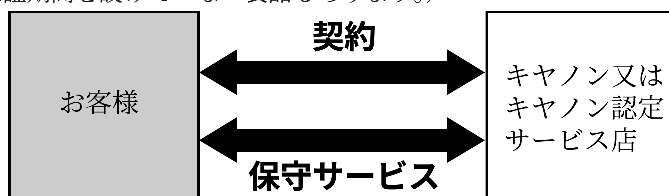
保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態で
ご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

＊保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。
＊トナーカートリッジ、などの消耗品は保守契約の対象外です。

付録

本製品には、無償保証期間後の保守契約制度として、A方式（定期交換部品代金を含まない方式）とB方式（定期交換部品代金を含む方式）を用意しています。本保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　容	メリット
●定期点検の実施 キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。	トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。
●優先サービス 万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。	トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。
●保守契約料金は一定 保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。	サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。
●修理料金は無料 保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。（B方式）	契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。（B方式） （但し天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。	スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。
●定期交換部品の交換料金は無料 （A方式は部品代のみ有償） 本プリンタでは、定着器、中間転写体ユニット、オゾンフィルタなどの定期交換を行います。	契約期間中に定期交換が発生した場合は、その内容や回数にかかわらず無料です。 （但し、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

定期交換部品のご案内

定着器ユニットを始め、本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。定期交換部品の交換は専門のサービスマンが行います。お客様による交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。
サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。(定期交換部品交換作業も含んだ保守契約制度も用意していますので、お買い求めの販売店にご相談ください。)
トナーカートリッジなどの消耗品は、保守契約の対象外です。



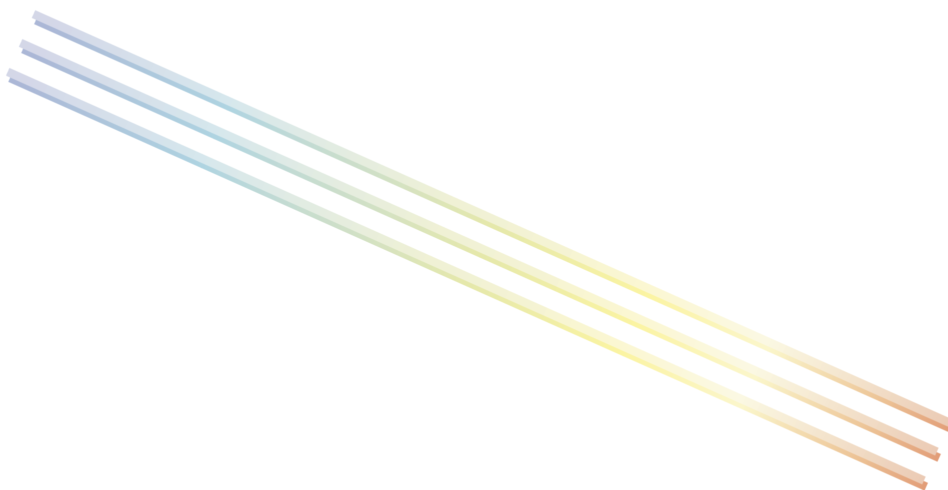
- **定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります.**

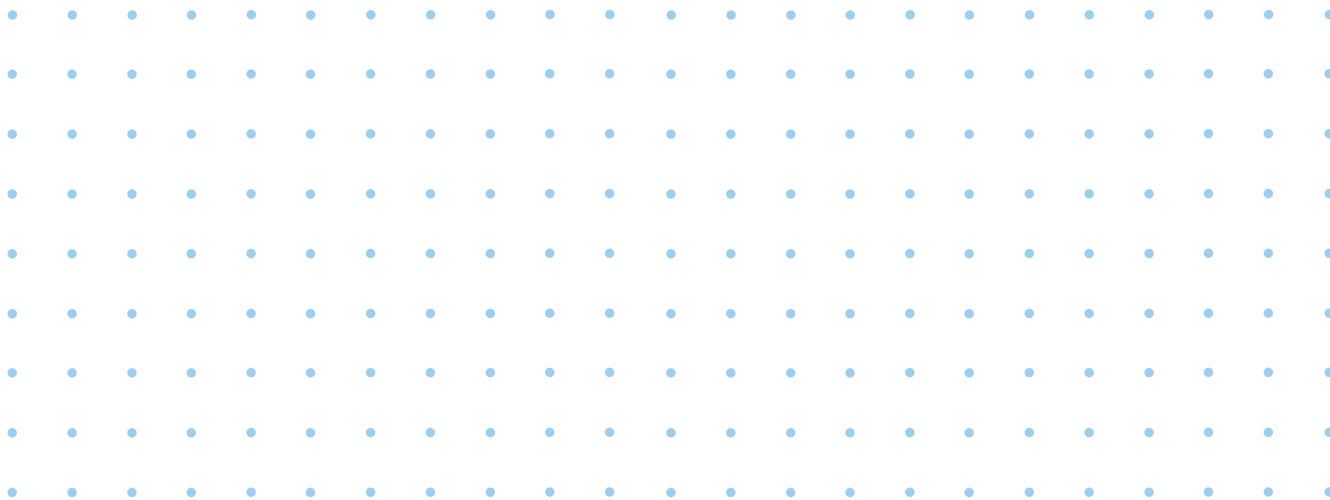
定期交換部品	交換の目安	用途
定着器	50,000ページ(A4横以外/カラー/白黒) 100,000ページ(A4横片面/カラー/白黒)	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命を過ぎると、画像不良や用紙のしわの原因となります。
中間転写体ユニット	37,500〜75,000ページ(A4横片面/カラー) または 150,000〜300,000ページ(A4横片面/白黒)	トナーを感光ドラムから中間転写体ドラムに転写(一次転写)するユニットです。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。
クリーニングローラ	75,000〜150,000ページ/A4横片面	中間転写体をきれいにするローラです。寿命を過ぎると、クリーニング不良の原因となります。
転写ユニット	150,000ページ/A4横片面	中間転写体ドラムからトナーを用紙へ転写(二次転写)するのためのユニットです。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。
ポスト帯電器	37,500〜75,000ページ(A4横片面/カラー) または 150,000〜300,000ページ(A4横片面/白黒)	二次転写の効率を上げるためのユニットです。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。

付録

定期交換部品	交換の目安	用途
オゾンフィルタ	75,000～300,000ページ （A4横片面／カラー／白黒）	オゾンを吸着するためのフィルタです。
分離除電器	150,000ページ／A4横片面	画像の乱れを防ぐ部品です。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。
ファン	3万時間（80角、120角）	本体内部を冷却するためのファンです。寿命を過ぎると、異音や回転不良の原因となります。
MP給紙ローラ	200,000ページ	用紙を給紙するためのローラです。
分離パッド	200,000ページ	用紙の重送を防ぐためのパッドです。
本体カセット1,2,3,4用給紙ローラ 2,000枚ペーパーデッキ用給紙ローラ 2×500枚ペーパーデッキ用給紙ローラ	150,000ページ	用紙を給紙するためのローラです。 給紙ローラ2ヶ／カセット必要です。

付録







この印刷物はエコマーク認定の再生紙を使用しています。